Panasonic®

取扱説明書
CATV デジタル セットトップボックス

品番 TZ-BDT920J

安全上のご注意
視聴
録画
再生／編集
ダビング
他の機器と
写真／音楽
便利機能
接続／設定
必要なとき

このたびは、ケーブルテレビ局にご加入くださいまして、まことにありがとうございました。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」(203 ～209ページ)を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は大切に保管してください。

VQT5C75
F1113SD0

本機の「特長」

デジタル放送を楽しむ

地上デジタル　BSデジタル　CATVデジタル

本機は、地上・BSデジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を受信する
CATV用デジタルセットトップボックスです。

サービス内容により放送内容が異なります。詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

録画が便利

番組表を使って予約

▶ 32 ページ

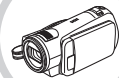
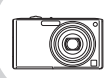
3番組同時録画

▶ 52 ページ

関連番組まとめて予約

▶ 40 ページ

思い出を見る／残す

ビデオカメラで撮影した動画の取り込みやデジタル
カメラで撮影した写真の取り込みや再生ができます。

動　画

写　真

▶ 55、89 ページ

▶ 97、100 ページ

市販のUSBハードディスク※に対応

※ 以降、USB-HDDと表記

▶ 164 ページ

番組を持ち出す

録画した番組を携帯電話などのモバイル機器に
持ち出してお楽しみいただけます。

▶ 103 ページ

3D映像を楽しむ

3D対応テレビと接続し、臨場感にあふれた、
迫力ある3D映像をお楽しみいただけます。

▶ 63 ページ

ネットワークにつないで楽しむ

ネットワークに接続すると、いろいろな機能を利用することができます。

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりご利用いただけない場合があります。

1ヵ月の番組表/注目番組 ▶35、37ページ

お部屋ジャンプリンク（DLNA） ▶116ページ

ネットワークを使ってダビング ▶96ページ

外出先からの予約 ▶143ページ

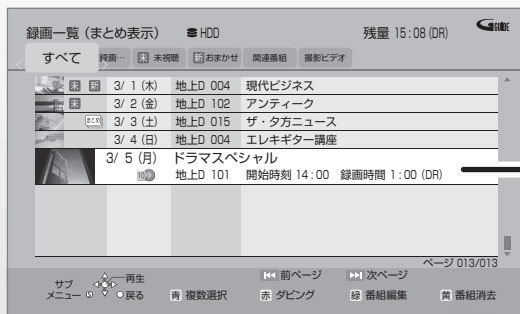
ドアホン・センサーカメラ録画 ▶114ページ

「操作」についてのご案内

本書では、本機の操作方法を説明しています。
紙の取扱説明書以外にも、目的別に以下のガイドで本機の操作をご案内しています。

1 機器操作は　表示中の画面で確認

画面上で、機能説明や操作できるボタンの表示などを確認できます。

例）操作できるボタンの表示

選択中の項目は黄色で表示

例えば、黄ボタンを押すと番組の消去ができます

基本的な操作は、リモコンの
[▲] [▼] [◀] [▶]と**[決定]**を使います。

前の画面に戻る

2 音声で案内　音声ガイド

機器の操作を音声や操作音で確認できます。

●ご使用になる場合は、初期設定「音声ガイド機能」を「入」に設定してください。**(➜150)**

音声切換（リモコンのふた内部）を 3 秒以上押すと、設定画面を直接表示することができます。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください（➜203～209 ページ）

視聴

録画

（➜ 次ページに続く）

安全上のご注意 / 視聴 / 録画 / 再生／編集 / ダビング / 他の機器と / 写真／音楽 / 便利機能 / 接続／設定 / 必要なとき

目次（続き）

再生 / 編集

ダビング

他の機器と

写真 / 音楽

便利機能

接続 / 設定

（➜ 次ページに続く）

必要なとき

本機の設置について

●アンプなどの熱源となるものの上に置かない。
●温度変化が起きやすい場所に設置しない。
●「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
●不安定な場所に設置しない。
●重いものを上に載せない。

本機
アンプ

タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

●「つゆつき」が発生しやすい状況
・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
・梅雨の時期

●「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約２～３時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

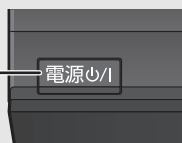
本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから３分以上待ってください。

●本機の温度が気になる場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

本機が操作を受け付けなくなったときは…

[電源⏻/I]を 3秒以上押す

電源⏻/I

本機の電源が切れます。
故障かな !? と思った場合 ➜175

本機を返却するときは

166 ページをご覧ください。

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見る際に、お子様などに見せたくないホームページやブログなどを見ることを制限するための機能が組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をお勧めします。

この制限機能をご使用の場合は、下記の設定を行ってください。

●パスワードロック機能

パスワード（暗証番号）を設定することで、インターネットへのアクセスを制限することができます。

・パスワード（暗証番号）設定方法
（➜148「制限項目設定」）
・インターネットへのアクセス制限設定
（ブラウザ制限を **[ブラウザ]** ボタンを押したときに暗証番号の入力が必要となる設定にする）
（➜112、148「ブラウザ制限」）

番組などの消去について

本機での番組消去、部分消去、チャプター消去などの消去機能は、一度実行すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告
この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー（ダビング）が中断されます。
Cinavia 技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを（➜○○）で示しています。
- 本書では、操作一覧画面などの操作は工場出荷時の状態で説明しています。
- 本書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

- **本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。**
  本機の受信周波数帯域（90 MHz～770 MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やケーブルテレビ宅内線の途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像·音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- **視聴記録の送信について**
  IC カードに記録されている視聴記録データは、定期的に自動送信されます。
- **本機は性能向上のためダウンロードを行う場合があります。ダウンロードを実行するには、本機の電源を「切」にしてください。**
  電源プラグをはずしたり、電源「入」にしているとダウンロードが実行されません。ダウンロードを実行するため、視聴時以外は電源を「切」にしてください。
- 本機に組み込まれているソフトウェアの解析、変更、改造などを行わないでください。
- メールや購入記録、データ送信のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
- B-CAS カードおよび C-CAS カードは地上·BS·CS デジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

本書内のマーク表示について

ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD
BD-RE※	BD-RE
BD-R※	BD-R
BD ビデオ	BD-V
DVD-RAM	RAM
DVD-R	-R
DVD-R DL	
DVD-RW	-RW

ディスクなど	表示マーク
DVD ビデオ	DVD-V
+R	
+R DL	
+RW	
CD	CD
SD カード	SD
USB 機器	USB
USB-HDD	USB-HDD

※　DL、BDXL も含みます。

●同じディスクでも記録方式の違いなどにより動作が異なる場合は、表示マークに記録方式を付与しています。
- ・AVCREC 方式の場合　：例）RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
- ・VR 方式の場合　：例）RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
- ・ビデオ方式の場合　：例）-R(V) -RW(V) （ただしファイナライズ後は DVD-V）

●ビデオカメラなどで撮影したハイビジョン動画（AVCHD）が記録されたディスクや SD カードの場合は、AVCHD と表示

●ビデオカメラなどで撮影した動画（MP4）が記録された SD カードの場合は、MP4 と表示

USB-HDD を接続時の操作について	本書では、USB-HDD を接続している場合の操作も含めて記載しています。USB-HDD を接続している場合にできる操作については、USB-HDD と表示しています。 接続できる USB-HDD については（➜164）

はじめに

各部の働き

本体前面

リモコン受信部

受信範囲… 正面：約7 m以内
左右：各約30°
上下：各約20°

USB端子
[ハイスピードUSB(USB2.0)対応]

電源を切／入する

録画中に点灯表示

本体表示窓（➜13）

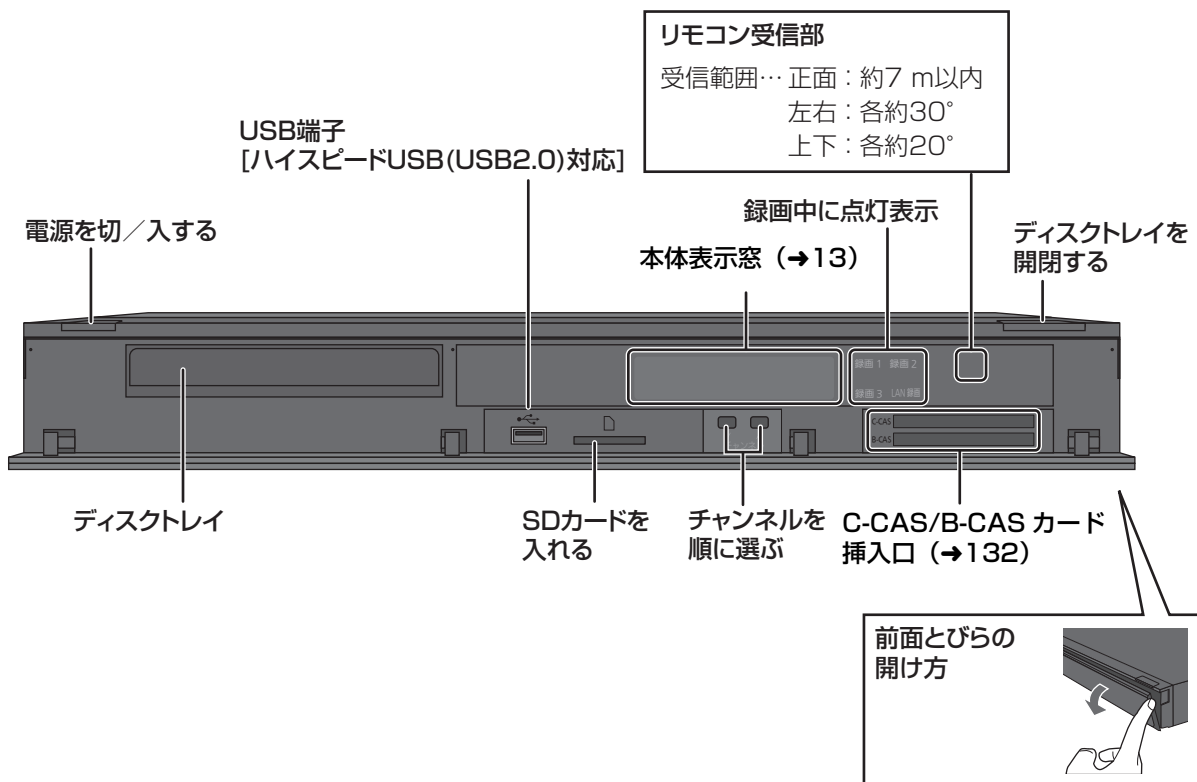
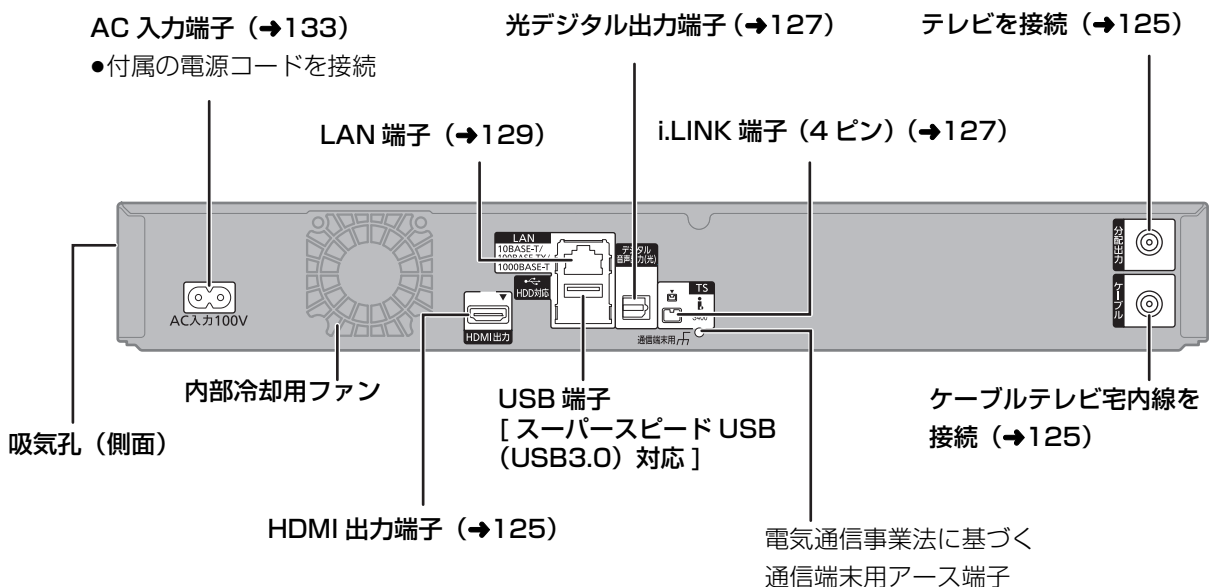
ディスクトレイを
開閉する

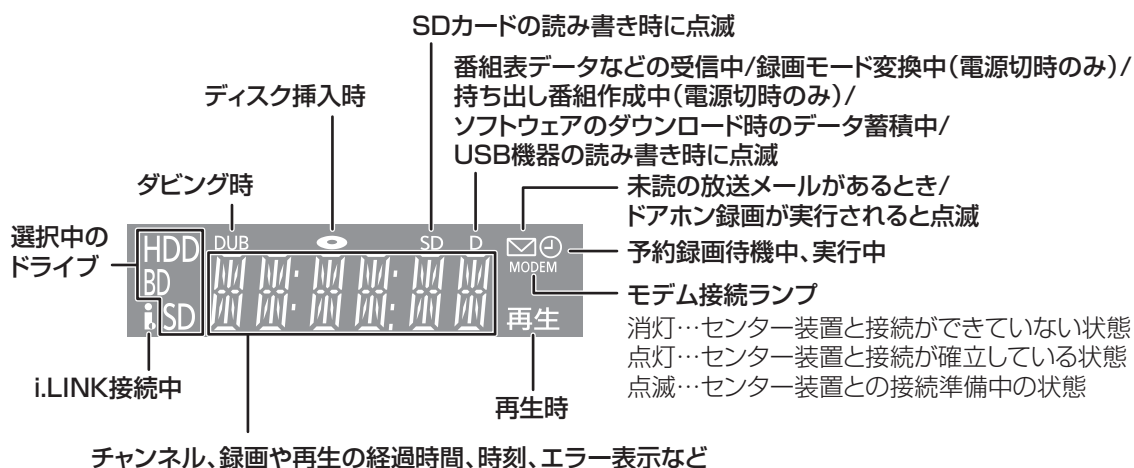
ディスクトレイ

SDカードを
入れる

チャンネルを
順に選ぶ

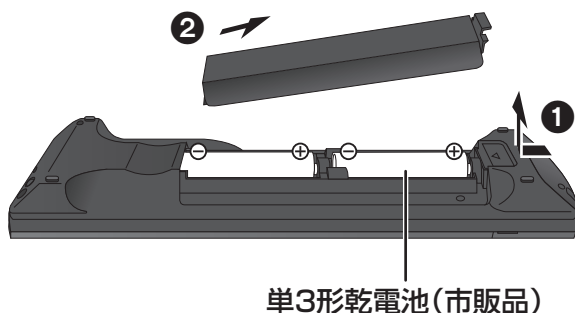
C-CAS/B-CAS カード
挿入口（➜132）

前面とびらの
開け方

本体背面

本体表示窓

以下の場合に点灯表示します。

お知らせ

●電源「切」時に本体表示窓に時刻を表示するには、以下 ① ～ ③ の設定にしてください。
　①「クイックスタート」(➜151) を「入」に設定
　②「クイックスタートモード」(➜151) を「標準」に設定
　③「ECO スタンバイ」(➜155) を「切」に設定

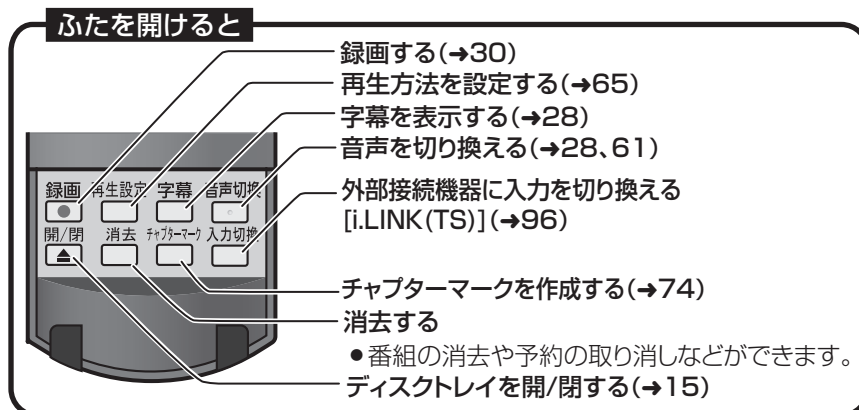
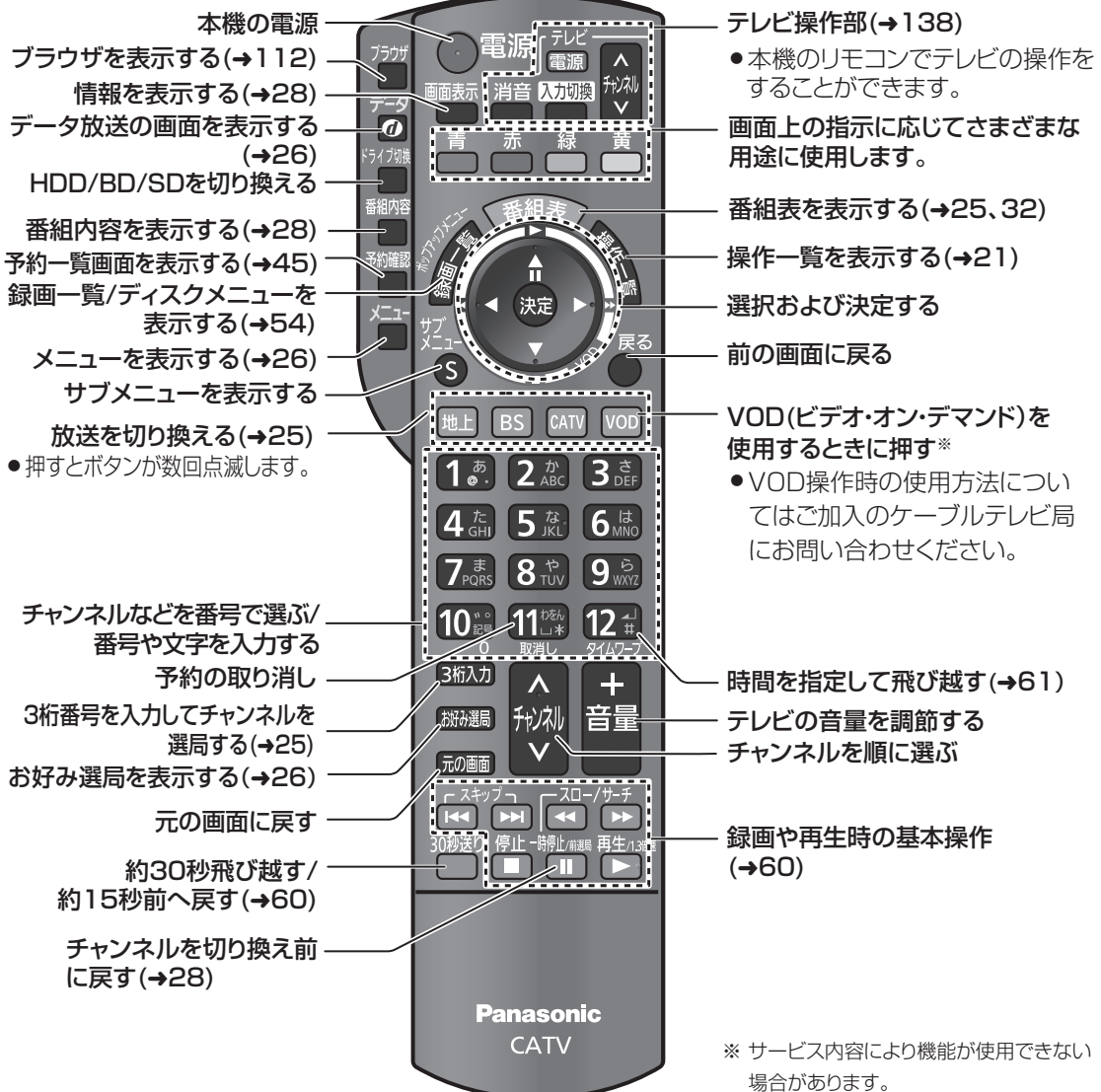
リモコン

リモコンの準備

電池を入れてください。

●⊕⊖ を確認してください。
●本機のリモコン受信部(➜12)に向けて、まっすぐ操作してください。
●電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
（リモコン用に最適なマンガン乾電池のご使用をお勧めします）

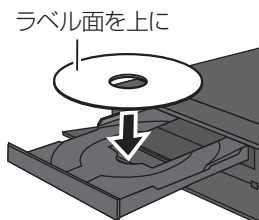
各部の働き（続き）

リモコン（続き）

※ サービス内容により機能が使用できない場合があります。

ディスク・SD カードを入れる

ディスク

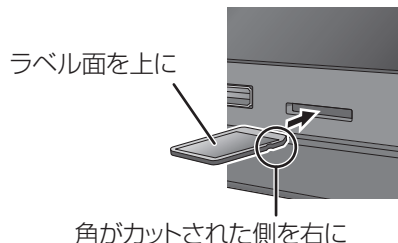
開/閉 ⏏（リモコンのふた内部）を押して
トレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度押すと、トレイが閉まります。
- 本体の [▲ 開 / 閉] でも操作できます。
- ディスクの確認画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

お知らせ

- 両面ディスクの場合、記録または再生したい側の面を下にして入れてください。
- ほこりや指紋が付着したディスクは、**汚れを取り除いて**から使用してください。(➜167)
- 傷の付いたディスクは、記録や再生ができません。
- 使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。
- **カートリッジ付きディスクについて**
  - ･カートリッジ付きの BD-RE（Ver.1.0）は、本機では使用できません。（カートリッジからディスクを取り出しても使えません）
  - ･DVD-RAM や 8 cm のディスクは、カートリッジからディスクを取り出してトレイに載せてください。(➜ 下記)
    （TYPE1 は使えません）
- ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをお勧めします。

SD カード

❶ **本体前面のとびらを開ける**

❷ **カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む**

❸ **本体前面のとびらを閉じる**

カードを取り出すには

上記手順 ❷ で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

お知らせ

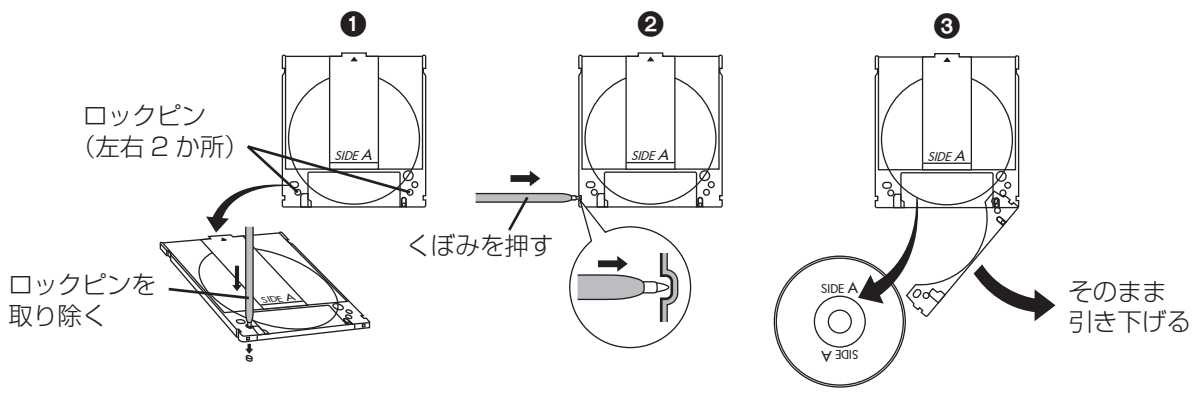
- **本体表示窓の“SD”（➜13）点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。**
- mini タイプや micro タイプの SD カードは、必ず専用の アダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例）

カートリッジ付きディスクの取り出し方例

カートリッジからの取り出し方はディスクによって異なります。
詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

両面 DVD-RAM ディスクの場合

はじめに

記録できるディスクについて

ディスクの種類	ロゴ	記録可能なディスク	記録方式
BD-RE	Blu-ray Disc	BD-RE：Ver.2.1（1層/2層）、Ver.3.0（3層）に対応した2倍速メディアまで	—
BD-R	Blu-ray Disc	BD-R：Ver.1.1/1.2/1.3（1層/2層）に対応した6倍速メディア、Ver.2.0（3層/4層）に対応した4倍速メディアまで	—
DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	Ver.2.0/2.1/2.2に対応した5倍速メディアまで	AVCREC方式
			VR方式（DVDビデオレコーディング規格）
DVD-R	DVD R R4.7	DVD-R：Ver.2.0/2.1に対応した16倍速メディアまで	AVCREC方式
DVD-R DL（片面2層）	DVD R R DL	DVD-R DL：Ver.3.0に対応した8倍速メディアまで	VR方式（DVDビデオレコーディング規格）
			ビデオ方式（DVDビデオ規格）
DVD-RW	DVD R W	Ver.1.1/1.2に対応した6倍速メディアまで	VR方式（DVDビデオレコーディング規格）
			ビデオ方式（DVDビデオ規格）

●8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。

	記録できるコンテンツ	記録できる画質 録画モード	フォーマットは？ (➜118)	備考
	番組 写真	放送画質 DR ハイビジョン画質 1.5～15倍録	必要	●DL、BDXL™ にも記録できます。 ●カートリッジ付きのBD-RE(Ver.1.0)の記録や再生はできません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません) ●2013 年12 月現在、BD-R(片面4 層)は発売されていません。
	番組 写真	ハイビジョン画質 1.5～15倍録	必要	●デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。 ●カートリッジ付きのDVD-RAMは、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。(TYPE1は使えません)
	番組 写真	DVD画質 XP SP LP EP FR	不要 (データ用ディスクの場合、フォーマット必要)	
	番組	ハイビジョン画質 1.5～15倍録	必要	●デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。
	番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	
	番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	不要	●コピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみ記録できます。 ●デジタル放送は記録できません。
	番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	●デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。
	番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	●コピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみ記録できます。 ●デジタル放送は記録できません。

●DVD の記録方式は、本機でフォーマット(➜118)することで設定されます。

記録できるディスクについて（続き）

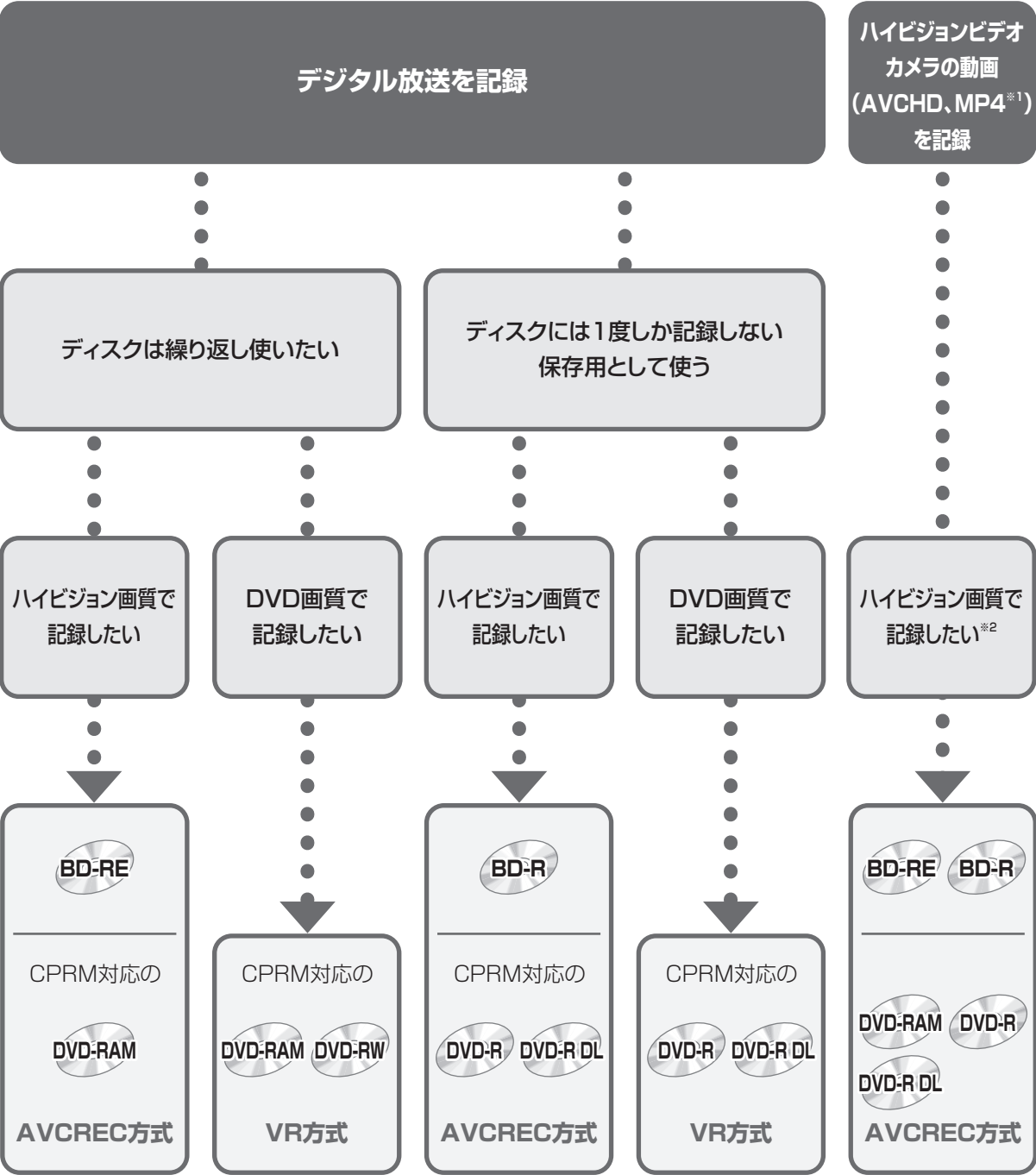
どのディスクを選べば良いかわからない…

お客様の使い方に合わせてディスクを選んでください。

デジタル放送を記録

- ディスクは繰り返し使いたい
  - ハイビジョン画質で記録したい → BD-RE ／ CPRM対応の DVD-RAM ／ AVCREC方式
  - DVD画質で記録したい → CPRM対応の DVD-RAM、DVD-RW ／ VR方式
- ディスクには1度しか記録しない 保存用として使う
  - ハイビジョン画質で記録したい → BD-R ／ CPRM対応の DVD-R、DVD-R DL ／ AVCREC方式
  - DVD画質で記録したい → CPRM対応の DVD-R、DVD-R DL ／ VR方式

ハイビジョンビデオカメラの動画（AVCHD、MP4※1）を記録

- ハイビジョン画質で記録したい※2 → BD-RE、BD-R ／ DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL ／ AVCREC方式

※1　MP4はHDDに取り込んだあと、ディスクにダビングします。

※2　DVD画質で記録したい場合、HDDに取り込んだあと、VR方式、ビデオ方式のDVDにダビングします。

記録したディスクを他の機器で再生するには?

BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。

●LTH typeのBD-Rに記録した場合、再生機器がLTH typeに対応していないと再生できないときがあります。
●当社製 DMR-E700BD や 2006 年春以前に発売された他社製機器では、再生できません。
●1.5 ～ 15 倍録モードの番組や、本機に取り込んだ動画（AVCHD、MP4）、LAN 経由で録画した番組は、再生できない場合があります。
●DL や BDXL のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。
・DL のブルーレイディスクは、2006 年秋以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生できます。
・BDXL のブルーレイディスクは、右記のロゴが付いた機器で再生できます。

DVD-R DL　DVD-RW

以下の条件に当てはまる機器で再生できます。

●**記録したディスクの再生に対応**
●**記録したディスクの記録方式の再生に対応**

・**AVCREC 方式の場合：**
対応機器には右記のロゴが付いています。　AVCREC™
対応機器以外で使用しないでください。
ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。
-R はファイナライズ（**➜121**）が必要です。
・**VR 方式の場合：**
VR 方式の再生に対応している必要があります。
・**ビデオ方式の場合：**
記録後にファイナライズ（**➜121**）が必要です。

●**デジタル放送を記録したディスクの場合、CPRM に対応している必要があります。**

お知らせ
●ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。

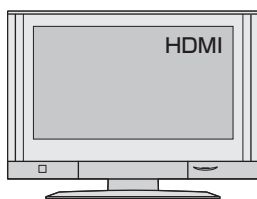
はじめに

操作の前に

本機の映像をテレビに映す

1 **テレビの電源を入れる**

2 **テレビのリモコンで、入力切換の操作をする**

- 本機を接続した入力に切り換えてください。（HDMI など）
- 本機のリモコンでもテレビの電源を入れたり、入力切換を行うことができます。(➜138)

テレビのリモコン

3 **本機のリモコンの** **を押す**

本体表示窓

チャンネル表示

- テレビに映像が映っているか確認してください。
- ケーブルテレビのサービスメニューが表示されます。(➜26)

テレビに映像が表示されない場合

- テレビの入力を確認してください。
- 接続を確認してください。(➜125～133)

本機の電源を切る

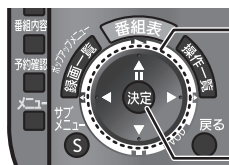
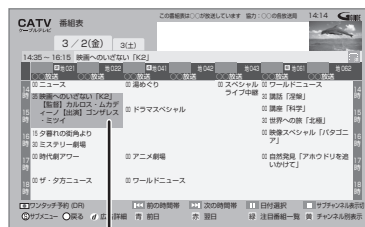
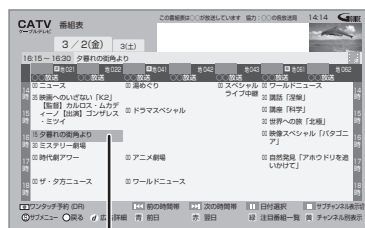
本機のリモコンの **を押す**

本体表示窓

または

時刻表示　　表示なし

画面上の基本操作について

本機は画面に表示されている項目をリモコンの [▲][▼][◀][▶] で選び、[**決定**] を押すことで操作を行います。

例えば、番組を選びたい場合

黄色になっている項目が、現在選ばれている項目

黄色になります。

番組内容の画面が表示されます。

本書では、上記のような操作をする場合、

番組を選び、決定 を押す

と記載しています。

操作一覧画面について

操作一覧画面から本機の主な機能を操作することができます。

1 **を押す**

2 項目を選び、決定 を押す

現在表示しているページの位置
操作一覧画面は3つのページに分かれています。

左右のページを表示するには

スキップ スキップ を押す（または [◀][▶] を数回押す）

全機能から選ぶ
操作一覧画面に表示されていない機能を選びたいときに選んでください。

お知らせ

- **新着お知らせアイコンについて**
  以下の機能で新着情報があるときに表示します。
  ・新番組おまかせ録画番組を見る※
  ・最新録画番組を見る※
  ・メール / 情報
  ・ドアホン・センサーカメラ映像を見る
  ※ 電源「切」時にのみ新着情報の更新を行います。新着情報があるときは、番組のサムネイルを表示します。

操作一覧画面について（続き）

操作一覧画面で表示できる機能

以下の機能を表示することができます。表示する機能は、お好みに合わせて変更することができます。(➜24)

分類	表示できる機能	備考
見る	録画番組を見る	(➜54)
	最新録画番組を見る	(➜57)
	新番組おまかせ録画番組を見る	「新番組おまかせ録画」(➜39) で録画した番組を視聴します。
	写真を見る	(➜97)
	撮影ビデオを見る	(➜57)
	ドアホン・センサーカメラ映像を見る	(➜114)
	ビデオ・オン・デマンド	VOD が使用できるときに表示します。
番組を探す・予約する	予約する	(➜32)
	予約確認する	(➜45)
	検索する	(➜69)
	放送局からのおすすめ（注目番組）	(➜37)
	かんたんおまかせ録画	(➜40)
	関連番組まとめて検索	(➜41)
	新番組おまかせ録画	(➜39)
	ジャンル検索	(➜38)
	お好み番組表	お好みチャンネル (➜26) で登録された放送局のみを番組表に表示します。

分類	表示できる機能	備考
残す	ダビングする	(➜78、80)
	持ち出し番組を転送する	(➜105、106)
	i.LINK（TS）ダビング	(➜95)
ネットワーク機能を使う	お部屋ジャンプリンク（DLNA）	(➜117)
	ブラウザ	(➜112)
設定する・その他の機能	放送設定	(➜147)
	初期設定	(➜150)
	ネットワーク設定	(➜157)
	メール／情報	(➜145)
	壁紙設定	(➜24)
	お好み設定リセット	(➜24)
メディアを使う	メディアを使う	ディスク、SD カード、USB 機器、USB-HDD 内のデータを表示します。

操作一覧画面について（続き）

お好みの表示に変更する

操作一覧画面に表示する機能や背景の壁紙をお好みに合わせて変更することができます。
（「全機能から選ぶ」の表示を変更することはできません）

表示する機能を変更する

1 [操作一覧] **を押す**

2 **変更したい機能を選び、** [サブメニュー S] **を押す**

3 **「機能を登録する」を選び、** [決定] **を押す**

4 **メニューを選び、** [決定] **を押す**

5 **表示したい機能を選び、** [決定] **を押す**

- 登録できる機能については（➜22）

6 **「はい」を選び、** [決定] **を押す**

操作一覧画面の表示を工場出荷時の設定に戻すには

① **[操作一覧]** を押す
② 「全機能から選ぶ」を選び、**[決定]** を押す
③ 「設定する・その他の機能」を選び、**[決定]** を押す
④ 「お好み設定リセット」を選び、**[決定]** を押す
⑤ 「はい」を選び、**[決定]** を押す

壁紙を変更する

1 [操作一覧] **を押す**

2 **「壁紙設定」を選び、** [決定] **を押す**

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **壁紙を選び、** [決定] **を押す**

- 「写真」を選ぶ場合は、あらかじめ「壁紙登録」（➜98）を行ってください。

4 [戻る] **を押す**

- 壁紙設定を終了します。

テレビ放送を見る

1 **[地上] [BS] [CATV] を押して、放送を選ぶ**

●押すとボタンが数回点滅します。

[地上]: 地上デジタル放送
[BS]: BS デジタル放送
[CATV]: CATV デジタル放送(CATV の放送が複数ある場合は、押すたびに切り換わります)

2 **[1] ～ [12] または [チャンネル] を押して、チャンネルを選ぶ**

●数字ボタンを使ってチャンネルを選ぶ場合、「選局入力方式」(➜148)の設定に従って選局されます。

・「3 桁入力」に設定されているとき:
3 桁のチャンネル番号を入力して選局
例)地上デジタル 101:[1]➜[10]➜[1]
- 数字ボタンを押して 3 秒以上経つか [決定] を押すと、押したボタンで(プリセット)選局されます。
- 3 桁入力時に同じチャンネル番号の放送が複数ある場合は、見たい放送を選んで [決定] を押してください。

・「プリセット」に設定されているとき:
数字ボタンを押すとボタンに割り当てられた放送局を選局
- 3 桁入力で選局したい場合は、はじめに [3 桁入力] を押してから選局してください。(➜ 右記)

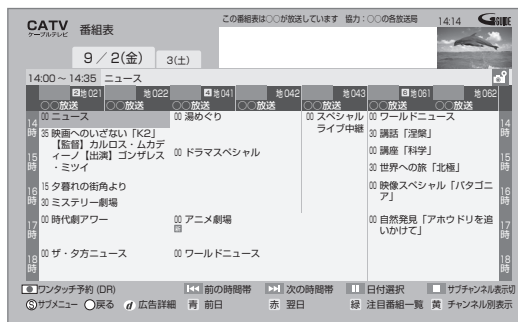
お知らせ

●本機でワンセグ放送の視聴やファイナライズを行うダビング中の視聴はできません。

その他の選局方法

番組表から選局

❶ [番組表] を押す

❷ 放送中の番組を選び、[決定] を押す

☞ **別の放送の番組表を見るには**
[◀][▶] を押し続ける
●[地上][BS][CATV] を押しても、別の放送に切り換わります。

❸「今すぐ見る」を選び、[決定] を押す

3桁チャンネル番号を入力して選局

❶ テレビ視聴中に、[3桁入力] を押す

❷ [1] ～ [10] を押して、チャンネルを入力する
例)101 の場合…[1] → [10] → [1]
●画面が表示されている間に入力してください。

同じチャンネル番号の放送が複数ある場合:

❸ 見たい放送局を選び、[決定] を押す

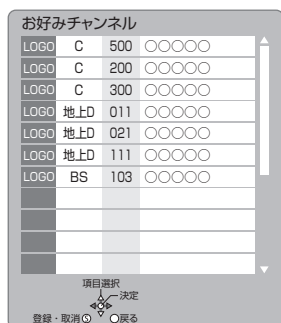
LOGO 地上D 101
LOGO BS 101

☞ **枝番号の異なる放送を選局するには**
(➜29「枝番選局」)

その他の選局方法(続き)

お好み選局から選局

お好み選局は、テレビ画面に放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。
放送に関係なく１つのリストに表示することができます。登録したチャンネルは、お好み番組表としても表示できます。

❶ テレビ視聴中に、[お好み選局] を押す

❷ 放送局を選び、[決定] を押す

■チャンネルの登録

① 登録したい放送局を視聴中に、
[お好み選局] を押す

② [サブ メニュー] を押す

③「登録」を選び、[決定] を押す

④「はい」を選び、[決定] を押す
- リストの一番下に登録されます。
（最大 48 チャンネル）

■チャンネルの取り消し

① [お好み選局] を押す

② 取り消す放送局を選び、[サブ メニュー] を押す

③「取消」を選び、[決定] を押す

④「はい」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- お好み選局で表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。

データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- **本機では、データ放送を録画できません。**

1 **データ放送のある番組を視聴中に、[データ d] を押す**

2 **見たい項目を選び、[決定] を押す**

例）

- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄] や**数字ボタン**で操作してください。

テレビ放送に戻るとき

[データ d] を押す

データ放送のある番組かを確認するには

テレビ放送視聴中に、[番組内容] を押す

(➜28「視聴中の番組の内容を見る」)

- 以下の表示マークが表示された番組は、データ放送を行っています。
(表示マークが表示されない番組もあります)

データ　+d テレビ　d テレビ　+d ラジオ　d ラジオ

ケーブルテレビサービスの入口を表示する

❶ [メニュー] を押す

❷ 項目を選び、[決定] を押す

例）

- 選択した項目の画面に切り換わります。
例)「TV へ」:テレビ画面に切り換わる。
- チャンネル選局をすると、メニュー画面は終了します。
- 電源を入れたときもメニューが表示されます。

有料番組を見る

デジタル放送には、無料と有料のものがあります。有料チャンネルを見るには、ご加入のケーブルテレビ局との契約が必要です。

- ペイ･パー･ビュー(番組単位で購入できる)の番組を視聴･録画するには、ご加入のケーブルテレビ局とペイ･パー･ビューの契約と画面上での購入操作が必要です。
- IC カードの挿入が必要です。
- ケーブルモデムの接続（MODEM 表示の点灯状態 ➜13)が必要です。

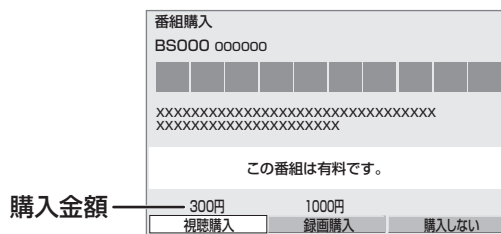
1 ペイ･パー･ビューの番組を選局し、決定を押す

- 番組によってはプレビュー(購入前に、わずかな時間だけ視聴できるサービス)画面が表示されます。

プレビュー中 「決定」ボタンで番組購入案内を表示します

2 項目を選び、決定を押す

- 番組により、選べる項目が変わります。

購入金額

購入する：番組を購入したことになり、視聴できます。
ただし、コピーガードのある番組は録画できません。

購入しない：番組を購入しません。

視聴購入：(料金を払うと視聴できるときのみ表示)
番組を購入したことになり視聴できます。ただし、コピーガードのある番組は録画できません。

録画購入：(料金を払うと録画できるときのみ表示)
番組を購入したことになり視聴および録画ができます。

- デジタル放送には、ビデオデッキなどで録画できないようにしている(コピーガードのある)番組があります。その番組は正常に録画できません。コピーガードを解除できない番組では表示されません。

確認画面が出た場合は、表示内容を確認し操作してください。

購入した有料番組の確認/送信結果を確認するには(➜145)

お知らせ

- 購入した番組の視聴中にも、他のチャンネルに切り換えることができます。ただし、購入操作が終了していると、実際には番組を視聴しなくても料金が請求されます。また、番組予約が実行された場合、視聴や録画をしなくても料金が請求されます。

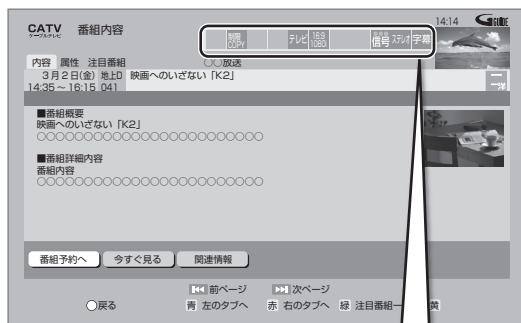
番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

（詳しくは ➜66「画面モード切換」）

視聴中の番組の内容を見る

［番組内容］を押す

表示マークについては ➜186

番組の詳しい内容（属性）を見るには

［赤］を押す（［青］を押すと番組内容に戻ります）

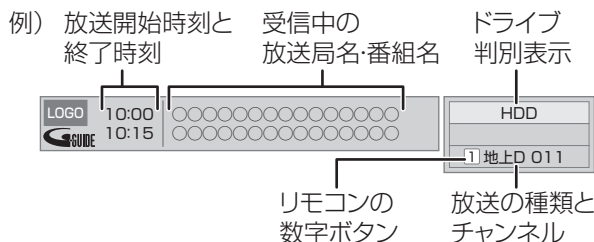
選んでいる番組に関連した番組を検索するには

（➜42）

番組内容の表示を消すには

［番組内容］を押す

見ている番組の情報を表示

［画面表示］を押す

表示を消すには

［画面表示］を数回押す

音声を切り換える

［音声切換］（リモコンのふた内部）を押す

● 押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

お知らせ

● 録画中に切り換えても、記録される音声に影響はありません。
● 切り換えた音声が有料の場合もあります。

字幕を表示する

視聴している番組が字幕付きの番組の場合、字幕を表示できます。

［字幕］（リモコンのふた内部）を押す

お知らせ

● 押すごとに、字幕の表示の入切を切り換えます。

テレビの音量を調節する

を押す

お知らせ

● 本機のリモコンでテレビの音量を調節するには設定が必要です。（➜138）

チャンネルを切り換え前に戻す

チャンネルを切り換えたあと、もう一度切り換える前のチャンネルに戻ることができます。

● 切り換える前のチャンネルは、3秒以上視聴していたときに有効になります。

［一時停止/前選局］を押す

お知らせ

● ［録画●］（リモコンのふた内部）を押して録画している番組を視聴中のときは、録画を一時停止します。

放送中の番組の 3D 設定をする

● 3D 対応テレビと接続時

サイドバイサイド（2 画面構成）などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に変更してください。

（詳しくは ➜68「出力方式」）

音声の出力先を切り換える

本機をビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビとアンプに HDMI で接続すると、本機の音声出力先を切り換えることができます。(➜109)

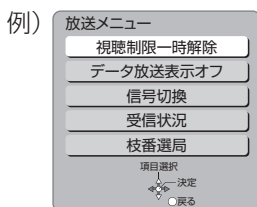
放送内容などの設定

テレビ視聴中に

❶ サブメニュー Ⓢ を押す

❷「放送メニュー」を選び、決定 を押す

❸ 設定項目を選び、決定 を押す（➜ 右記へ）

例）
放送メニュー
視聴制限一時解除
データ放送表示オフ
信号切換
受信状況
枝番選局
項目選択
決定
戻る

お知らせ

● 視聴中の番組により表示される項目が変わります。

視聴制限一時解除	暗証番号 (➜148) を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示オフ	データ放送の表示を終了します。
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 **設定する項目を選び、設定する** お知らせ ● 切り換えた映像が有料の場合もあります。 ● 記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 （詳しくは ➜50）
受信状況	受信している信号の強さなどを表示します。 お知らせ ● 表示は簡易表示であり、確認の目安です。
枝番選局 地上デジタル	枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。 (例：「011-0」、「011-1」) 3桁チャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 **放送局を選び、[決定] を押す** **主選局を変更するには** 主選局にしたい放送局を選び、[緑] を押す

放送中の番組を録画する

HDD

この操作では HDD にのみ録画できます。

1 [地上] [BS] [CATV] **を押す**

2 [1]～[12] **または** **を押して、チャンネルを選ぶ**

3 [サブメニュー S] **を押す**

4 **「録画モード」を選び、[決定] を押す**

5 **録画モードを選ぶ**

- [▲][▼] を押すと切り換わります。
- 表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。

例）

録画モード　記録可能時間　270時間00分	
放送画質	DR
ハイビジョン画質	3 倍録
	5 倍録
	15 倍録

選択している録画モードの倍率を変更できます。変更する場合は、サブメニューボタンを押してください。

サブメニュー　決定　戻る

- ハイビジョン画質を選択時に **[サブ メニュー]** を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。**(➜ 51)**

6 [録画 ●]（リモコンのふた内部）**を押す**

"録画 1" または "録画 2"、"録画 3" が点灯

本体前面

7 **録画の終了方法を選び、[決定] を押す**

例）「30 分後」を選んだ場合

録画を止めるには

[停止 ■] を押す

お知らせ

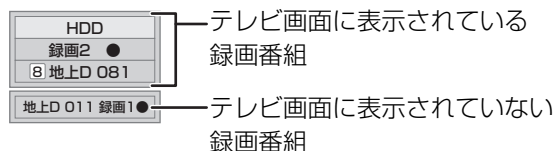
- **録画モードと記録時間の目安（➜ 196）**
- **録画モードと記録時間の倍率について（➜ 51）**
- ディスクや USB-HDD へは録画できません。
  - ・予約録画はできます。（ビデオ方式は除く）
- 予約録画が始まり、複数の番組を録画 **(➜ 52)** できない場合は、予約録画が優先され録画は終了します。
- 長時間連続して録画すると、8 時間ごとの番組に分割されます。
- デジタル放送の番組でも、DVD 画質相当（従来のアナログ放送と同様の画質）の番組があります。この番組は、ハイビジョン画質の録画モードを選んで録画しても、画質は DVD 画質相当です。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。

- **複数の番組を録画するには**
  手順 1 ～ 7 で別の番組を録画してください。
  - ・3 番組録画中のチャンネル / 放送 / 入力切換は、録画中の番組間でのみ行えます。
  - ・番組の同時録画について **(➜ 52)**

録画中のいろいろな操作

録画中の番組の確認

[画面表示] を押す

例）複数の番組を録画中

録画中の番組をテレビ画面に表示

一時停止などの操作をする場合、操作前に録画中の番組をテレビ画面に表示させてください。

●放送を切り換えていた場合：

[地上] [BS] [CATV] を押す

●チャンネルを切り換えていた場合：

を押す

●入力を切り換えていた場合：

[入力切換]（リモコンのふた内部）を押す

録画を止める

[停止 ■] を押す

●複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

一時停止する

録画を一時停止させたい番組をテレビ画面に表示させてください。（➜ 上記）

[一時停止/前週局 ❚❚] を押す

●もう一度押す、または [**録画 ●**]（リモコンのふた内部）を押すと録画を再開します。（番組は分割されません）
●一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

予約録画する

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) USB-HDD

番組表を使って予約録画する

ディスクに予約録画する場合、ディスクを入れると下記のような画面が表示されますので、[戻る] を押して画面を消してください。

例）
BD-RE
かんたんダビング

ディスクへは、1 番組のみ予約できます。

1 番組表 **を押す**

2 番組を選ぶ

☞ **別の放送の番組表を見るには**

[◀][▶] を押し続ける

●[地上][BS][CATV] を押しても、別の放送に切り換わります。

☞ **現在の録画モードを変更するには**

① **[サブ メニュー]** を押す

②「録画モード」を選び、**[決定]** を押す

③ 録画モードを選び、**[決定]** を押す

☞ **番組を検索するには**

(➜38、69)

3 決定 **を押す**

決定 の代わりに 録画 (リモコンのふた内部) を押すと、

現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。(予 が表示されます)

●手順 4 ～ 5 の操作は不要です。

4「番組予約へ」を選び、決定 を押す

表示マークについては ➜186

5 項目を選び、決定 を押す

●ディスクや USB-HDD に予約録画する場合は、「詳細設定」を選び「録画先」を「BD」または「USB-HDD」に変更してください。

予約内容を確認してください。

予約する：
予約を登録

毎週予約する：
毎週同じ曜日に予約を登録（➜46）

録画モード：
録画モードを変更（変更後、「予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください）

持ち出し番組の設定：
モバイル機器へ持ち出すための番組を作成（➜104）

詳細設定：
録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更（➜42）

関連番組まとめて予約へ：
お好みの番組を自動で登録（➜40）

DVD にデジタル放送を録画する場合

CPRM対応
のディスクをお使いください。

DVD に予約録画できる記録方式

ハイビジョン画質で記録できます。（1.5 ～ 15 倍録モードで記録）
● -RW ではできません。

DVD 画質で記録します。（XP、SP、LP、EP、FR モードで記録）

予約録画できません。

お知らせ

- 複数の番組を予約する場合は、手順 1 ～ 5 の操作を繰り返してください。
- 番組表は設置後すぐには表示されません。放送局から番組表のデータを受信する必要があります。
- 電源の入 / 切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。
- 本機では 128 番組まで予約できます。（毎日・毎週予約は、1 番組として数えます）
- USB-HDDに複数の番組を同時に録画したい場合は、USB3.0対応の USB-HDD を使用してください。（➜164）
- 本機で録画したUSB-HDDの番組は、他の機器に接続しても再生することはできません。
- CATV デジタル放送を1.5～15倍録モードでディスクに予約する場合、番組によっては録画先を HDD に変更して予約を実行するときがあります。
- 1 つの放送局が複数のチャンネル番号を持つ場合に、番組表から [◀] を押して番組を選んだ場合と [▶] を押して番組を選んだ場合で、選択されるチャンネル番号が異なります。毎日・毎週予約を設定された場合は、予約実行前に [**予約確認**] を押し、予約内容を確認することをお勧めします。（➜45）

番組表の見方

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。電源「切」時に番組表のデータ受信を行います。

例）全チャンネル表示

番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な 5 つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ / 特撮）を色分け表示しています。

※ 視聴制限を設定した番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。（➜148）

お知らせ

- 本機を設置した時間帯によっては、番組表を表示できるまでに 1 日程度かかる場合があります。
- 番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。
- **パネル広告について**
  インターネットに接続し、「通信による G ガイド受信」（➜147）を「入」にすると、インターネット専用のパネル広告を表示することができます。

番組表の表示設定

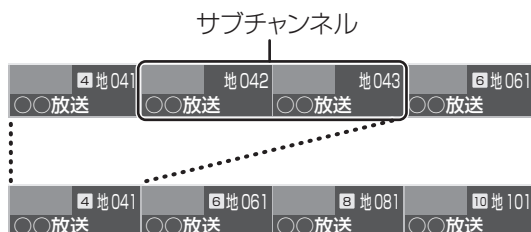
放送の切り換え

 を押す

- [◀][▶] を押し続けても、別の放送に切り換わります。

サブチャンネルの表示切り換え

番組表のサブチャンネルを表示するかどうかを切り換えることができます。

 を押す

お知らせ

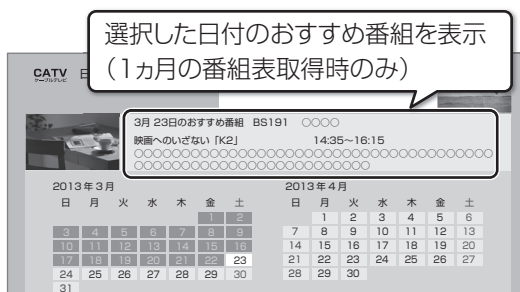
- 表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

日付の切り換え
●全チャンネル表示時のみ

（前日）（翌日）を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

❶ [一時停止/前週間] を押す

❷ 日付を選び、[決定] を押す

お知らせ

- 本機は放送局からの番組情報を基に、通常は8日分の番組表を表示することができます。さらに、本機をインターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(➜147) を「入」にすると、１ヵ月の番組情報を取得することができます。（2013年 12 月現在、インターネットから１ヵ月の番組情報を取得できる放送局は WOWOW のみです）
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境により、ご利用いただけない場合があります。

指定のチャンネルの番組表を３桁チャンネル番号で表示

❶ [1]～[10] を押して、チャンネルを入力する

例）101 の場合…[1]→[10]→[1]

- 入力画面が表示されている間に入力してください。

同じチャンネル番号の放送が複数ある場合:

❷ 見たい放送局を選び、[決定] を押す

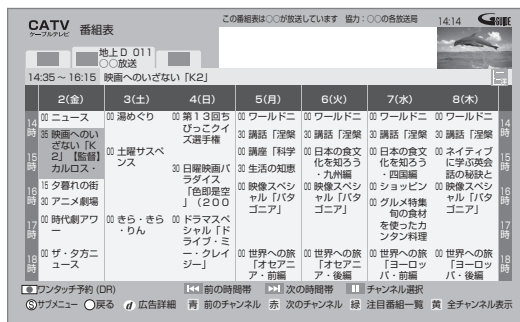
時間帯の切り換え

[スキップ ⏮] または [スキップ ⏭] を押す

チャンネル別に表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

❶ 表示したいチャンネルの番組を選ぶ

❷ [黄] を押す

全チャンネル表示に切り換えるには

[黄] を押す

別のチャンネルを表示するには

チャンネル別表示中に
[青][赤] を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

① [一時停止 ▮▮] を押す

② チャンネルを選び、[決定] を押す

お知らせ

- １ヵ月の番組表を取得している場合、９日目以降の番組情報を取得するのには時間がかかります。

番組表の表示設定（続き）

1 番組表表示中に

を押す

2 項目を選び、設定する

項目	内容
番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。(➜38)
録画モード	録画モード（➜50）を設定します。
表示チャンネル数 ●全チャンネル表示時のみ	1画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示日数切換 ●チャンネル別表示時のみ	1画面に表示する日数を変更します。
表示対象 ●全チャンネル表示時のみ	番組表で表示させる内容を変更します。 ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを表示し、枝番号表示しないようにします。 ●番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
放送切換	別の放送の番組表を表示します。 ●お好み番組表は、「お好み選局」(➜26) で登録されている放送局が表示されます。
ジャンル別表示 ●全チャンネル表示時のみ	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。 ① **メインジャンルを選び、[決定] を押す** ② **サブジャンルを選び、[決定] を押す** **ジャンル別の表示をやめるには** ① **[サブ メニュー]** を押す ② 「全ジャンル表示」を選び、**[決定]** を押す ●別の放送の番組表を表示した場合やサブメニュー操作を行った場合もジャンル表示をやめます。
視聴制限一時解除	暗証番号（➜148）を入力して視聴制限を一時解除します。 **[決定] を押す**
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。 **[決定] を押す**

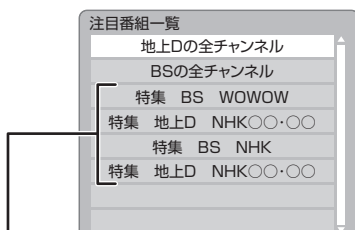
注目番組一覧から予約録画する

放送局がお勧めする番組を一覧表示できます。

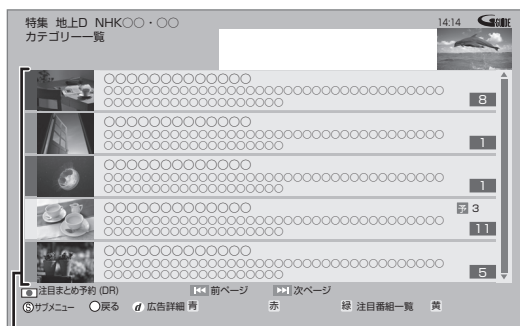
1 番組表表示中に

[緑] **を押す**

2 放送を選び、[決定] を押す

●地上D、BS の全チャンネルを選んだ場合、手順 4 へ進んでください。

インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(➜147) を「入」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。
(2013年 12 月現在、インターネットから注目番組の情報を取得できる放送局は NHK、WOWOW のみです)

3 (インターネットから注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ)

カテゴリーを選び、[決定] を押す

カテゴリー

カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには

[**録画 ●**](リモコンのふた内部）を押す

● 予 が表示され、予約は完了します。

●録画された番組は、まとめ 番組になります。

放送を変更するには

[**緑**] を押す (**➜ 手順 2 へ**)

4 番組を選び、[決定] を押す

カテゴリー

前後のページを見るには

[⏮][⏭] を押す

他のカテゴリーを表示するには

[**青**][**赤**] を押す
([**一時停止 ❚❚**] を押してカテゴリーを選択することもできます)

放送を変更するには

[**緑**] を押す (**➜ 手順 2 へ**)

録画モードを変更するには

① [**サブ メニュー**] を押す
② 「録画モード」を選び、[**決定**] を押す
③ 録画モードを選び、[**決定**] を押す

5 「番組予約へ」を選び、[決定] を押す

(「番組予約」のときは ➜33 手順 5)
(「時間指定予約」のときは ➜44 手順 3)

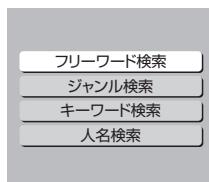
録画

番組を検索して予約録画する

1 番組表表示中に

を押す

2 「番組表の検索」を選び、決定 を押す

3 検索方法を選び、決定 を押す

ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

❹ 検索条件を選び、決定 を押す
●この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

☞ 放送ごとに表示するには
[地上] [BS] [CATV] を押す

☞ 別の日の検索結果を表示するには
[青]（前日）[赤]（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に 、[一時停止 ❚❚] を押して日付を選択することもできます）

●[サブ メニュー] を押すと、「視聴制限一時解除」や「録画モード」「表示対象」「放送種別」の変更を行うことができます。

❺ 番組を選び、決定 を押す
❻ 「番組予約へ」を選び、決定 を押す
(➜33 手順 5)

フリーワード検索

「フリーワード」の検索条件（5 件まで）を登録し、1 つでも条件を満たす番組を検索することができます。

■検索条件を登録する

❹ 緑 を押す
●文字を入力し（➜122)、登録してください。
上記手順 ❹ を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

☞ 登録したフリーワードを変更するには
① 検索条件を選び、[決定] を押す
② 「フリーワード編集」を選び、[決定] を押す
③ 文字を入力する（➜122)

☞ 登録した検索条件を削除するには
① 検索条件を選び、[黄] を押す
② 「はい」を選び、[決定] を押す

■検索する

❹ 検索する放送種別を変更する場合：
① サブメニュー S を押す
② 「放送種別」を選ぶ
③ 検索したい放送を選び、決定 を押す

❺ 青 を押す

☞ 別の日の検索結果を表示するには
[青]（前日）[赤]（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に 、[一時停止 ❚❚] を押して日付を選択することもできます）

❻ 番組を選び、決定 を押す
❼ 「番組予約へ」を選び、決定 を押す
(➜33 手順 5)

お知らせ

●キーワード·人名検索で CATV 放送の番組は検索できません。
●検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなど検索条件が一致していても検索できない場合があります。
●インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(➜ 147) を「入」にしている場合、フリーワード検索結果の表示に時間がかかります。
●「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

新番組を自動で予約録画する

地上デジタル BSデジタル

番組名に 新 、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大16番組まで自動で予約することができます。

- 「夜ドラマ」は18時～23時59分の間に開始時刻が含まれるドラマが対象になります。
- HDD にDRモードで予約します。

1 操作一覧 **を押す**

2 **「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す**

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **「番組を探す・予約する」を選び、決定 を押す**

4 **「新番組おまかせ録画」を選び、決定 を押す**

5 **設定したい項目を選び、「入」にする**

予約された新番組の確認

予約確認 **を押す**

予約内容を修正するには（➜45）

「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。

- 新番組を毎日・毎週予約したい場合も予約内容の修正が必要です。

お知らせ

- 再生し、停止すると、次回予約の画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
- 新番組でも、受信した番組データによっては正しく予約できない場合があります。
- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。
  (➜48「自動予約する番組の優先順位について」)
- 契約が必要なチャンネルの新番組は、契約していない場合、自動登録されません。

録画

お好みの番組を自動で予約録画する（関連番組まとめて予約）

地上デジタル BSデジタル

ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目に関連する番組を毎日検索して自動で予約録画します。

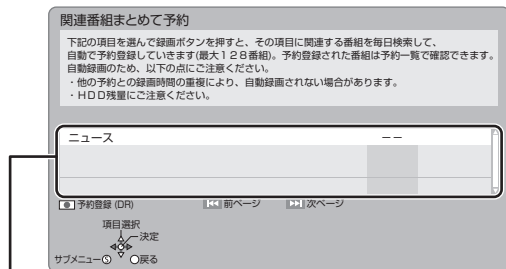
- HDD に予約します。
- 登録できる項目数は 32 個までです。
- 自動で予約される番組数は以下の番組予約の数と合わせて、128 番組までです。
  - ･関連番組まとめて予約
  - ･かんたんおまかせ録画（➜ 右記）

選択した番組から探す

選択している番組に関連する項目から番組を自動で予約録画します。

1 番組予約画面（➜33 手順 5）表示中に**「関連番組まとめて予約へ」を選び、決定 を押す**

- 選択している番組に関連番組の情報がない場合、選択できません。

2 表示されている項目を選び、決定 を押す

選択している番組に関連した項目が表示されます。

録画モードを変更するには

① **[サブ メニュー]** を押す
②「録画モード」を選び、**[決定]** を押す
③ 録画モードを選び、**[決定]** を押す

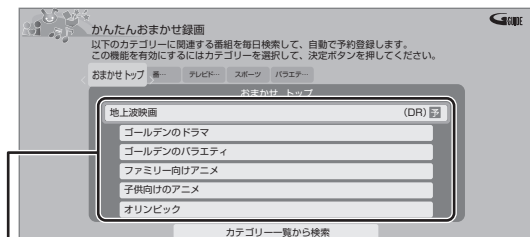
選択したカテゴリーから探す（かんたんおまかせ録画）

選択しているカテゴリーに関連する番組を自動で予約録画します。

- かんたんおまかせ録画で予約した番組は、関連番組まとめて予約として扱われます。

1 **を押す**

2「かんたんおまかせ録画」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 項目を選び、決定 を押す

表示されている項目は、放送データの取得状況によって変わります。

- 予 が表示され、予約は完了します。

■他の項目から予約録画する

上記手順 3 で「カテゴリー一覧から検索」を選び、 **押す**

（➜41「関連番組まとめて検索」手順 4 へ）

■予約済み番組を確認する

上記手順 3 で 青 を押す

（➜41「予約済み番組を確認する」手順 ❹ へ）

■取り消し

❶ **上記手順 3 で登録した項目を選び、決定 を押す**

❷ **「はい」を選び、決定 を押す**

- すでに予約された番組は取り消されません。予約一覧（➜**45**）で取り消してください。

上記手順**3**に表示されていない項目の予約を取り消す場合：[**青**] を押す**（➜41「取り消す」手順 ❹ へ）**

検索機能を使って探す（関連番組まとめて検索）

連続ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目を選び、その項目に関連した番組を自動で予約録画します。

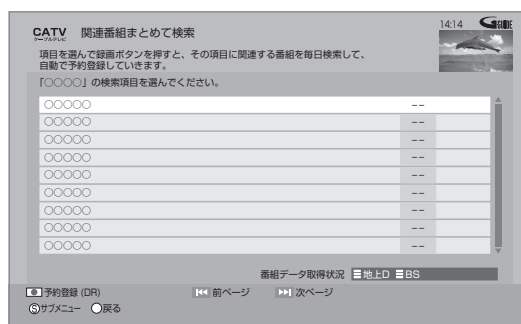
1 **を押す**

2 「関連番組まとめて検索」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [⏮] [⏭] でページを切り換えてください。

3 「検索する」を選び、決定 を押す

4 検索対象から項目を選び、決定 を押す

5 項目を選び、録画●（リモコンのふた内部）を押す

☞ **録画モードを変更するには**

① **[サブ メニュー]** を押す

②「録画モード」を選び、**[決定]** を押す

③ 録画モードを選び、**[決定]** を押す

☞ **関連番組一覧を表示する場合**

手順 5 で **[決定]** を押す

登録した関連番組まとめて予約の確認、取り消し、修正

1 操作一覧 を押す

2 「関連番組まとめて検索」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [⏮] [⏭] でページを切り換えてください。

3 「登録した予約を確認する」を選び、決定 を押す

■予約済み番組を確認する

❹ 確認したい項目を選び、決定 を押す

- 予約番組を修正したい場合：
  ① 修正したい番組を選び、
  [録画 ●]（リモコンのふた内部）を押す
  ② 項目を選び、**[決定]** を押す
  詳細設定について（➜42）

（予約番組を修正すると、関連番組まとめて予約の番組ではなくなります）

■取り消す

❹ 登録した項目を選び、
録画●（リモコンのふた内部）**を押す**

❺「はい」を選び、決定 を押す

- すでに予約された番組は取り消されません。
  予約一覧（**➜45**）で取り消してください。

お知らせ

- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。
  （➜48「自動予約する番組の優先順位について」）
- 契約が必要なチャンネルの関連番組は、契約していない場合、自動登録されません。

録画

選んでいる番組に関連した番組を予約録画する

選択している番組に関連した情報（ジャンル、出演者など）から番組を検索します。

1 番組内容画面（➜32 手順 4）表示中に
「関連情報」を選び、決定 を押す

2 項目を選び、決定 を押す

例）

●この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送ごとに表示するには
[地上] [BS] [CATV] を押す

別の日の検索結果を表示するには
[青]（前日）[赤]（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に、[一時停止 ❚❚] を押して日付を選択することもできます）

3 番組を選び、決定 を押す

4 「番組予約へ」を選び、決定 を押す
（➜33 手順 5）

詳細設定をする

33 ページ手順 5 などで「詳細設定」を選んだあとに操作します。

1 項目を選び、設定する（➜ 下記へ）

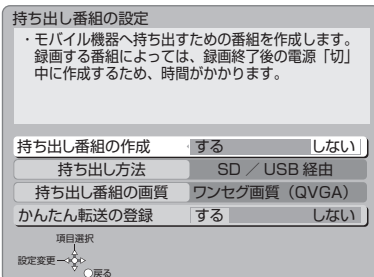
●「録画モード」「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「信号設定」「マイラベル設定」「時間指定予約へ」の場合は、[決定] を押してください。

2 設定が終了したら、
「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す

録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モード (➜50) を設定します。
毎週予約設定	**「毎週予約」（➜46）を設定する** ●「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。 ●曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。 **お知らせ** ●番組表を使って毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合、正常に予約録画されないときがあります。 ●毎週予約では、次回以降の予約が重複している場合があります。予約一覧で確認してください。

持ち出し番組の設定

HDD

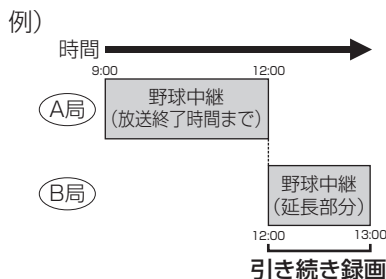
録画時に持ち出し番組も作成するよう設定をします。(➜104)

「持ち出し番組の作成」を選び、「する」を選ぶ

- 「かんたん転送の登録」を「する」に設定すると、「かんたん転送」(➜105) で転送することができます。
- 持ち出し番組の作成は、録画後でも行うことができます。(➜104)

持ち出し方法と画質について (➜103)

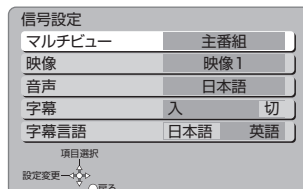
イベントリレー

「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。(ただし、別番組として録画されます)

例)

お知らせ

- 毎日・毎週予約を設定している場合は働きません。
- 録画先が "BD" の場合、延長部分は HDD に代替録画されます。
- 他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。

信号設定

複数の音声や映像の信号があるときに設定します。

① **項目を選び、設定する**

② **[戻る] を押す**

お知らせ

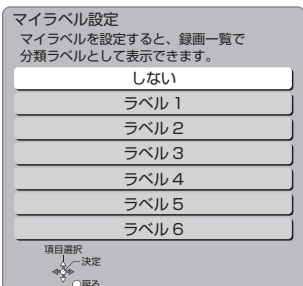
- 記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。(詳しくは ➜50)
- 選べる項目は、予約時点の番組情報に基づいています。実際に放送された番組が設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。

マイラベル設定

HDD

録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。

設定すると、録画一覧 (➜56) で番組を探すのに便利です。

設定は録画後に変更することもできます。(➜72)

ラベルを選び、[決定] を押す

- 選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。
- マイラベル名は変更することができます。(➜58「分類ラベル設定」)

時間指定予約へ

録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。(➜44「時間指定予約」)

予約録画する（続き）

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) USB-HDD

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

1 予約確認 **を押す**

2 録画（リモコンのふた内部）**を押す**

3 **予約内容を設定する**

（➜ 右記「時間指定予約」へ）

4 **「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す**

お知らせ

- **暗証番号に関する表示が出たとき**
  デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴・録画には暗証番号（➜148）の入力が必要です。視聴制限のない番組の場合は、[戻る] を押すと予約できます。
- 番組追従機能（➜47）は働きません。

予約内容の設定

時間指定予約

❶ **項目を選び、設定する（➜ 下記へ）**
- 「毎週予約設定」「録画モード」「持ち出し番組の設定」「番組名入力」「マイラベル設定」の場合は、[決定] を押してください。

❷ 設定が終了したら、
左記手順４へ

録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日・毎週予約を設定します。 （➜42「毎週予約設定」）
放送種別 / チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻 / 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●[◀] または [▶] を押したままにすると 15 分単位で変更できます。
録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モード（➜50）を設定します。
持ち出し番組の設定 HDD	持ち出し番組作成の設定をします。 （➜104）
番組名入力	●文字入力について（➜122） ●入力しなくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。（➜43）

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 予約確認 を押す

2 番組を選び、以下の操作を行う

予約状況がマークで表示されます。
●「!」が表示されたときは、予約内容を確認してください。
●表示マークについては ➜187

●実行されなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。
（消去された予約は「履歴一覧の表示」で確認できます ➜ 右記）
●予約番組の放送時間が変更された場合に、変更内容が予約一覧で反映されないときがあります。

予約の取り消し

❶ 黄 を押す
❷「はい」を選び、決定 を押す

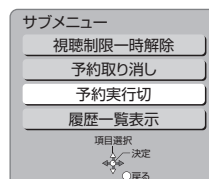
予約内容の修正

❶ 決定 を押す
❷「修正」を選び、決定 を押す
（「番組予約」のときは ➜42「詳細設定」）
（「時間指定予約」のときは ➜44「時間指定予約」）

毎日・毎週予約の予約状況を確認

予約の重複などを確認できます。
❶ 決定 を押す
❷「毎週一覧」を選び、決定 を押す
●予約の「重複」がある場合に [決定] を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。（➜48）
予約の修正をしてください。

予約の実行を止める（一時解除）

❶ サブメニュー S を押す

例）
❷「予約実行切」を選び、決定 を押す
●予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
●[サブ メニュー] を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。（LAN 経由で録画中の番組を除く）

視聴制限の一時解除

暗証番号（➜148）を入力して視聴制限を一時解除します。
❶ サブメニュー S を押す
❷「視聴制限一時解除」を選び、決定 を押す
❸ 1 ～ 10 で暗証番号を入力する

履歴一覧の表示

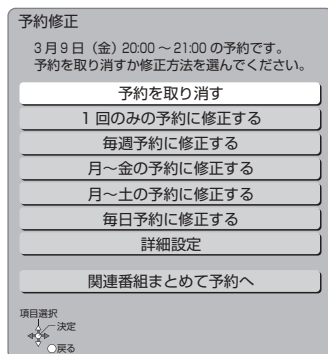
❶ サブメニュー S を押す
❷「履歴一覧表示」を選び、決定 を押す
●履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。
❶ サブメニュー S を押す
❷「履歴削除」を選び、決定 を押す
❸「はい」を選び、決定 を押す
●予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

番組表での予約の取り消し / 修正

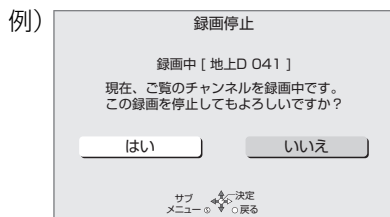
❶「予」が表示されている番組を選び、録画（リモコンのふた内部）を押す

❷ 項目を選び、決定を押す

☞「詳細設定」を選んだ場合
「番組予約」のときは（➜42「詳細設定」）
「時間指定予約」のときは（➜44「時間指定予約」）

☞「関連番組まとめて予約へ」を選んだ場合（➜40）

録画中の予約録画を止める

1 停止を押す
- 複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

2「はい」を選び、決定を押す

例）
- 上記画面が表示されない場合は、本機の映像をテレビに映してください。（➜20）

予約録画の便利な機能

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

- 連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。（➜45）

■まとめ表示について まとめ HDD USB-HDD

連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示されます。（➜59）
（「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く）

■前回の番組を消去して録画するには（自動更新）HDD

「自動更新」（➜42）を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、HDD の容量を効率よく使えます。
- 番組にプロテクトを設定している場合や、HDD 再生中、ダビング中は自動更新されません。（別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます）
- 録画先を HDD 以外に変更すると、「自動更新」は「切」に設定されます。

ディスクや USB-HDD の残量不足などに対応（代替録画）

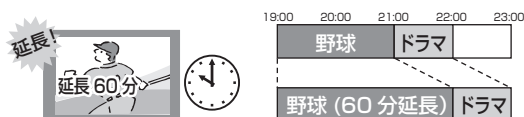
以下の理由などでディスクなどに予約録画できない場合は、録画の失敗を防ぐために、自動的に“HDD”に録画先を変更し、録画の開始から HDD に録画します。
- ディスクや USB-HDD の残量不足
- ディスクの入れ忘れ
- USB-HDD が接続されていない
- USB-HDD の電源が入っていない
- USB3.0 非対応の USB-HDD への予約録画の重複

お知らせ
- HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。
- DVD画質の予約を代替録画すると、HDDには３倍録モードで録画します。
- CATV デジタル放送を1.5～15倍録モードでディスクに予約する場合、番組によっては代替録画を行うことがあります。

番組追従機能

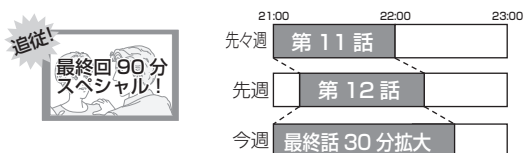
●番組表から予約した番組にのみ働きます

■野球中継などの番組延長に対応

予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。（3 時間までの変更に対応）

●「イベントリレー」（➔43）を設定しておくと、延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。

●予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

■毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送に時間変更があった。最終回だけ 30 分拡大版だった。」などの場合に対応します。（開始 / 終了時刻の 3 時間までの変更に対応）

●次回以降の予約登録をするときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。

●番組表の更新を基に働くため、更新状態（番組名の変更など）によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

番組追従機能を無効にするには

時間指定予約で予約を行ってください。（➔44）

お知らせ

●番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。

●番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

●予約番組の放送時間が変更された場合に、変更内容が予約一覧で反映されないときがあります。

予約録画に関するお知らせ

予約録画待機中の録画や再生

以下の場合、予約録画が始まり、録画や再生は終了します。

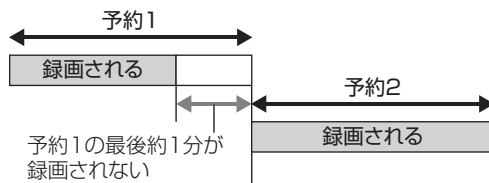
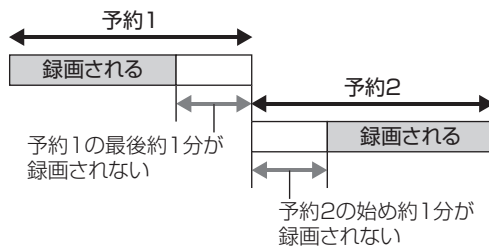
●録画中：
複数の番組を録画できない状態のとき

●ディスク再生中：
ディスクへ予約した番組の予約時刻になったとき

予約時の電源の切 / 入について

電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。予約録画中に電源を切ることはできます。（録画に影響はありません）

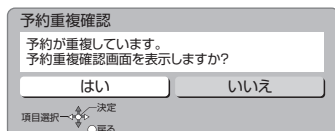
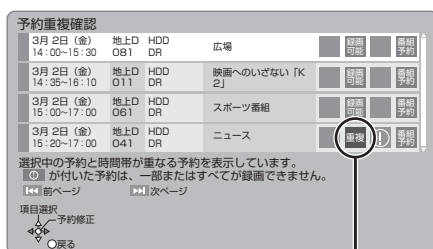
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

複数の番組を録画できない状態のときや、USB3.0 非対応の USB-HDD に予約している場合は、前の予約の終わりの約 1 分が録画されません。

次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されません。

●前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。

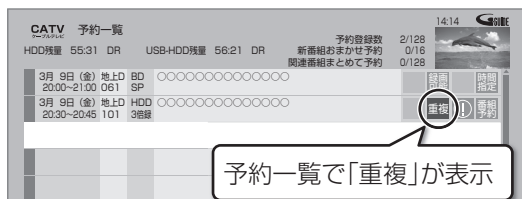
録画

予約録画に関するお知らせ（続き）

予約番組が重なっているとき
（33 ページ手順 5 などのあと）

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。
画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。

例）

「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、**[決定]** を押すと、予約の修正ができます。

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。

開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わりしだい、次の番組が途中から録画されます。
開始時刻が同じ場合、後から予約した番組を優先して録画します。

●LAN 経由の番組に「重複」マークが表示されている場合、途中からの録画は実行されません。

自動予約する番組の優先順位について

本機は、自動的に行う予約録画が重なった場合、以下の優先順位で予約します。

① 関連番組まとめて予約（➜40）
② 新番組おまかせ録画（➜39）

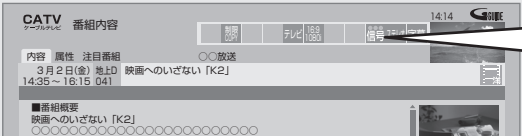
同じ種類の予約録画が重なった場合、複数の番組を録画（➜52）できないときは、以下の優先順位で予約します。

① 開始時刻の早い番組を優先
② 開始時刻が同じときは、地上デジタルと BS デジタルでは、地上デジタル放送の番組を優先
③ 放送波が同じときは、チャンネル番号の小さい番組を優先

多重音声の記録について

海外映画やスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ二重音声の番組や複数の音声を含んだマルチ音声の番組があります。このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定により記録される音声が異なります。

録画する放送の音声を見分けるには…

番組表の番組内容画面で、表示されるマークを確認してください。

信号：マルチ音声

主+副：二重音声

番組を視聴中のときは、**[音声切換]（リモコンのふた内部）**を押して、音声を切り換えて確認することもできます。

例えば、日本語と英語の２か国語放送を記録する場合

記録する操作	記録音声	記録先	記録できる音声
デジタル放送などの録画	信号 マルチ音声※1 主+副 二重音声※2	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) USB-HDD	両方の音声を記録
		RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)	●マルチ音声：片方の音声のみ記録 予約時に「信号設定」（➜43）の「音声」で選択する ●二重音声：両方の音声を記録

※１　CATV デジタル放送のマルチ音声の番組を 1.5 ～ 15 倍録モードで記録する場合、記録できる音声は１つになることがあります。[記録する音声を選ぶには、予約時に「信号設定」（➜43）の「音声」で選択してください]

※２　CATV デジタル放送の二重音声の番組を 1.5 ～ 15 倍録モードで記録する場合、「二重音声記録時の音声選択」（➜152）で選ばれた音声のみ記録します。ただし、番組によっては「主」、「副」を選んでも、両方の音声が記録される場合があります。

録画

録画モードについて

録画モード	DR	1.5 ～ 15 倍録	XP・SP・LP・EP	FR
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮※1して、ハイビジョン画質で長時間記録 ディスクにもハイビジョン画質で記録	DVD画質 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	DVD画質 ディスクの残量に合わせて XP ～ EP の中で画質を自動調整して記録 ●番組の時間が少なくても、ディスク残量がなくなる場合があります。
	—	高画質　長時間	高画質　長時間	—
記録できる放送 / 入力	地上·BS·CATV デジタル放送 i.LINK（TS）	地上·BS·CATV デジタル放送	地上·BS·CATV デジタル放送	
記録できるディスク	HDD BD-RE BD-R USB-HDD	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) USB-HDD	RAM(VR) -R(VR) -R(V)※2 -RW※2	
サラウンドの音声	サラウンド音声※3		ステレオ音声 （ダウンミックス 2 チャンネル）	
複数の音声（マルチ音声 ➜49）	複数の音声をすべて記録	音声は 2 つ記録※4※5※6	音声は 1 つだけ記録※4	
複数の映像	複数の映像をすべて記録	映像は 1 つだけ記録※4		
字幕情報	字幕の入 / 切情報を含めて記録 （再生時、字幕表示の入 / 切ができる）		字幕の入 / 切情報は記録しない （再生時、字幕表示の入 / 切はできない）※4	

※ 1　MPEG-4 AVC/H.264 エンコード

※ 2　-R(V) -RW(V) デジタル放送のコピー制限のある番組は記録できません。

※ 3　CATV デジタル放送の番組によっては、放送の音声方式を変換したステレオ音声（ダウンミックス 2 チャンネル）になります。

※ 4　記録したい映像や音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合、記録前に下記の設定をしてください。

- 録画時　　：「信号切換」（➜29）で選ぶ
- 予約録画時：「信号設定」（➜43）で選ぶ
- ダビング時：「信号切換」（➜65）で選んだあと、ダビングを行う（➜85）

※ 5　15 倍録モードの場合、音声の種類によっては録画できる時間が短くなることがあります。

※ 6　CATV デジタル放送の番組によっては、音声は 1 つだけ記録する場合があります。

画質と記録時間について

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード（4 倍録～ 15 倍録）で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR や 1.5 倍録 など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

DR モード切り換えについて

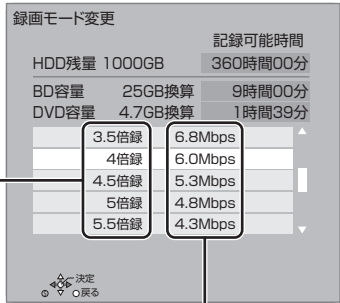
1.5 ～ 15 倍録モードでの録画中に、再生やダビング、お部屋ジャンプリンク（DLNA）などを行うと、以下のような画面が表示される場合があります。

例） **BD-V** 再生時

再生を開始します。

ハイビジョン画質で録画中の番組を
DR モードに切り換え、録画を継続します。

その場合は、いったん DR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
（電源「切」時に予約録画など本機が動作中の場合、動作終了後に変換を行います）

- CATV デジタル放送を録画する場合、番組によってはDR モードに切り換えて録画することがあります。

変換が終了しているか確認するには（➜73）

また、1.5 ～ 15 倍録モードで複数の番組を録画中は、以下の操作ができない場合があります。

- HDD 残量不足時の再生やダビング
- ドアホン・センサーカメラ映像の再生
- 持ち出し番組やダビングリスト作成画面のプレビュー

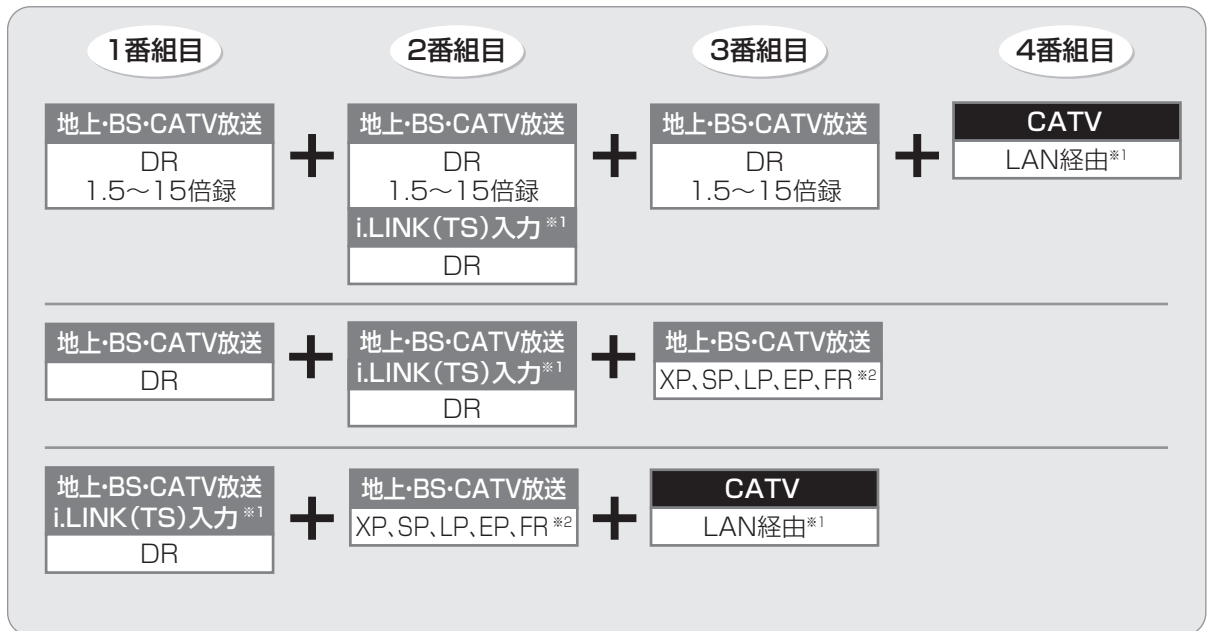
録画モードと記録時間の倍率について

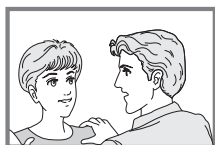
例）

ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像（24 Mbps）を DR モードで録画した場合との比較を表しています。

録画モードと記録時間の目安（➜196）

番組の同時録画について

本機でできる最大の同時録画の組み合わせは、以下のとおりです。
- 1 ～ 4 番組目の録画順は自由です。

※ 1　i.LINK（TS）入力、LAN 経由の番組は、HDD にのみ記録できます。[i.LINK（TS）機器からはダビングのみ可能です]

※ 2　XP、SP、LP、EP、FR モードでの録画は DVD にのみできます。

お知らせ

- 以下の場合、番組の複数同時録画はできません。
  - ・ディスクから HDD へダビング中
  - ・HDD から HDD へダビング（複製）中
  - ・LAN 経由の 2 番組の場合
  - ・ディスクに 1.5 ～ 15 倍録モードで 1 番組、HDD に 2 番組、LAN 経由の 1 番組の同時録画
  - ・同じ時間帯の番組を複数予約したい場合は、**32** ページの操作を繰り返してください。
  - ・USB3.0 非対応の USB-HDD に同時録画する場合
    [USB3.0 対応の USB-HDD でも、ハイスピード USB(USB2.0) 対応の端子に接続した USB-HDD には同時録画できません]
- 予約録画していた番組が、番組追従機能によって録画が延長になり、次の予約と重なった場合に、同時録画の上記の組み合わせ以外のとき、その予約の一部またはすべてが実行されなくなります。

記録の制限について

デジタル放送の録画とダビング

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限があります。

ブルーレイディスク
市販されているディスクはそのまま使用できます。

DVD
著作権保護技術を持ったCPRMに対応している必要があります。

パッケージに CPRM対応 の記載のあるDVDを準備してください。
（デジタル放送録画用と記載されている場合もあります）

■ コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、録画先が HDD や USB-HDD の場合は [10] または [1] を、ブルーレイディスクの場合は [1] を表示します。
[10] ～ [1] はダビングの残り可能回数を表します。
DVDの場合は [×] を表示し、ダビングや移動はできません。

[1] 表示のある番組について
ダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。（複製はできません）
- 通常の番組・持ち出し番組ともにダビング元から消去されます。（**BD-R** 番組が消去されてもディスク残量は増えません）

録画内容が消える

ダビング元

ダビング先

- プロテクト設定（**➜71**）されている場合、ダビングできません。

コピー制御の仕組みに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp

ビデオ方式のディスクの記録アスペクト

「DVD-Video 記録の設定」の「記録アスペクト設定」（**➜152**）に従って記録します。**-R(V)** **-RW(V)** へ記録するときに有効です。
- 「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

ハイビジョン画質/持ち出し番組の記録アスペクト

「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」の「記録アスペクト設定」（**➜152**）に従って記録します。480i の映像を 1.5 ～ 15 倍録モードで記録するときに有効です。
- 以下の場合、「オート」に設定していると、番組のアスペクト変化に追従して記録します。
  ・ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）から HDD にダビング
- ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

従来のアナログ放送と同様の画質で放送されている番組の記録

放送によっては、DR モードよりも他の録画モードで記録するほうが、記録容量が大きくなる場合があります。

再生する

録画した番組を再生する

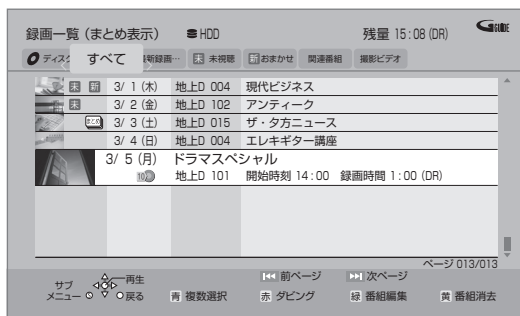
HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

ディスクを再生する場合、ディスクを入れる。

例）BD-RE

上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押すと、下記の手順2に進むことができます。

1 **を押す**

2 **番組を選び、決定 を押す**

- 毎日・毎週予約した番組は、まとめ 番組内に録画されます。
  まとめ 番組を選んで、[決定] を押すと、まとめ 番組内の番組を表示できます。

お知らせ

- **表示マークについては ➜188**
- **録画中番組の再生について**
  ・HDD や USB-HDD に録画中の番組を再生できます。（追っかけ再生）
  ・録画中に録画済みの番組を再生できます。（同時録画再生）
  ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。
- 録画一覧は録画した日付順に表示されます。（まとめ 番組は、最初に録画した番組の日付で表示します）
- 録画一覧表示中に [赤] を押すと、かんたんダビング（➜78）を行うことができます。
- 録画一覧の番組名は、録画を開始して 3 分後または録画終了時に付くようになります。番組名が付いていない場合、いったん録画一覧画面を消して再表示すると番組名が付きます。
- 視聴制限のある番組は表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」（➜58）を行うと、表示されるようになります。

市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する

BD-V DVD-V

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 **ディスクを入れる**

- 自動的に再生が始まります。
- 再生が始まらない場合、[再生 ▶] を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合
項目を選び、決定 を押す

メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中 ：[サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中 ：[録画一覧]を押す

DVD-V [録画一覧]を押す
（[サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ）

ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中 ：[録画一覧]を押す

- 停止中に [1] ～ [10] を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。
  DVD-V ：2 桁入力 BD-V ：3 桁入力

お知らせ

- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [停止 ■] を押して停止させてください。

撮影ビデオ（AVCHD、MP4）を再生する

AVCHD

MP4 （SD カードのみ）

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を再生することができます。

●以下の動画の再生にも対応しています。
・1080/60p(1920×1080/60プログレッシブ)記録
・AVCHD 3D

ディスクまたは SD カードを入れると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例） **SD**

SD カードを入れた場合：
下記の手順 **4** に進みます。

ディスクを入れた場合：
下記の手順 **5** に進みます。

1 操作一覧 **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 ディスクを入れた場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す（➜ 手順５へ）
SD を入れた場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

5 「撮影ビデオを見る」または「撮影ビデオ（AVCHD）を見る」を選び、決定 を押す

●複数種類の撮影ビデオが SD カードに存在している場合、メッセージが表示されます。
再生したい撮影ビデオを選び、**[決定]** を押してください。

6 タイトルを選び、決定 を押す

メニューが表示されないときは
[1] ～ [10] で３桁入力してタイトルを再生してください。

お知らせ

● **MP4** 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

1 操作一覧 **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

4 「プレイリストを見る」を選び、決定 を押す

5 プレイリストを選び、決定 を押す

録画一覧について

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

例）

ラベル
●[◀] [▶] を押すと、ラベルを切り換えることができます。

表示状態
●表示を変えるには（➜58）

選択中のメディア

残量 / 録画モード
●変更するには（➜30）

表示変更ができるラベル
●お好みに合わせて表示するラベルを変更することができます。（➜58「分類ラベル設定」）

選択中の番組

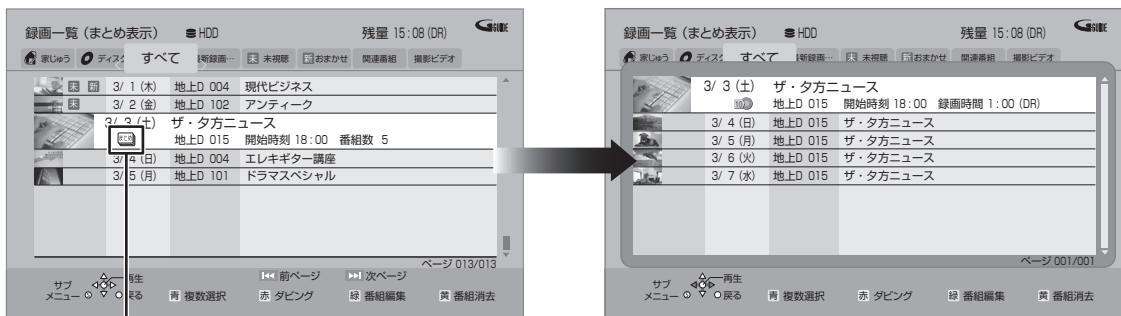
表示マークについては ➜188

ページ数
●[|◀◀] [▶▶|] を押すと、前後のページに表示を切り換えることができます。押したままにすると、素早く切り換わります。

（➜78）（➜71）（➜76）

HDD USB-HDD 録画後すぐは「録画済」と表示
（画像は電源「切」時に作成されます）
●表示される画像を変更するには（➜72「サムネイル変更」）
●ディスクの場合、画像は表示されません。

まとめ 番組について

毎日·毎週予約や関連番組まとめて予約などで録画した番組は、録画一覧では まとめ 番組として表示されます。

まとめ 番組を選び、決定 を押すと、まとめ 番組内の番組を一覧表示します。

お知らせ

●録画一覧に表示される DR モードの残量は、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして計算されています。（➜196）
●録画一覧は録画やダビングまたは本機に取り込んだ日付順に表示されます。

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

<table>
<tr><td colspan="2">家じゅう</td><td>「お部屋ジャンプリンク」(➜117)で接続された機器の録画番組をまとめて表示します。
●「家じゅうラベルの表示」(➜158)を「入」にすると、表示されます。
●「家じゅう」ラベルに表示できる機器は最大 10 台まで、番組数は 1 台当たり最大 4000 番組までです。
●「家じゅう」ラベルから他の当社製ブルーレイディスクレコーダーの番組を再生した場合、接続機器側の「レート変換モード」は働きません。映像が途切れたり停止する場合は、操作一覧画面の「お部屋ジャンプリンク」から再生してください。
●持ち出し番組を作成している番組は、同じ番組が２つ並んで表示される場合があります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ディスク</td><td>ディスク内の番組（ディスクが入っている場合のみ表示）
● BD-V DVD-V では表示されません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">USB-HDD</td><td>USB-HDD 内の番組（USB-HDD が接続されている場合に表示）</td></tr>
<tr><td rowspan="8">HDD</td><td>すべて</td><td>すべての番組</td></tr>
<tr><td>最新録画番組</td><td>最新の録画番組から順に 18 番組まで表示します。
●表示は全番組表示になります。
●再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。番組を消去するときはお気をつけください。</td></tr>
<tr><td>未 未視聴</td><td>録画してまだ見ていない番組
●再生後は、「未 未視聴」から除外されます。</td></tr>
<tr><td>新 おまかせ</td><td>新番組おまかせ録画(➜39)で録画された番組
●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「新 おまかせ」から除外されます。</td></tr>
<tr><td>関連番組</td><td>●関連番組まとめて予約(➜40)で録画された番組</td></tr>
<tr><td>ドラマ、映画などの「ジャンル」</td><td>録画した番組の番組情報を基に、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。
●番組によっては、正しく分類されない場合があります。</td></tr>
<tr><td>マイラベル</td><td>「マイラベル設定」(➜43、72)で設定した番組のみを表示します。
●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。
●マイラベル名は変更することができます。(➜58「分類ラベル設定」)</td></tr>
<tr><td>撮影ビデオ</td><td>ディスクや SD カード、USB 機器から取り込まれた動画（AVCHD、MP4）(➜89)</td></tr>
</table>

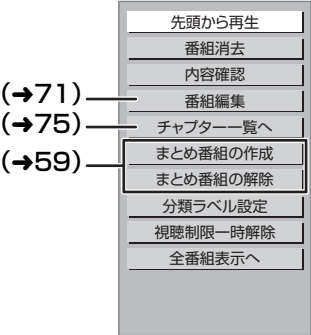
録画一覧上での便利な機能

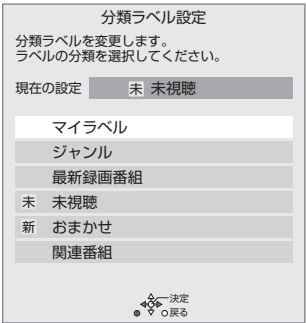
録画一覧画面上で

❶ **番組を選び、サブメニュー(S) を押す**

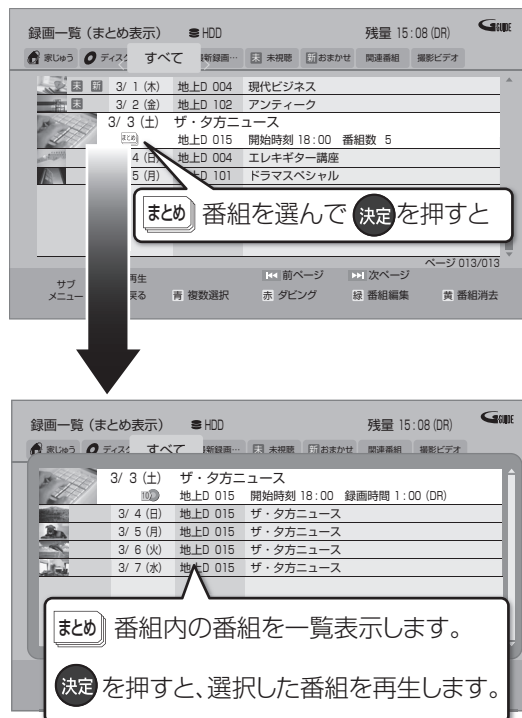
●「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベル（➜56）を選んでから [サブ メニュー] を押してください。

❷ **項目を選び、(決定) を押す（➜ 下記へ）**

例）

先頭から再生 HDD USB-HDD	番組を最初から再生します。
番組消去	番組を消去すると、持ち出し番組も消去されます。 **「消去」を選び、[決定] を押す**
内容確認	番組の内容が確認できます。 ☞ **画面を消すには** **[決定]** を押す

分類ラベル設定 HDD	録画一覧に表示するラベルを変更します。 ●「すべて」「撮影ビデオ」ラベルは変更できません。 分類ラベル設定 分類ラベルを変更します。 ラベルの分類を選択してください。 現在の設定　未 未視聴 マイラベル ジャンル 最新録画番組 未 未視聴 新 おまかせ 関連番組 決定 戻る **表示させたいラベルを選び、[決定] を押す** ●「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。 ●「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。 ① 設定するマイラベルを選び、**[決定]** を押す ②「名称変更」を選び、**[決定]** を押す （ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください） ③ ラベル名を入力する **(➜122)**
視聴制限一時解除 HDD USB-HDD	「制限項目設定」**(➜148)** で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。表示されていない視聴制限のある番組を表示します。
全番組表示へ **まとめ表示へ** HDD USB-HDD	表示を切り換えます。
一覧を更新 **更新を中止** ●「家じゅう」ラベル選択時のみ	「家じゅう」ラベルに表示される番組をすぐに更新します。

まとめ 番組について

HDD **USB-HDD**

毎日・毎週予約や、関連番組まとめて予約などで録画した番組は、録画一覧画面で まとめ 番組として表示されます。

まとめ 番組の録画一覧での表示は、まとめ 番組内で一番最初に録画や記録された番組の日付で表示されます。

まとめ 番組内の番組を連続して再生する（まとめ再生）

まとめ 番組を選び、再生/1.3倍速 ▶ を押す

まとめ 番組の番組名について

「まとめ表示」での番組名は、まとめ 番組内の最初の番組名が付きます。

「まとめ表示」での番組名を変更するには

変更したい まとめ 番組を選んで、「番組名編集」を行ってください。（➜71）

- まとめ 番組名を変更しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集

❶ **番組を選び、青 を押す**

- ☑ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

❷ **すべて選んだあと、サブメニュー S を押す**

❸ **項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）**

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。 **「まとめ番組の作成」を選び、[決定]を押す**
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 **「まとめ番組の解除」を選び、[決定]を押す**
まとめ番組から除外	選んだ番組を、まとめ 番組から外します。（まとめ番組一覧表示のとき） **「まとめ番組から除外」を選び、[決定]を押す**

再生／編集

再生中のいろいろな操作

停止

 を押す

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

- HDD USB-HDD：番組ごとに止めた位置を記憶
- ディスク：前回止めた位置のみを記憶
  - ・記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。
  - ・BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

[一時停止/前選局 II] を押す

- もう一度押す、または [再生 ▶] を押すと、再生を再開します。

早送り / 早戻し（サーチ）

[スロー/サーチ ◀◀] または [スロー/サーチ ▶▶] を押す

押すごとに、または押したままにすると速度が速くなります。（5 段階）

- [再生 ▶] で通常再生に戻ります。
- 早送り 1 速時のみ音声が出ます。

スキップ

再生中または一時停止中に

[スキップ |◀◀] または [スキップ ▶▶|] を押す

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。

- チャプターマーク（➜74）がある場合は、その場面に飛びます。
- HDD USB-HDD まとめ再生中（➜59）は、前後の番組も含めて飛び越します。
- MP4 できません。

30 秒先へ飛び越す

[30秒送り] を押す

押すごとに、約30秒先へ飛び越して再生します。

- DVD-V 正しく働かない場合があります。

15 秒前へ戻す

[30秒送り] を約2秒以上押す

約15 秒前に戻して再生します。

- DVD-V 正しく働かない場合があります。

早見再生（1.3 倍速）

[再生/1.3倍速 ▶] を約 1 秒以上押す

通常よりも速い速度で再生します。

- もう一度 [再生/1.3 倍速▶] を押すと、通常再生に戻ります。
- 市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、「1080/60p」の表示がある番組、-RW（ファイナライズ後も含む）、MP4 ではできません。
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。

スロー再生

一時停止中に

[スロー/サーチ ◀◀] または [スロー/サーチ ▶▶] を押す

押すごとに速度が速くなります。(5段階)

- **[再生 ▶]** で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または BD-V、AVCHD では、送り方向のみ働きます。
- MP4 できません。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

(左または右) を押す

押すごとに 1 コマずつ送り (戻し) ます。

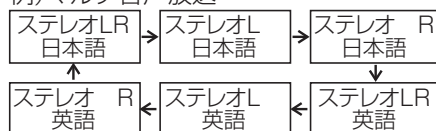
- 押したままにすると、連続してコマ送り (戻し) します。
- **[再生 ▶]** で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または BD-V、AVCHD では、コマ戻しはできません。
- MP4 できません。

音声の切り換え

[音声切換] (リモコンのふた内部) を押す

- 押すごとに、番組の内容によって切り換わります。

例)マルチ音声放送

ステレオLR 日本語 → ステレオL 日本語 → ステレオ R 日本語 → ステレオLR 英語 → ステレオL 英語 → ステレオ R 英語 → ステレオLR 日本語

- BD-V DVD-V ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。
- MP4 できません。

時間を指定して飛び越す (タイムワープ)

❶ **[12 タイムワープ] を押す**

❷ **飛び越し時間の表示中に、**
[▲][▼] で飛び越す時間を設定し、[決定] を押す

飛び越し時間表示
約5秒間表示

- **[▲][▼]** を押すごとに 1 分ずつ(押したままで 10 分ずつ) 送り **[▲]**、戻し **[▼]** します。
- BD-V DVD-V AVCHD MP4 できません。

音声の出力先の切り換え

本機をビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビとアンプに HDMI で接続すると、本機の音声出力先を切り換えることができます。

操作方法(➜109)

字幕の切り換え

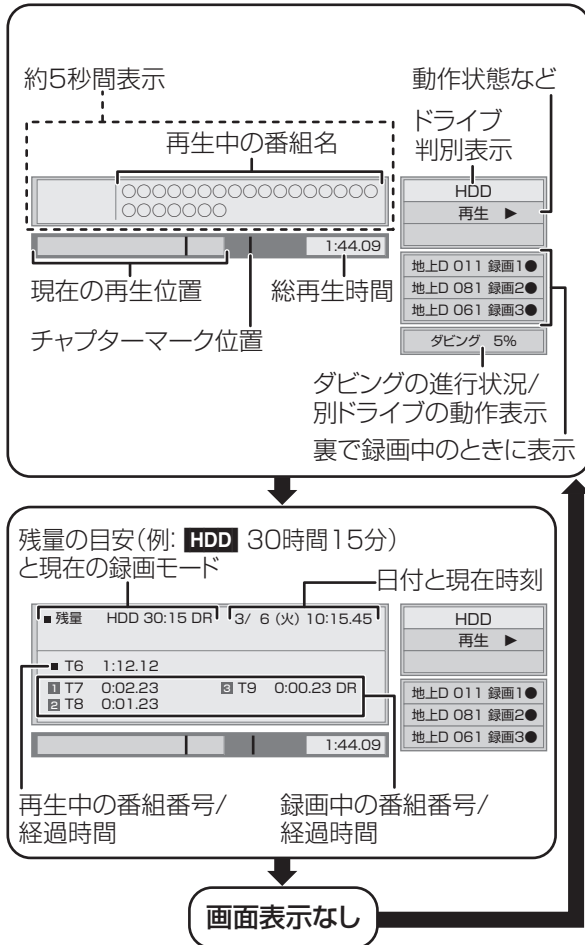
再生中の字幕表示の入 / 切は、**[字幕]**(リモコンのふた内部)を押してもできません。字幕表示の入 / 切を行うには、「再生設定」**(➜65)**で行ってください。

操作の状態の表示

テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

画面表示 を押す

●押すごとに画面表示が切り換わります。

例）HDD

残量表示について

放送信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。(DR モードは、特にそのばらつきが大きくなります)

お知らせ

●ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。

3D 映像を楽しむ

3D 対応テレビと接続すると、臨場感にあふれた、迫力ある 3D 映像をお楽しみいただけます。

●テレビ側で必要な準備を行ってください。

※ イラストはイメージ図です。

●表示される画面の指示に従って、再生を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

3D 方式設定	3D映像が正しく3D再生できない場合に、接続しているテレビの方式に合わせて設定してください。(➜155)
3D 再生時の注意表示	3D 視聴の注意画面を表示しないようにすることができます。(➜155)
BD-Video の 2D→3D変換モード	2D ディスクを 3D 再生する場合の、字幕やメニューの表示方法を設定できます。(➜152)
画面表示の飛び出し量	再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。(➜68)

3D 映像を 2D（従来の映像）再生したい場合、以下の設定をしてください。

● BD-V ：「3D ディスクの再生方法」(➜152)

●録画した 3D 番組 ：「3D 番組の出力方法」(➜155)

再生中の番組の 3D 設定をする

サイドバイサイド（2 画面構成）などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に変更してください。

(詳しくは ➜68「出力方式」)

3D 映像を再生するための便利な機能

3D 映像の奥行きなどを設定して再生することや、2D 映像を擬似的に 3D 映像に変換して再生することなどができます。

(詳しくは ➜68「3D 設定」)

お知らせ

●「3D 方式設定」(➜155) が「サイドバイサイド」の場合は、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。
●接続している機器によっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D 映像に切り換わることがあります。接続している機器側の 3D 設定をご確認ください。
●3D 映像は、「HDMI 出力解像度」や「24p 出力」(➜156) の設定どおりに出力されない場合があります。
●3D 映像の再生開始時に、サイドバイサイド（2画面構成）で見えることがあります。
●3D映像と2D映像を連続で再生すると、先頭部分が二重に見えることがあります。
●「AVCHD 3D」の表示がある番組は、接続したテレビによっては、サイドバイサイド（2 画面構成）で再生することがあります。

BD-Live 対応の BD ビデオや副映像のある BD ビデオを楽しむには

お楽しみいただける機能や操作方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明やホームページをご覧いただきお楽しみください。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live 対応ディスクでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。
ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、外部メモリー（ローカルストレージ）に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

- 本機ではローカルストレージに SD カードを利用します。SD カードが挿入されていない場合、BD-Live 機能を利用できません。

1. **ネットワーク接続と設定をする（➜128、140）**
2. **「BD-Live インターネット接続」（➜152）を「有効」または「有効（制限付き）」に設定する**
3. **1 GB 以上の残量がある SD カードを入れる**
4. **ディスクを入れる**

- SDカードに記録されたBDビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。**（➜119、手順 5 で「BD ビデオデータ消去」を選んでください）**

お知らせ

- インターネットに接続してBD-Liveコンテンツを利用するには、アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
- BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

副映像のあるディスクを楽しむ

副映像のあるディスクでは、映画監督のコメントやサブストーリーなどの映像を、本編の再生と同時に楽しむことができます。

例）

- 副映像の音声を出力する場合、「BDビデオ副音声・操作音」**（➜154）**を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは

- 「副映像設定」の「映像情報」と「音声情報」を設定してください。**（➜66）**
- 「BD-Video の 2D → 3D 変換モード」を「モード 2」に設定してください。**（➜152）**

信号切換や再生方法の設定などをする

1 **再生中に**

再生設定 **（リモコンのふた内部）を押す**

2 **メニューを選び、決定 を押す**

例）BD-V

3 **設定項目を選び、決定 を押す**

●ディスクにより設定項目は異なります。

4 **設定を変更する**

お知らせ

- 映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。
- 収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

基本設定

音声情報

音声属性を表示したり、音声や言語を選ぶことができます。

信号切換

DR モードまたは 1.5 ～ 15 倍録モードの番組は音声などを切り換えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。

- ▶ **マルチビュー**
- ▶ **映像**
- ▶ **音声**
- ▶ **二重音声**
- ▶ **字幕（入 / 切）**
- ▶ **字幕言語（日本語 / 英語）**

音声チャンネル

音声（L/R）を切り換えます。

字幕設定

字幕の表示位置やスタイルの設定を行います。

- ▶ **字幕設定**：字幕表示の入 / 切や、言語の選択
- ▶ **字幕スタイル**：ディスクに記録された字幕スタイルの選択
- ▶ **字幕位置** BD-V DVD-V：字幕の表示位置を変更

アングル

アングルを選びます。

リピート

（本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ）

繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。

- ▶ **番組**：録画した番組全体を繰り返し再生
- ▶ **タイトル**：BD-V DVD-V AVCHD タイトル全体を繰り返し再生
- ▶ **チャプター**：再生中のチャプターを繰り返し再生
- ▶ **プレイリスト**：プレイリスト
- ▶ **全曲**：ディスク全体
- ▶ **1 曲**：選んだ曲のみ

ランダム（音楽再生時のみ）

●「入」にすると、順不同に再生します。

再生／編集

映像情報 AVCHD
情報の表示のみ

主映像情報 BD-V

副映像設定 BD-V
- ▶ **映像情報**
- ▶ **音声情報**

画面モード切換
上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。
- ▶ **ノーマル**　：元の映像で表示
- ▶ **サイドカット**：16：9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示
- ▶ **ズーム**　：4：3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示

●以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
・他のチャンネルを選局
・番組の再生を始める、または終了する
・電源を切 / 入
●番組やディスクの内容によっては、設定しても効果がない場合があります。
●テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

映像詳細設定

設定した内容は保持されます。

ディスプレイ
- ▶ **標準**
- ▶ **プロジェクター**

映像素材
再生時の画質を選びます。
- ▶ **標準**
- ▶ **シネマ**
- ▶ **アニメ**
- ▶ **ライブ**

HD オプティマイザー
動画に発生する不要なノイズを補正します。
数値が大きい方が、より低減されます。
- ▶ **ブロックノイズ低減**
- ▶ **ランダムノイズ低減**
- ▶ **モスキートノイズ低減**
- ▶ **ドット妨害・クロスカラー低減**

リアルクロマプロセッサ
色信号を高精度に補正することにより、映像の鮮やかさや、色の濃さ、色あいを調整します。
- ▶ **色の帯域**
- ▶ **色の濃さ**
- ▶ **色あい**

超解像
映像の鮮明さを調整します。
数値が大きい方が、より鮮明になります。
- ▶ **精細感**
- ▶ **輪郭強調**

輝度調整
明るさ、黒レベル、白 / 黒階調を調整します。
- ▶ **明るさ**
- ▶ **黒レベル**
- ▶ **白階調**
- ▶ **黒階調**

プログレッシブ処理

480p、1080p のプログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

●「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。

▶ Auto

▶ Video

▶ 24p ［「24p 出力」（➜156）が「入」の場合のみ］

DVD-V や録画した番組をより映画らしい動きで再生することができます。

●設定の切り換え時に、映像が乱れる場合があります。

●以下の場合、24p 設定は解除され、前回の設定に戻ります。

・DVD-V ：ディスクを取り出した場合

・録画した番組：再生を停止した場合

旧作モード※1

映像の制作時期が古く、画質が良好でない場合に適したモードです。ノイズを抑えてすっきりとした画質に補正します。

▶ 切

▶ 弱

▶ 強

● BD-V DVD-V AVCHD MP4 できません。

●画質が良好な番組の場合、再生する画質が劣化することがあります。

●再生を停止すると「切」に戻ります。

原画解像度変換※1

［BD-V またはハイビジョン放送（1080i）を DR モードまたは1.5〜15倍録 モードで記録した番組に有効］

低解像度（720i/p、480i/p）の原画をハイビジョン（1080i）に変換したアニメ番組などの場合、「切」以外を選ぶと再生する画質が改善することがあります。

▶ 切：1080i の場合

▶ 720i/p

▶ 480i/p

●設定によっては、再生する画質が劣化します。

●再生を停止した場合、「切」に戻ります。

映像詳細設定を標準に戻す

映像詳細設定を初期化します。

音声詳細設定

設定した内容は保持されます。

音質効果

▶ 切

▶ ナイトサラウンド※2

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。

▶ リ . マスター (弱 / 標準 / 強)※2

デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。

（サンプリング周波数が 96 kHz 以下で記録された音声に有効）

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

●リ.マスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

自動音量調整※2

番組と CM、ディスクと放送など、コンテンツ間の音量差を自動で調整します。

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス※2

センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2 倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

※1　「旧作モード」と「原画解像度変換」はどちらか一方しか設定できません。一方を設定するともう一方は「切」に固定されます。
また、3D 再生中は設定できません。

※2　「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(➜154)

再生／編集

3D 設定

出力方式※3

▶ **オリジナル**　：元の映像で表示します。

▶ **サイドバイサイド**：
サイドバイサイド（2 画面構成）などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に選択してください。
- 変更しても正しく表示されない場合は、「3D 方式設定」（➜155）とテレビ側の 3D 設定を確認してください。

▶ **2D → 3D 変換**：
再生中の 2D 映像を擬似的に 3D 映像に出力します。（録画した番組、BD-V、DVD-V の再生時に有効）

- BD-V の3D再生や 3D 表示のある番組では、「オリジナル」固定になります。

3D 画面モード（3D 奥行きコントローラー）※3
（3D 再生中のみ）

▶ **標準**　：標準的な 3D 効果で映像を再生します。

▶ **弱**　：飛び出しすぎを抑えて、広がり感のある 3D 映像を楽しめます。
（「2D → 3D 変換」時は選択できません）

▶ **手動**

画面モード手動設定

［3D 画面モード（➜ **上記**）が「手動」時のみ］
3D 映像の各種効果を設定します。

▶ **奥行き**　：
映像の飛び出し量を設定

▶ **スクリーンタイプ**：
画面の見え方（平面または曲面）を選択

▶ **周辺ぼかし幅**：
画面の縁のぼかし量を設定

▶ **周辺ぼかし色**：
画面の縁のぼかしの色を設定

画面表示の飛び出し量

3D再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

※3　以下の場合、「出力方式」は「オリジナル」、「3D 画面モード」は「標準」に戻ります。
- 他のチャンネルを選局
- 番組の再生を始める、または終了する
- 電源を切 / 入

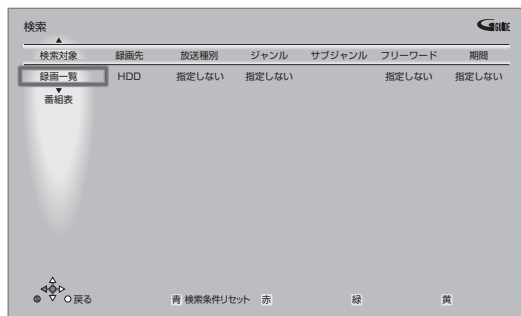
番組を検索する

複数の検索条件を組み合わせて、番組表や録画番組の中から番組を検索し、予約録画や再生・編集をすることができます。

1 [操作一覧] **を押す**

2 「検索する」を選び、[決定] を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 予約録画したい番組を検索する場合：
「番組表」を選び、[▶] を押す
再生・編集したい番組を検索する場合：
「録画一覧」を選び、[▶] を押す

4 検索条件を設定する(➜70)

●検索条件を指定しない項目は、「指定しない」を選んでください。
（[赤] を押して「指定しない」にすることもできます）
●最後に検索した条件が保持されます。
（放送データの取得状況によっては、人名の設定が解除される場合があります）

設定した検索条件をリセットするには
[青] を押す

5 すべての設定が終了したら、[決定] を押す

予約する

❻ 番組を選び、[決定] を押す
❼「番組予約へ」を選び、[決定] を押す（➜33 手順 5）

再生する

❻ 番組を選び、[決定] を押す

編集する

❻ 番組を選び、[緑] を押す（➜71 手順 3）

チャプターを編集するには
[サブ メニュー] を押して「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す（➜75 手順 4）

消去する

❻ 番組を選び、[黄] を押す
❼「消去」を選び、[決定] を押す

再生／編集

番組を検索する（続き）

検索条件について

録画先※1※2	録画番組のある録画先 ●「家じゅう」は、お部屋ジャンプリンク（DLNA）で接続された機器の中から番組を検索することができます。
放送種別	放送の種類 ●「お好み」※3は、「お好みチャンネル」（➜26）で登録されている放送局です。
ジャンル	番組のジャンル
サブジャンル※4	「ジャンル」の詳細
フリーワード	登録したワード **フリーワードの登録について（➜右記）**
人名(頭文字)※3	人名の頭文字
人名※3	「人名（頭文字）」で指定した頭文字の人名
期間※2	番組を録画した日時

※1　USB-HDD を登録している場合や「家じゅうラベルの表示」（➜158）が「入」の場合に表示されます。

※2　検索対象が「番組表」のときは表示されません。

※3　検索対象が「番組表」のときのみ表示されます。

※4　録画先が「家じゅう」のときは表示されません。

フリーワードを登録する

フリーワードは 20 件まで登録することができます。

1. **「新規登録」を選び、決定を押す**
2. **文字を入力する（➜122）**

インターネットから取得したキーワード（青色表示）を登録するには

キーワード（青色表示）を選び、[緑] を押す

登録したフリーワードを変更するには

① 変更したいフリーワードを選び、[緑] を押す

② 文字を入力する（➜122）

登録したフリーワードを削除するには

削除したいフリーワードを選び、[黄] を押す

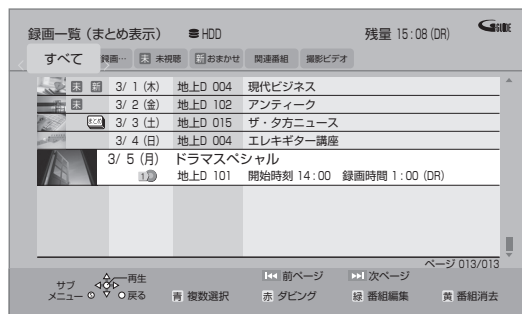
お知らせ

- 録画中の番組は、検索の対象になりません。
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなど検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」（➜ 147）を「入」にしている場合、番組表の検索結果の表示に時間がかかります。
- フリーワードで英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

番組を編集する

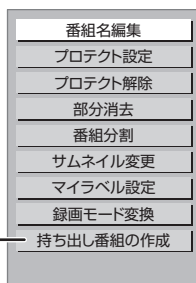
HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD
（ファイナライズしたディスクや AVCHD では編集できません）

1 録画一覧 を押す

2 **番組を選び、緑 を押す**

例）HDD

番組を検索するには（➜69）

3 **項目を選び、決定 を押す（➜右記へ）**

例）HDD

お知らせ

- 「録画モード変換」が設定されている番組は、「番組分割」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。
- 持ち出し番組の作成が終了していない番組は、「番組分割」はできません。「持ち出し番組の作成」（➜104）の設定を取り消すと実行できます。

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**

① 早送りやスロー再生など（➜60、61）を使って、目的の部分を探す
② 編集したい場面で [一時停止 ❚❚] を押し、[◀] [▶] を押して場面を調整する

番組名編集

文字入力（➜122）

お知らせ

- 以下の番組は変更できません。
  - ・新 表示の番組
- 番組名を変更すると、持ち出し番組の番組名も変更されます。
- まとめ 番組の番組名を変更しても、まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

プロテクト設定 / 解除

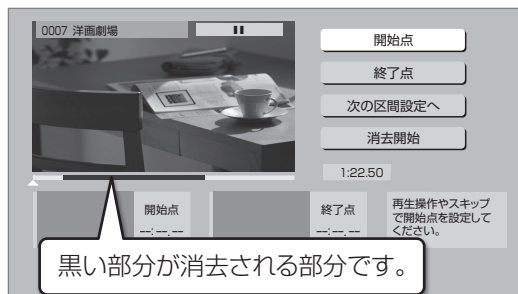
記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定ができます。

- -R(V) -RW(V) できません。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す

- プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。

部分消去

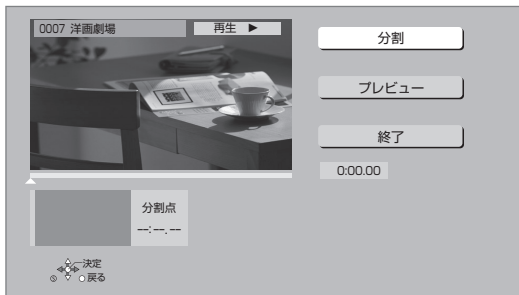
- -R(V) -RW(V) できません。

① **[再生 ▶] を押して、再生を始める**
② **「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で [決定] を押す**
③ **[再生 ▶] を押して、再生を始める**
④ **「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で [決定] を押す**
- 続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、[決定] を押す（➜手順 ② へ）
  - ・20区間まで設定できます。
  - ・すでに設定した区間の変更はできなくなります。

⑤ **「消去開始」を選び、[決定] を押す**
⑥ **「実行」を選び、[決定] を押す**

- 部分消去すると、持ち出し番組は消去されます。
- 部分消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。

再生／編集

番組分割

●-R(V) -RW(V) できません。

① 「分割」を選び、分割する場面※で [決定] を押す
- ●「プレビュー」を選び、[決定] を押すと、分割する場面を確認することができます。

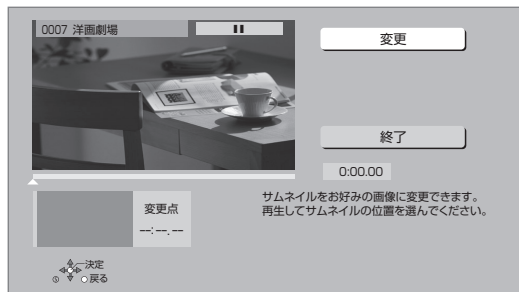
場面を選び直すには
① 「分割」を選び、[再生 ▶] を押して再生を始める
② 分割する場面で、[決定] を押す

② 「終了」を選び、[決定] を押す
③ 「分割」を選び、[決定] を押す

●分割した番組は、まとめ 番組になります。
●分割すると、持ち出し番組は消去されます。
●分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。
●BD-RE BD-R 分割した番組は、HDD にダビングできない場合があります。

※ 編集したい場面をうまく選ぶために
① 早送りやスロー再生など（➜60、61）を使って、目的の部分を探す
② 編集したい場面で [一時停止 ❚❚] を押し、[◀] [▶] を押して場面を調整する

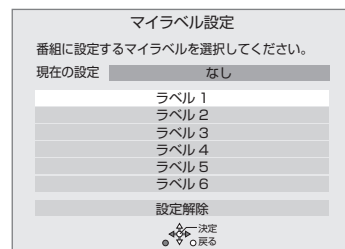
サムネイル変更
HDD -R(V) -RW(V) USB-HDD

録画一覧やトップメニューで表示される画像（サムネイル）を変更します。
●-R(V) -RW(V) サムネイルはファイナライズ後のトップメニュー画面で表示されます。

① [再生 ▶] を押して、再生を始める
② 「変更」を選び、お好みの場面※で [決定] を押す

場面を選び直すには
① 「変更」を選び、[再生 ▶] を押して再生を始める
② お好みの場面で、[決定] を押す

③ 「終了」を選び、[決定] を押す

マイラベル設定
HDD

録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。

① ラベルを選び、[決定] を押す
② 「マイラベル設定」を選び、[決定] を押す

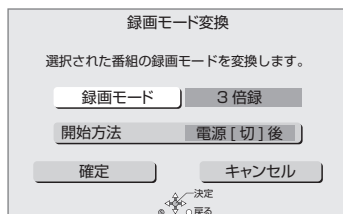
●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。
●マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、[決定] を押してください。
●マイラベル名は変更することができます。（➜58「分類ラベル設定」）

録画モード変換

HDD **USB-HDD**

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

録画モードを変換すると、容量を抑えることができます。

●1.5 ～ 15 倍録 モードのみ選択できます。

① **「録画モード」を選び、[決定] を押す**

② **倍率を選び、[決定] を押す**

③ **「開始方法」を選び、開始方法を設定する**

●**すぐに**：

「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。

●**電源 [切] 後**：

電源「切」後、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

④ **「確定」を選び、[決定] を押す**

⑤「すぐに」開始する場合：

「開始」を選び、[決定] を押す

変換を実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

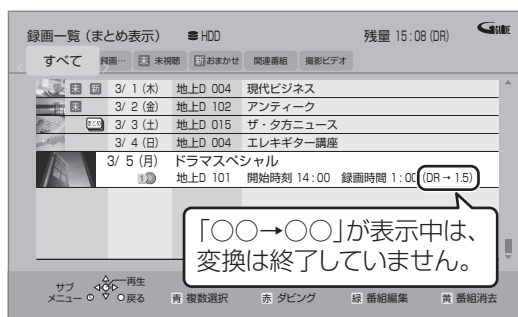
「電源 [切] 後」開始する場合：

[決定] を押す

変換の設定内容を変更・取り消しするには

① **71 ページ**手順 **3** で「録画モード変換」を選ぶ

②「設定変更」または「設定取消」を選び、**[決定]** を押す

変換が終了しているか確認するには

お知らせ

- 15 倍録モードの番組は変換できません。
- 残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- XP、SP、LP、EP、FR モードの二重音声の番組を変換する場合、変換を開始する前に「二重音声記録時の音声選択」(➔152)で記録したい音声を選んでください。

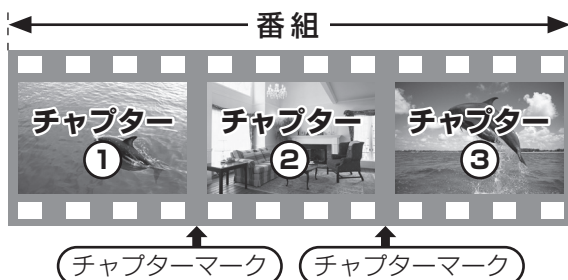
チャプターの作成・再生・編集

HDD **USB-HDD**

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

（ファイナライズしたディスクでは再生のみできます）

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。
スキップ（➜60）すると、チャプターマークを作成した場面に飛ぶことができます。

チャプターの自動作成について

- 「自動チャプター」（➜152）を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。複数の番組を録画中でも作成します。
  ただし、CATV デジタル放送の録画では、番組によっては作成されない場合があります。
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

お知らせ

- **HDD** **USB-HDD** チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能（➜60）や「サムネイル変更」（➜72）ができなくなります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

[チャプターマーク]（リモコンのふた内部）**を押す**

削除

一時停止中に

❶ [スキップ ⏮] または [スキップ ⏭] **を押して、削除したい場面に飛ぶ**

❷ [チャプターマーク]（リモコンのふた内部）**を押す**

❸ **「はい」を選び、**[決定] **を押す**

前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うこともできます。

① **[録画一覧] を押す**
② **番組を選び、[サブ メニュー] を押す**
③ **「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す**
④ **[緑] を押す**

⑤ **上記「作成」「削除」の手順を行う**

チャプターを再生・編集する

1 [録画一覧] **を押す**

2 **番組を選び、**[サブメニュー] **を押す**

☞ 番組を検索するには（➜69）

3 **「チャプター一覧へ」を選び、**[決定] **を押す**

4 編集する：

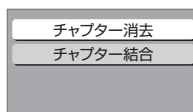
チャプターを選び、[サブメニュー] **を押す**

（➜ 手順５へ）

再生する：

チャプターを選び、[決定] **を押す**

5 **編集する項目を選び、**[決定] **を押す**

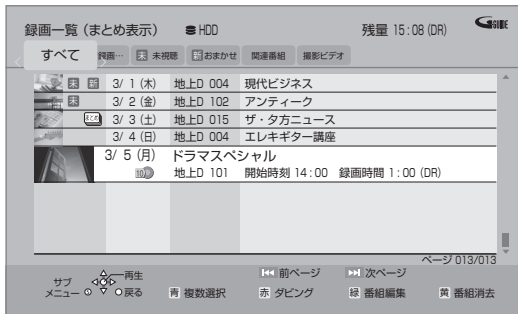
（➜ 右記へ）

チャプター消去	指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。（元に戻すことはできません） 番組が部分消去されます。 **「消去」を選び、[決定] を押す** ●チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。 ●持ち出し番組も消去されます。 ●チャプター消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。
チャプター結合	選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、１つにつなぎます。 前後のチャプターが結合されます。 **「結合」を選び、[決定] を押す**

再生／編集

番組を消去する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

1 **を押す**

2 番組を選び、[黄]を押す

- まとめ 番組内の番組を消去する場合、[黄] を押す前に、[決定] を押して、まとめ 番組内の番組を表示してください。

番組を検索するには（➜69）

3 「消去」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- まとめ 番組内の番組を消去して、残り 1 番組になった場合、まとめ 番組は解除されます。（残った番組は録画した日付で表示されるようになります）
- **HDD の番組消去について**
  - ·消去すると、持ち出し番組も消去されます。
  - ·消去中に他の操作をしたり、番組分割した番組を消去する場合は、消去に時間がかかることがあります。
  - ·消去が完了しても、HDD の残量表示に反映されるまで時間がかかる場合があります。
- **消去後のディスク残量について**
  - · HDD BD-RE RAM -RW(VR) USB-HDD
    消去すると、消去した分、残量が増えます。
  - · -RW(V)
    最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。

消去しても残量は増えません			消去すると残量が増えます	
番組 1	番組 2	···	最後に記録した番組	残量

  - · BD-R -R 消去しても残量は増えません。

番組のダビングについて

本機では、HDD、USB-HDD、ディスクの間でダビングを行うことができます。

ダビング方向と方法	ダビング速度	お知らせ
HDD → ディスク ●かんたんダビング ●詳細ダビング ●再生中番組の保存 USB-HDD → ディスク ●詳細ダビング	DRモードの番組 LAN経由で録画した番組 高速 → BD 画質変更 → DVD※ 1.5～15倍録モードの番組 高速 → BD DVD (AVCREC方式) 画質変更 → DVD※ (VR方式·ビデオ方式) ※ USB-HDDからDVD(VR方式·ビデオ方式)にはダビングできません。	DVDにデジタル放送をダビングする場合 **CPRM対応** のディスクをお使いください。 CPRM対応 DVD RAM くり返し ビデオ録画用
HDD → USB-HDD USB-HDD → HDD ●詳細ダビング	高速	HDD ⇔ 移動のみ可能 ⇔ USB-HDD ●ダビング元の番組は消去されます。 ●HDD の持ち出し番組は消去されます。 ●ダビングの残り回数は減りません。 ●以下の番組はダビングできません。 ·撮影ビデオ（AVCHD、MP4） ·MPEG2 動画 ·XP、SP、LP、EP、FR モードの番組
ディスク → HDD ●詳細ダビング	BD DRモードの番組 1.5～15倍録 モードの番組 高速 → HDD BD XP、SP、LP、EP、FR モードの番組 画質変更 → HDD DVD 1.5～15倍録 モードの番組 XP、SP、LP、EP、FR モードの番組 高速 → HDD DVDビデオ (ファイナライズ後のディスク) 画質変更 → HDD	**デジタル放送のダビングについて（ムーブバック）** ●DVD からはダビングできません。 ●BD からは移動になります。 （ディスクの番組は消去されます。ただし BD-R はディスク残量は増えません） BD → 移動のみ可能 → HDD ●BD-RE BD-R 以下の番組は移動できません。 ·ディスク内で番組分割した番組 ·当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集をした番組 · BD-R ファイナライズしたディスク ·録画時間が 8 時間を超える番組
HDD → HDD USB-HDD → USB-HDD ●詳細ダビング	高速	番組を複製して同じ番組を2つにします。

お知らせ

- **●画質変更ダビングは、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。**
- ●ダビングする番組によっては、ダビング速度が遅くなることがあります。また、画質変更ダビングでは、ダビング速度が遅くなります。
- ●DR、1.5 ～ 15 倍録モードの番組を DVD 画質でダビングする場合は 1 倍速になります。
- ●ディスク容量を超えてダビングしたり、他機器で作成したディスクをダビングするときは、画質変更ダビングになる場合があります。
- ●HDD にダビングした XP、SP、LP、EP、FR モードの番組をディスクにダビングする場合、VR 方式の DVD には高速でダビングします。それ以外のディスクには高速でダビングできません。
- **●ダビング中の番組の視聴について**
  ファイナライズを行うダビング中は、番組の視聴はできません。ダビング中に視聴したい場合は、ファイナライズしないでください。

番組をダビングする

かんたんダビング

ダビング方向：

HDD ➡ BD-RE BD-R RAM -R -RW

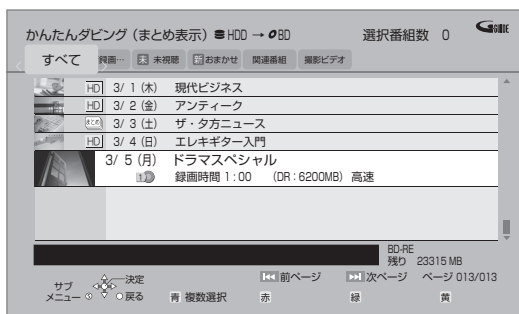
HDD にある番組をディスクにダビングします。

1 ディスクを入れる

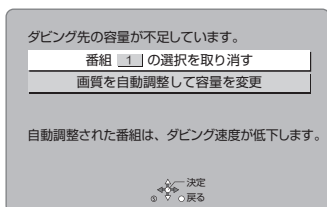
2 「かんたんダビング」を選び、決定 を押す

●RAM -R 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。
画質を選び、［決定］を押してください。

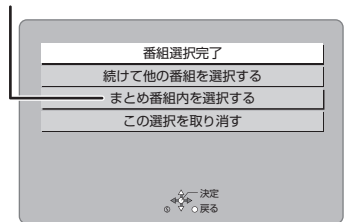
3 番組を選び、決定 を押す

●複数の番組をダビングする場合、番組を選んで［青］を押す操作を繰り返してください。
（選んだ番組には ☑ が表示されます。
もう一度［青］を押すと選択を取り消します。）

選んだ番組がディスク残量を超える場合

確認画面が表示されます。

例）

「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

4 「番組選択完了」を選び、決定 を押す

手順3でまとめ番組を選んだときのみ表示

他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。（➜ 手順 3 へ）

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

●オプション設定について（➜79）

6 「はい」を選び、決定 を押す

ダビングが終わると消灯 — DUB 点灯 — 本体表示窓

新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットした後、ダビングを始めます。

ダビングを実行中に中止するには

［戻る］を 3 秒以上押す

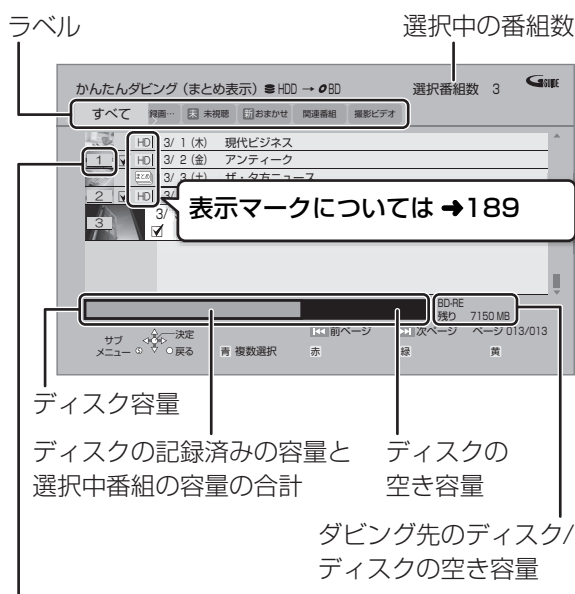
●ファイナライズ中は中止できません。
●中止時の動作（➜85）

ダビングの進行状況を表示するには

［画面表示］を押す
操作一覧画面の「ダビングする」を選んでも進行状況を確認できます。

お知らせ

●「DVD 画質」で未フォーマットの -R -RW にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
・10 〜 1 の番組が含まれている場合　：VR 方式
・10 〜 1 の番組が含まれていない場合　：ビデオ方式
●1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。（まとめ番組をダビングする場合、まとめ番組内の番組数が 99 番組を超えると、ダビングできません）
●プロテクト設定（➜71）されている 1 の番組はダビングできません。
● まとめ 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、［サブ メニュー］を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。
●視聴制限のある番組は表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」（➜79）を行うと、表示されるようになります。

かんたんダビングの画面の見方

●異なるラベルの番組を複数選んでダビングすることはできません。

ダビングする画質について

HD 表示のある番組：

●以下のディスクにハイビジョン画質でダビングできます。

BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**

●以下のディスクはDVD画質でのダビングになります。

RAM(VR) **-R(VR)** **-R(V)** **-RW**

HD 表示のない番組：

● **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** にはハイビジョン画質でダビングします。（ただし画質は向上しません）

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面（➜78 手順 3）で

❶ **番組を選び、サブメニュー** **を押す**

❷ **項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）**

内容確認	番組の内容が確認できます。
画質変更	☑ が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ●選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	以下の設定ができます。 ●ダビング終了後自動電源［切］ ●ダビング終了後自動ファイナライズ（**-R** **-RW** のみ）
視聴制限一時解除※	「制限項目設定」（➜148）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。表示されていない視聴制限のある番組を表示します。
並び替え※	表示順を変更します。 （全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ **全番組表示へ**※	表示を切り換えます。

※　番組に ☑ が付いているときはできません。

番組をダビングする (続き)

詳細ダビング

ダビング方向：

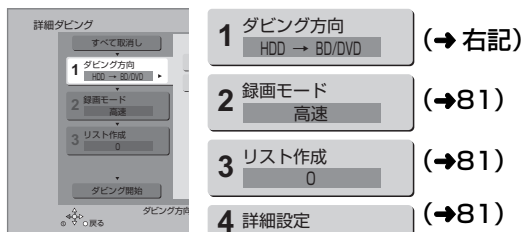
- HDD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD
- BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) ➡ HDD
- USB-HDD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) USB-HDD

- 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜118)

1 [操作一覧] を押す

2 「ダビングする」を選び、[決定] を押す
- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「詳細ダビング」 を選び、[決定] を押す

4 項目を選び、[▶] を押す
- 「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。

(➜ 右記)
(➜81)
(➜81)
(➜81)

5 「ダビング開始」を選び、[決定] を押す

6 「ダビングする」 または「ダビング後に電源 [切]」を選び、[決定] を押す

ダビングが終わると消灯 — DUB 点灯 本体表示窓

☞ ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

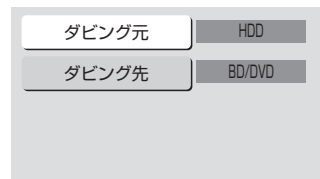
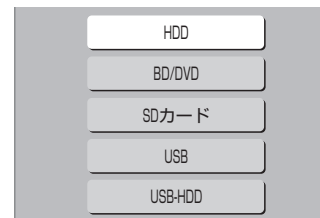
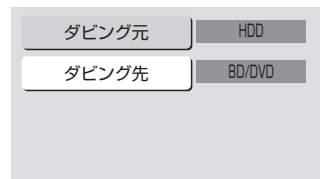
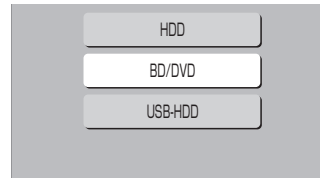
- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作 (➜85)

ダビング方向

❶ 「ダビング元」を選び、[決定] を押す

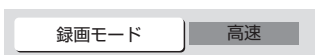
❷ ダビング元を選び、[決定] を押す

❸ 「ダビング先」を選び、[決定] を押す

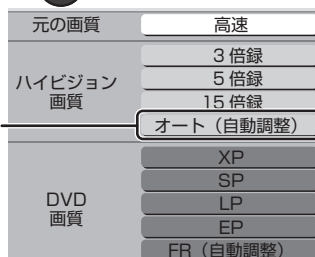
❹ ダビング先を選び、[決定] を押す

❺ [◀] を押す (➜ 左記手順 4 へ)

お知らせ

- HDD USB-HDD ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。(複製後は [まとめ] 番組になります)
  - コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は 1 回減ります。(複製された番組のダビング残り可能回数は 1 回になります)
  - [1] 表示のある番組の複製はできません。
- ディスクから HDD へのダビング開始時のコピー禁止信号を確認中は、予約録画は実行できません。

録画モード

❶「録画モード」を選び、決定 を押す

❷ 録画するモードを選び、決定 を押す

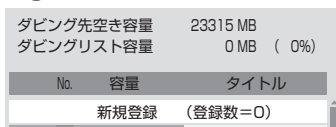
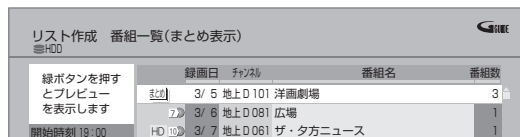
記録先の空き容量に合わせて、1.5〜15倍録モードの中から自動で選択してダビングします。

- ハイビジョン画質を選択時に [サブ メニュー] を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。(➜ 51)

❸ [◀] を押す（➜80 手順4へ）

お知らせ

- **録画モードと記録時間の目安（➜196）**
- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- ダビング元より高画質な録画モードでダビングしても、画質は向上しません。

リスト作成（番組を選択する）

❶「新規登録」を選び、決定 を押す

❷ 番組を選び、青 を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
- ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示します。

選択を取り消すには

番組を選び、[青] を押す

❸ 選び終わったあと、決定 を押す

❹ [◀] を押す（➜80 手順4へ）

お知らせ

- USB-HDD にダビングする場合や高速モードで BD-RE BD-R にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。(USB-HDD には「AVCHD」や「AVC VIDEO」の表示がある番組はダビングできません)
- ダビングリスト容量について（ダビング先に記録される容量）
  - ・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。
- 視聴制限のある番組は表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」(➜82) を行うと、表示されるようになります。

詳細設定

(-R -RW へダビングするときのみ)

❶「ファイナライズ」を選び、決定 を押す

❷「入」または「切」を選び、決定 を押す

❸ [◀] を押す（➜80 手順4へ）

(BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) へ 1.5 〜 15 倍録 モードを選んでダビングするときのみ)
複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

❶「音声・字幕の記録」を選び、決定 を押す

❷「モード 1」または「モード 2」を選び、決定 を押す

- モード 1 ：再生時に音声や字幕の切り換えができます。
- モード 2 ：再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」(➜65) で記録する内容を設定してください。

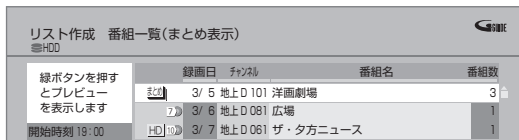
❸ [◀] を押す（➜80 手順4へ）

お知らせ

- 「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ (➜121) を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。

詳細ダビング（続き）

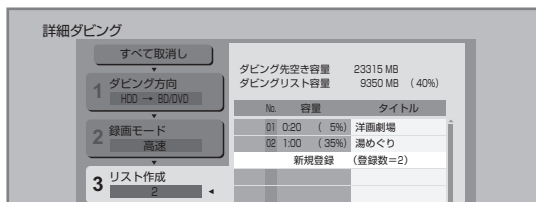
ダビングの便利な機能

リスト作成画面（➜81「リスト作成」手順❷）で

❶ 番組を選び、サブメニュー[S] を押す

❷ 項目を選び、[決定] を押す（➜ 下記へ）

内容確認※	番組の内容が確認できます。
視聴制限一時解除※ HDD USB-HDD	「制限項目設定」（➜148）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。表示されていない視聴制限のある番組を表示します。
並び替え※ HDD USB-HDD	表示順を変更します。（全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ 全番組表示へ※ HDD USB-HDD	表示を切り換えます。

※　番組に☑ が付いているときはできません。

リスト作成画面（➜81「リスト作成」手順❶）で

- 登録されたリストや設定を取り消す：
  「すべて取消し」を選び、[決定] を押す
- リスト項目を入れ替える：
  番組を選び、[決定] を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ
- リストの追加や消去、移動などの編集をする：
  [サブ メニュー] を押したあと、項目を選ぶ
  - ・リスト全消去
  - ・追加
  - ・消去
  - ・移動

ファイナライズ後のディスク（DVD ビデオ）をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

ダビング方向：

DVD-V（ファイナライズ後の **-R(V)** **-RW(V)**、+R、+R DL、+RW）➡ **HDD**

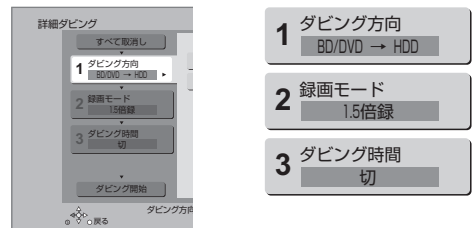
1 [操作一覧] を押す

2 「ダビングする」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は [⏮] [⏭] でページを切り換えてください。

3 「詳細ダビング」を選び、[決定] を押す

4 項目を選び、[▶] を押す

- 操作方法は「詳細ダビング」（➜80）をご覧ください。

以下のように設定してください。

・**「ダビング方向」**：「ダビング元」➜「BD/DVD」
・**「録画モード」**：「録画モード」を選ぶ（1.5 ～ 15 倍録のみ選べます）
・**「ダビング時間」**：ダビング時間を設定する（➜83）

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、決定 を押す

●最初に右記の画面がダビングされます。

●番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。

7 ダビングしたい番組の再生を始める

☞ **トップメニューが表示された場合は**

番組を選び、[決定] を押す

☞ **好みの番組を再生するには**

① [録画一覧] を押す
② 番組を選び、[決定] を押す

☞ **ディスクの再生が始まらない場合は**

① [再生 ▶] を押す
②（トップメニューが表示されたら）
番組を選び、[決定] を押す

☞ **ダビングを実行中に中止 / 終了するには**

[戻る] を 3 秒以上押す

ダビング時間

❶「時間設定」を選び、 を押す

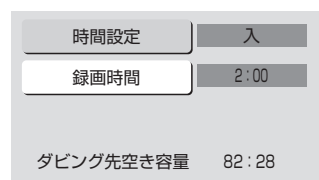
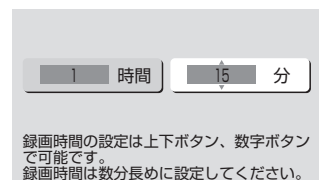
❷「入」または「切」を選び、決定 を押す

●「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

❸「録画時間」を選び、決定 を押す

❹ “時間” または “分” を選び [▲][▼] で設定し、 を押す

お知らせ

- **市販の DVD ビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ（➔60）で飛び越すことができます。
- 記録した映像が横長になっているなどアスペクトが正しくない場合、「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」（➔152）の「記録アスペクト設定」を変更して再度取り込んでください。

番組をダビングする（続き）

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中にダビングすることができます。（1 番組のみダビング）
記録する音声や字幕情報を設定できるので、複数の音声や字幕情報を含んだ番組を DVD 画質で DVD にダビングするときに便利です。
●再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向：HDD ➡ BD-RE BD-R RAM -R -RW
●新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。（➜118）

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の音声や字幕情報を含んでいる番組の場合：
● RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) **[音声切換]（リモコンのふた内部）**を押して記録したい音声を選び、「信号切換」（➜65）で字幕情報の設定をする

2 サブメニュー S を押す

●表示されない場合、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

3 「再生中番組の保存」を選び、決定 を押す

4 「保存開始」を選び、決定 を押す

●ダビング終了後、約５分以上本機の操作を何も行わなかったときは、本機の電源が切れます。

ダビングが終わると消灯 — DUB 点灯 本体表示窓

ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

●中止時の動作（➜85）

お知らせ

● RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) 複数の音声を含んだ番組を 2 番組以上同時にダビングしたい場合、ダビング前に記録したい音声や字幕の設定を行ってください。
①ダビングしたい番組を再生し、以下の設定をする
・**[音声切換]（リモコンのふた内部）**を押して記録したい音声を選ぶ
・「信号切換」（➜65）で字幕設定をする
②かんたんダビング（➜78）、詳細ダビング（➜80）
字幕設定を番組ごとに変更してダビングすることはできません。1 番組ずつダビングしてください。

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例）デジタル放送の番組 A・B・C の順にダビングして番組 C の途中で中止した場合

番組 A	番組 B	番組 C
ダビング完了	ダビング完了	中止

番組 A・B のみダビングされます。
番組 C はダビングされず、ダビング元に残ります。
ただし、コピー制限のない番組を画質変更ダビング中に中止した場合、途中までがダビングされます。

BD-R -R 番組 C の中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

-R(V) -RW(V) に画質変更ダビングするときの動作

番組を HDD に一時的に複製したあと、ディスクにダビングします。ダビング後、一時的に複製した HDD の番組は消去されます。
HDD の残量が少ないときは、ダビングできません。
HDD の不要な番組を消去 (➜76) してからダビングしてください。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数 (➜198) を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

以下の場合、画質変更ダビングになり、プログレッシブでは記録できません。
- ダビング先の BD-RE BD-R の残量が少ない
- BD-RE BD-R 以外のディスクへのダビング

部分消去やチャプター消去した番組の画質変更ダビングについて

部分消去やチャプター消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。

3D 対応の番組のダビングについて

- 3D 表示のある番組を RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) に XP、SP、LP、EP、FR モードでダビングすると、番組から 3D 情報がなくなります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、以下の場合、画質変更ダビングになり、2D 映像として記録されます。
  ・ダビング先の BD-RE BD-R の残量が少ない
  ・BD-RE BD-R 以外のディスクへのダビング

複数の音声（マルチ音声）や字幕情報を含んだ番組のダビングについて

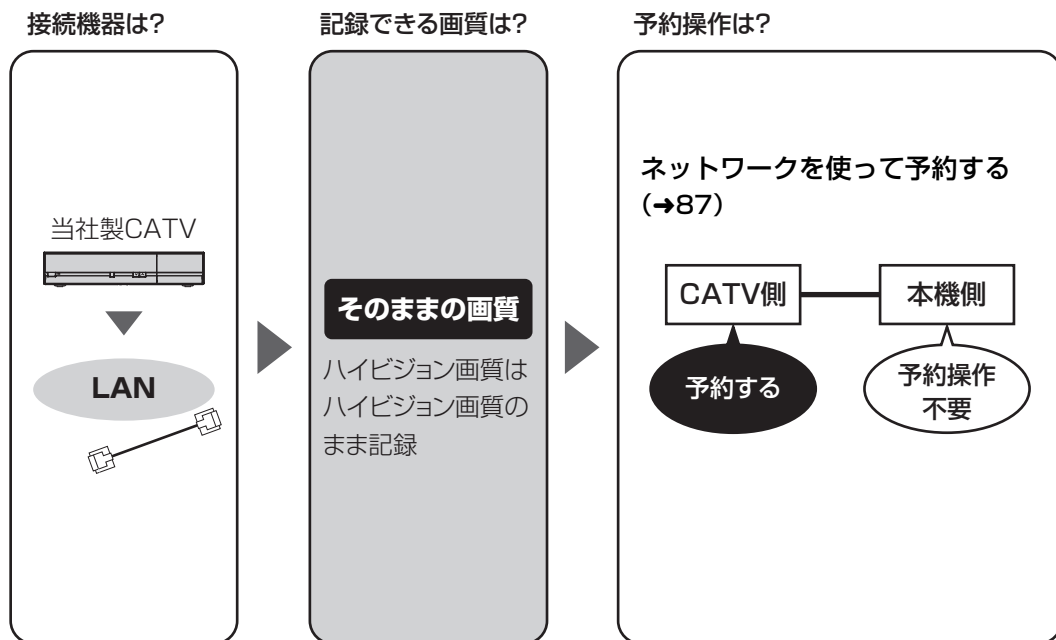
録画した番組をディスクにダビングする場合、音声や字幕情報は以下のようになります。
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
  （高速、1.5 ～ 15 倍録 モードでダビング時）
  複数の音声や字幕情報を記録できます。（再生時に切り換え可能）
- RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) （HDD からダビング時）
  複数の音声や字幕情報の記録はできません。（再生時に切り換え不可）
  再生中番組の保存 (➜84) でダビングしてください。

お知らせ
- 他の機器でディスクを再生すると音声や字幕を切り換えられないことがあります。
  BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 詳細ダビングの詳細設定 (➜81) で、「音声・字幕の記録」を「モード 2」にしてディスクに画質変更ダビングすると、「信号切換」(➜65) で設定した内容で記録することができます。（ただし、音声の切り換えや字幕表示の入 / 切はできなくなります）

二重音声の番組のダビングについて

録画した番組をダビングする場合、音声は以下のようになります。
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) USB-HDD RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
  両方の音声を記録
- -R(V) -RW(V) 以下の設定に従って記録：
  「DVD-Video 記録の設定」(➜152) の「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする

ダビング

他の CATV セットトップボックスから本機に録画する

お知らせ

- CATVからコピー制限のある番組を録画する場合、「ダビング 10」の番組でも「1 回だけ録画可能」な番組として録画されます。

ネットワークを使って予約する

ネットワークで接続すると、CATV セットトップボックスからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。
詳しくは、ご使用の CATV セットトップボックスの説明書をご覧ください。
（機器によっては録画できないものもあります）

●ネットワーク接続と設定をする
（➜128、140）
お部屋ジャンプリンク（DLNA）設定 **（➜142）**

HDD

本機に接続したCATV側でネットワーク設定と予約の設定をする

●本機が録画先になるように設定してください。詳しくは CATV セットトップボックスの説明書をご覧ください。
●本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。**（➜45）**
 ·「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。
 ·接続している CATV セットトップボックスによって、または視聴制限のある番組の場合は、番組名が表示されないことがあります。

録画中は、本体前面の“LAN 録画”ランプが点灯します。

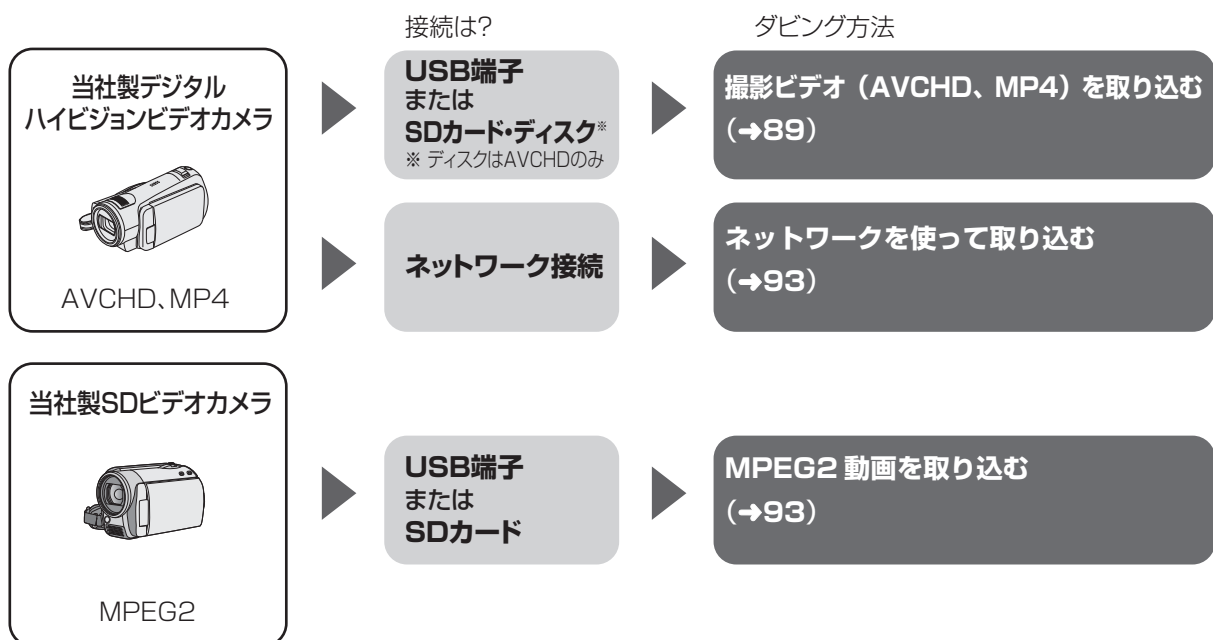
本体前面

録画を止めるには
[停止 ■] を押す

●ネットワーク経由以外の番組も録画中のときは、“LAN”の表示のあるチャンネルを選んでください。

お知らせ

●本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。
●CATVの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。
 · 予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。
●CATVの番組を録画中は、市販の BD ビデオや AVCHD のディスクを再生することはできません。
●予約登録後、本機側で「持ち出し番組の設定」**（➜43）**、「番組名入力」**（➜44）**、「マイラベル設定」**（➜43）** の設定ができます。ただし、CATV 側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録するため、本機側で設定した内容は無効になります。
●録画中の CATVの番組を、本機で「予約実行切」にすると、再び「予約実行入」にすることはできません。
●予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。
●CATV の番組は、録画モードが表示されません。
●視聴制限のある番組は、録画一覧画面 **（➜56）** やダビング画面 **（➜78、81）** などで表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。

ビデオカメラからダビングする

接続と設定

USB 端子

●接続する（➔163）

SD カード・ディスク

●挿入する（➔15）

ネットワーク接続

●ネットワーク接続と設定をする（➔128、140）
お部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定をする（➔142）

撮影ビデオ（AVCHD、MP4）を取り込む

USB　SDカード　ディスク

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を取り込むことができます。

- 「1080/60p」※や「AVCHD 3D」の表示がある番組は HDD BD-RE BD-R にのみ取り込むことができます。

※ 1080/60p（1920×1080/60プログレッシブ）記録の番組

- MP4の番組は HDD にのみ取り込むことができます。（高速で取り込みはできません）
- MP4 取り込み時の画質は、「MP4 取り込み画質」（➔152）で選ぶことができます。
「高画質モード」は 2 倍録相当、「標準モード」は 5 倍録相当の画質になります。

取り込んだ動画の録画一覧での表示

HDD の録画一覧のチャンネル欄では以下のように表示されます。

- AVCHD※ ：「AVCHD」

※サイドバイサイド方式で記録した 3D 映像も含む。

- AVCHD 3D ：「AVCHD 3D」
- 1080/60p の番組 ：「AVCHD PRO」
- MP4 ：「AVC VIDEO」

ビデオカメラからダビングする (続き)

かんたん差分取り込み

USB　SDカード

取り込んだ撮影ビデオの履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された撮影ビデオのみを取り込みます。

取り込み方向：

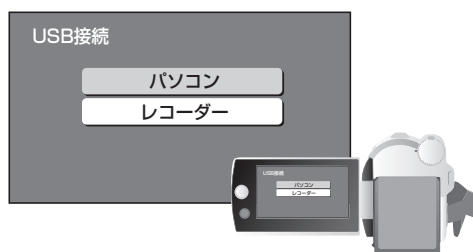
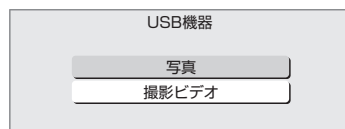
USB **SD** ➜ **HDD**

■USB 機器から取り込む場合

1 USB 機器を接続する（➜163）

2 USB 機器側で、本機と USB 接続するための設定をする

●USB 機器の設定は、USB 機器の説明書に従って行ってください。

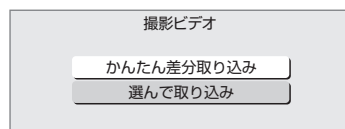
例）

●USB 機器側の設定をすると､以下の画面が表示されます。

下記操作で表示することもできます。

① ［ **操作一覧** ］を押す

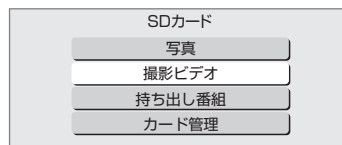
②「メディアを使う」を選び、［ **決定** ］を押す

③「USB 機器」を選び、［ **決定** ］を押す

3 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

4 「かんたん差分取り込み」を選び、決定 を押す

5 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

■SD カードから取り込む場合

1 SD カードを入れる

●以下の画面が表示されます。

下記操作で表示することもできます。

① ［ **操作一覧** ］を押す

②「メディアを使う」を選び、［ **決定** ］を押す

③「SD カード」を選び、［ **決定** ］を押す

2 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

3 「撮影ビデオを取り込む」を選び、決定 を押す

4 「かんたん差分取り込み」を選び、決定 を押す

5 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 取り込んだ撮影ビデオの履歴は､SD カードは 5 枚､USB 機器は 1 台のみ保持し､それ以上になると､古い情報から削除されます。
- 取り込んだ撮影ビデオの履歴保持は、「HDDのフォーマット」（➜153）や「全番組消去」（➜153）を行うと、削除されます。
- 同じ撮影ビデオを取り込みたい場合や撮影ビデオ単位で取り込みたい場合は、「選んで取り込み」（➜91）を行ってください。
- **MP4** 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 以下の操作を行った場合、取り込み済みの動画を再度取り込んでしまうことがあります。
  - ・ビデオカメラなどで編集
  - ・取り込みを中断

選んで取り込み

USB　SDカード　ディスク

取り込み方向：

●USB SD ➡

HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)

●AVCHD を記録したディスク ➡ HDD

■USB 機器から取り込む場合

1 USB 機器を接続する（➜163）

2 USB 機器側で、本機と USB 接続するための設定をする

●USB 機器の設定は、USB 機器の説明書に従って行ってください。

例）

●USB 機器側の設定をすると、以下の画面が表示されます。

下記操作で表示することもできます。

① [操作一覧] を押す

②「メディアを使う」を選び、[決定] を押す

③「USB 機器」を選び、[決定] を押す

3 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

4 「選んで取り込み」を選び、決定 を押す

●複数種類の撮影ビデオが USB 機器に存在している場合、メッセージが表示されます。
取り込みたい撮影ビデオを選び、[決定] を押してください。

●「AVCHD」を取り込む場合、取り込み先を選び、[決定] を押してください。

5 タイトルを選び、青 を押す

●☑ が表示されます。操作を繰り返します。

例）

選択を取り消すには

タイトルを選び、[青] を押す

6 選び終わったあと、決定 を押す

7 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

例）

●新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

他の機器と

ビデオカメラからダビングする（続き）

■SD カードから取り込む場合

1 SD カードを入れる

●以下の画面が表示されます。

下記操作で表示することもできます。

① **[操作一覧]** を押す

②「メディアを使う」を選び、**[決定]** を押す

③「SD カード」を選び、**[決定]** を押す

2 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

3 「撮影ビデオを取り込む」を選び、決定 を押す

4 「選んで取り込み」を選び、決定 を押す

●複数種類の撮影ビデオが SD カードに存在している場合、メッセージが表示されます。
取り込みたい撮影ビデオを選び、**[決定]** を押してください。

●「AVCHD」を取り込む場合、取り込み先を選び、**[決定]** を押してください。

5 タイトルを選び、青 を押す

●☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには

タイトルを選び、**[青]** を押す

6 選び終わったあと、決定 を押す

7 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

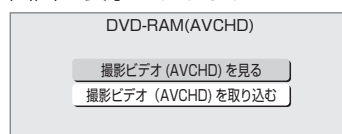
●新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

■ディスクから取り込む場合

1 ディスクを入れる

●以下の画面が表示されます。

DVD-RAM(AVCHD)

撮影ビデオ (AVCHD) を見る

撮影ビデオ (AVCHD) を取り込む

下記操作で表示することもできます。

① **[操作一覧]** を押す

②「メディアを使う」を選び、**[決定]** を押す

③「ブルーレイ (BD)/DVD」を選び、**[決定]** を押す

2 「撮影ビデオ (AVCHD) を取り込む」を選び、決定 を押す

3 タイトルを選び、青 を押す

●☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには

タイトルを選び、**[青]** を押す

4 選び終わったあと、決定 を押す

5 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 1 つのタイトルに 99 シーンを超えて記録されている場合、99 シーンごとに分けて取り込みます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位でタイトルとして表示されます。同じ日に撮影されたシーンが複数ある場合、まとめ番組となります。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。

MPEG2 動画を取り込む（ダビング）

USB　SDカード

当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画をダビングします。

●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜118)

ダビング方向：

USB **SD** ➡ **HDD** **RAM(VR)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

1 USB機器を接続するまたはSDカードを入れる

USB 機器を接続するには（➜163）

2 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

USB 手順４へ

3 「撮影ビデオを取り込む」を選び、決定 を押す

4 「選んで取り込み」を選び、決定 を押す

●複数種類の撮影ビデオがSDカードやUSB機器に存在している場合、メッセージが表示されます。「MPEG2」を選び、**[決定]** を押してください。

5 項目を選び、[▶] を押す

●操作方法は「詳細ダビング」(➜80)をご覧ください。
以下のように設定されているかご確認ください。
・「ダビング方向」:「ダビング元」➜「USB」
または「SD カード」

6 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

7 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、決定 を押す

お知らせ

- ダビングすると、撮影した日付単位で 1 番組になります。
- USB 機器や SD カードにある MPEG2 動画をそのまま本機で再生することはできません。
- ダビング中は、録画や再生はできません。
- BD-RE、BD-R には直接ダビングできません。いったん HDD にダビングしてから、ディスクにダビングしてください。

ネットワークを使って取り込む(ダビング)

ネットワーク接続

HDD

本機では、DIGA コピーに対応した当社製デジタルビデオカメラとネットワーク接続すると、撮影ビデオ（AVCHD）と写真を本機の HDD にダビングすることができます。

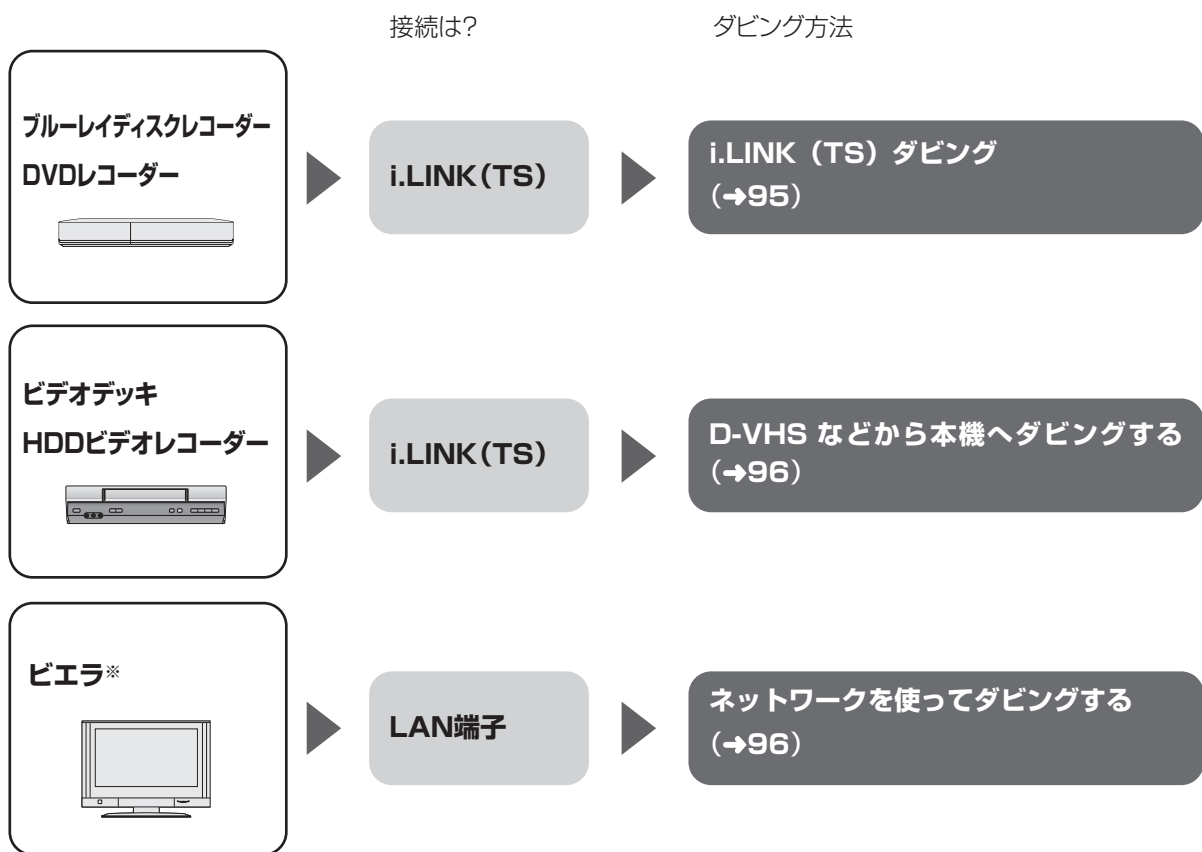
●ネットワーク接続と設定をする
(➜128、140)
お部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定をする
(➜142)

お知らせ

- 本機が以下の場合はダビングできません。
  - ・複数の番組を録画中
  - ・LAN 経由の番組を録画中
  - ・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
  - ・ダビング中
  - ・お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能など、ネットワークを利用する機能を使用中　など

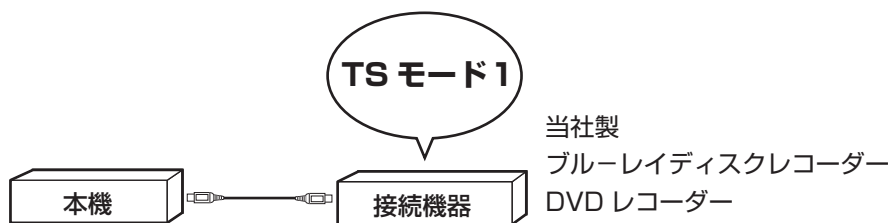
他の機器と

レコーダー・ビデオデッキ・ビエラからダビングする

	接続は?	ダビング方法
ブルーレイディスクレコーダー **DVDレコーダー**	**i.LINK（TS）**	**i.LINK（TS）ダビング** **（➜95）**
ビデオデッキ **HDDビデオレコーダー**	**i.LINK（TS）**	**D-VHS などから本機へダビングする** **（➜96）**
ビエラ※	**LAN端子**	**ネットワークを使ってダビングする** **（➜96）**

※ USB-HDD 録画対応ビエラや HDD 内蔵ビエラからダビングできます。

接続と設定

i.LINK（TS）

- i.LINK ケーブルで接続する（➜127）
- 接続機器側の i.LINK（TS）の設定をする
  - ・当社製ブルーレイディスクレコーダーや DVD レコーダーと接続する場合、接続機器側の設定を「TS モード 1」にしてください。

・HDD ビデオレコーダーには、DISC モードと D-VHS モードの切り換え機能がある場合があります。本機で操作する場合は D-VHS モードにしてください。詳しくは、HDD ビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

LAN 端子

- ネットワーク接続と設定をする（➜128、140）
  お部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定をする（➜142）

i.LINK（TS）を使ってダビングする

HDD に DR モードで録画した番組を、ハイビジョン画質のままダビングすることや、接続した機器から HDD へダビングすることができます。

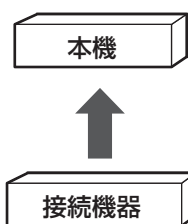
- 本機は、i.LINK（TS）に対応した当社製のブルーレイディスクレコーダー、DVD レコーダー、D-VHS ビデオカセットレコーダー、HDD ビデオレコーダー、HDD 内蔵ビエラとの動作のみ保証しています。（2013 年 12 月現在）

お知らせ

- S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。
- 本機から i.LINK 対応機器の再生などの操作はできません。
- i.LINK（TS）経由で本機に接続できる i.LINK（TS）機器は、1 台のみです。

レコーダーなどから本機へダビングする

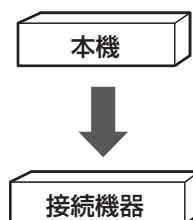
ダビングできる当社製機器：
ブルーレイディスクレコーダー
DVD レコーダー など

接続機器

ダビング方法など、詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

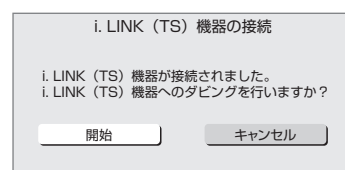
- 接続した機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- DR モードでダビングします。
- 本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画 (➜52) できない場合は、ダビングは中止されます。

本機からレコーダーなどへダビングする

i.LINK（TS）ダビング

- HDD の DR モードの番組のみダビングできます。

1 **接続した i.LINK（TS）機器の電源を入れる**

2 **「開始」を選び、決定 を押す**

- ダビング元になる側で操作します。

下記操作で開始することもできます。
① **[操作一覧]** を押す
② 「全機能から選ぶ」を選び、**[決定]** を押す
③ 「残す」を選び、**[決定]** を押す
④ 「i.LINK（TS）ダビング」を選び、**[決定]** を押す

3 **番組を選び、青 を押す**

- ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、**[青]** を押す

4 **選び終わったあと、決定 を押す**

5 **「ダビング開始」を選び、決定 を押す**

- 高速でダビングできません。

お知らせ

- 1 の表示がある番組は以下のようになります。
  - ・ダビングすると、HDD から消去されます。
  - ・ダビングを中止すると、中止した位置までの内容は HDD から消去されます。
- 10 ～ 2 の表示がある番組は以下のようになります。
  - ・ダビング先では「1 回だけ録画可能」の番組になります。
  - ・ダビングを中止してもダビングできる残り回数は減ります。
- 接続した機器が、録画や再生中や確認画面が表示されているときはダビングできない場合があります。

レコーダー・ビデオデッキ・ビエラからダビングする（続き）

D-VHS などから本機へダビングする

● HDD にダビングできます。

ダビングできる機器：

D-VHS ビデオ
HDD ビデオレコーダーなど

本機

接続機器

1 入力切換 **（リモコンのふた内部）を押して、「i.LINK（TS）」を選ぶ**

2 **接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、** 録画 **（リモコンのふた内部）を押す**

3 **録画の終了方法を選び、** 決定 **を押す**

ダビングを実行中に中止するには

[停止 ■] を押す

●接続した機器の再生も停止してください。

ネットワークを使ってダビングする

HDD

本機では他の機器とネットワーク接続すると、接続した機器側のHDDに録画した番組を本機のHDDにダビングすることができます。

本機

接続機器

以下の機器とネットワーク接続してダビングすることができます。

ダビングできる機器：

・USB-HDD 録画対応ビエラ
・HDD 内蔵ビエラ
・当社製 CATV デジタルセットトップボックス

本体前面

"LAN 録画" が点灯 —LAN 録画

●ネットワーク接続と設定をする
（➜128、140）
お部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定をする
（➜142）

ダビングの操作方法は接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

● コピー制限のある番組はダビングできません。
● 本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画（➜52）できない場合は、ダビングは中止されます。

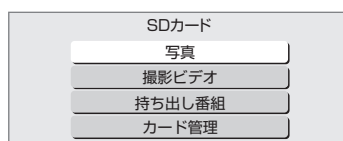
写真を再生する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **SD** **USB**
+R、+R DL、+RW

- **CD** **USB** 写真を記録したCD-R、CD-RWや当社製デジタルカメラなどのUSB機器が再生できます。
- 本機では、フルHD対応の3Dテレビと接続している場合、3D 対応のデジタルカメラで撮影した写真（MPO）の3D再生をお楽しみいただけます。

ディスク、SDカードを入れるまたはUSB機器を接続（➔163）すると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）**SD**

SDカード
写真
撮影ビデオ
持ち出し番組
カード管理

下記の手順4に進みます。

1 **［操作一覧］を押す**

HDD 手順5へ

2 **「メディアを使う」を選び、［決定］を押す**

- 表示がない場合は［|◀◀］［▶▶|］でページを切り換えてください。

3 ディスク：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、
［決定］を押す

SD：
「SDカード」を選び、［決定］を押す

USB：
「USB機器」を選び、［決定］を押す

4 **「写真」を選び、［決定］を押す**

5 **「写真を見る」を選び、［決定］を押す**

6 **フォルダを選び、［決定］を押す**

例）**HDD**

ラベル

- 3D ラベル：
取り込んだ3D写真（MPO）を3D再生する場合は、このラベルから選んでください。

フォルダ

- HDDに取り込まれた写真（➔100）は、フォルダで管理されます。
- ［サブ メニュー］を押すと、フォルダや写真を整理することができます。（➔99）

7 **写真を選び、［決定］を押す**

再生を止めるには
［停止 ■］を押す

前後の写真を見るには
［◀］［▶］を押す

写真の情報を表示するには
［画面表示］を押す

スライドショーを見るには
［再生 ▶］を押す

お知らせ

- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯（グレー帯）が表示される場合があります。
- ☒ の表示になっている写真は、本機では再生できません。

他の機器と　写真／音楽

写真を再生する（続き）

写真再生のいろいろな機能

写真再生中または写真一覧表示中に操作します。

1 サブメニュー Ⓢ **を押す**

●サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度［サブ メニュー］を押してください。

2 **項目を選び、**決定 **を押す**

写真再生中

スライドショー開始	スライドショーを開始します。
画面モード切換	画面モードを切り換えます。(➜66) ●3D写真再生時は効果がありません。
画面表示	再生中の写真の情報を表示します。
右90゜回転 左90゜回転	写真を回転します。
壁紙登録	再生中の写真を操作一覧画面の壁紙に登録します。
画面表示の飛び出し量	3D写真再生中の画面表示などの飛び出し量を変更することができます。

写真一覧表示中

スライドショー	写真を連続して再生することができます。 **「スライドショー開始」を選び、［決定］を押す** 例） 開始前に、スライドショーの内容を設定できます。(➜ 下記) ☞ **スライドショーを終了するには** ［**戻る**］を押す **表示間隔** 画素数が大きい写真は、設定を変更しても、短くならない場合があります。 **表示効果** 写真の表示方法を設定します。 ●「フェード」「ランダム」「モーション」「ウェーブ」が選べます。 （3D 写真再生時を除く） **リピート再生** 再生を繰り返します。
カレンダー HDD	カレンダー表示に切り換えます。撮影した月からフォルダを探すことができます。

写真を整理する

HDD BD-RE BD-R RAM SD
（ファイナライズしたディスクでは編集できません）

1 [操作一覧] **を押す**

HDD 手順５へ

2 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 ディスク：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、[決定] を押す

SD：
「SD カード」を選び、[決定] を押す

4 「写真」を選び、[決定] を押す

5 「写真を見る」を選び、[決定] を押す

6 フォルダ単位で管理する場合：

フォルダを選び、[サブメニュー S] を押す（➜ 手順８へ）

写真単位で管理する場合：

フォルダを選び、[決定] を押す

●「フォルダをまとめる」ときは、**[青]** を押してフォルダを選択したあと、**[サブ メニュー]** を押してください。

7 写真を選び、[サブメニュー S] を押す

8 項目を選び、[決定] を押す（➜ 右記へ）

例）HDD

スライドショー
カレンダー
写真書き出し
フォルダ名の編集
フォルダをまとめる
フォルダの消去
音楽再生中の表示登録

フォルダ名の編集	フォルダ名を編集します。 ☞ **文字入力については（➜122）**
フォルダをまとめる HDD	選択した２つ以上のフォルダを、１つのフォルダにまとめることができます。 **「はい」を選び、[決定] を押す**
フォルダの消去	フォルダを消去します。 **「はい」を選び、[決定] を押す**
写真の移動 HDD	選択中の写真を新規に作成したフォルダや既存のフォルダへ移動します。 **「新しいフォルダへ移動」または「別のフォルダへ移動」を選び、[決定] を押す** ●「別のフォルダへ移動」する場合は、移動先のフォルダを選んでください。
写真消去	写真を消去します。 **「はい」を選び、[決定] を押す**
プロテクト設定 / 解除 BD-RE BD-R RAM SD	**「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す** ●プロテクトの設定をすると「🔒」が表示されます。
音楽再生中の表示登録 HDD	音楽再生中のスクリーンセーバー（➜102）で表示させる写真を登録します。 **「登録」を選び、[決定] を押す**

お知らせ

●HDD内のすべての写真を一度に消去する場合は、「全写真消去」（➜153）を行ってください。

写真／音楽

写真を取り込む / 書き出す

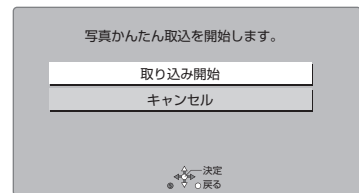
写真を取り込む

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **SD** **USB**
+R、+R DL、+RW ➡ **HDD**

写真かんたん取込

取り込んだ写真の履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された写真のみを取り込みます。

ディスクや SD カードを入れるまたは USB 機器を接続（➜163）すると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録されている内容によって異なります）

例）**SD**

SDカード
写真
撮影ビデオ
持ち出し番組
カード管理

下記の手順 4 に進みます。

1 操作一覧 **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す
SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す
USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

4 「写真」を選び、決定 を押す

5 「写真を取り込む」を選び、決定 を押す

6 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

お知らせ

●写真の履歴保持は、「HDDのフォーマット」（➜153）や「全写真消去」（➜153）を行うと、削除されます。
●同じ写真を取り込みたい場合、消去済み写真をもう一度取り込みたい場合、写真単位で取り込みたい場合は、「写真一覧から取り込む」（➜101）を行ってください。
●取り込んだ写真は、撮影日または写真データの生成日ごとに、フォルダで管理されます。
●フォルダ名は取り込まれません。
●HDD に取り込んだ写真の累計が 20000 枚に達している場合、過去に取り込んだ写真が取り込まれることがあります。

写真一覧から取り込む

1 (操作一覧) **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、(決定) を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 ディスクから取り込む場合：

「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、(決定) を押す

SD から取り込む場合：

「SD カード」を選び、(決定) を押す

USB から取り込む場合：

「USB 機器」を選び、(決定) を押す

4 「写真」を選び、(決定) を押す

5 「写真を見る」を選び、(決定) を押す

6 フォルダまたは写真を選び、(青) を押す

●選んだフォルダ、写真には ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

例）SD

7 選び終わったあと、(赤) を押す

8 「HDD へ取り込む」を選び、(決定) を押す

9 「取り込み開始」を選び、(決定) を押す

お知らせ

●取り込み元と同じ名前のフォルダを新しく作成して取り込みます。

写真を書き出す

HDD ➡ BD-RE BD-R RAM SD

BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW ➡ SD

SD USB ➡ BD-RE BD-R RAM

97 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 フォルダまたは写真を選び、(青) を押す

●選んだフォルダ、写真には ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

例）HDD

7 選び終わったあと、(赤) を押す

8 ディスクに書き出す場合：

「ブルーレイ（BD）/DVD へ書き出す」を選び、(決定) を押す

SD に書き出す場合：

「SD カードへ書き出す」を選び、(決定) を押す

9 「書き出し開始」を選び、(決定) を押す

お知らせ

●BD-Rの写真再生のみに対応している当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生するためには、ディスクに写真のみを記録した状態でファイナライズしてください。(➜121)

写真／音楽

音楽 CD を再生する

CD

音楽 CD を入れる

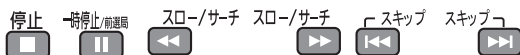
再生中の曲の経過時間/
現在の再生位置/演奏時間

●自動的に再生が始まります。

別の曲を再生するには

再生したい曲を選び、[決定] を押す

音楽再生中のいろいろな操作

●再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。

●再生中に、以下の再生設定を行うことができます。

・「基本設定」（➜65）の「リピート」「ランダム」

・「音声詳細設定」（➜67）

スクリーンセーバー設定

音楽再生中に写真を表示することができます。

スクリーンセーバーを表示するには

[青] を押す

スクリーンセーバーを停止するには

[戻る] を押す

（音楽の再生を停止したときも、停止します）

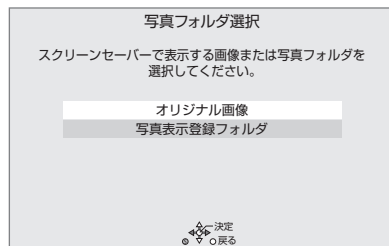
表示させる写真を選択するには

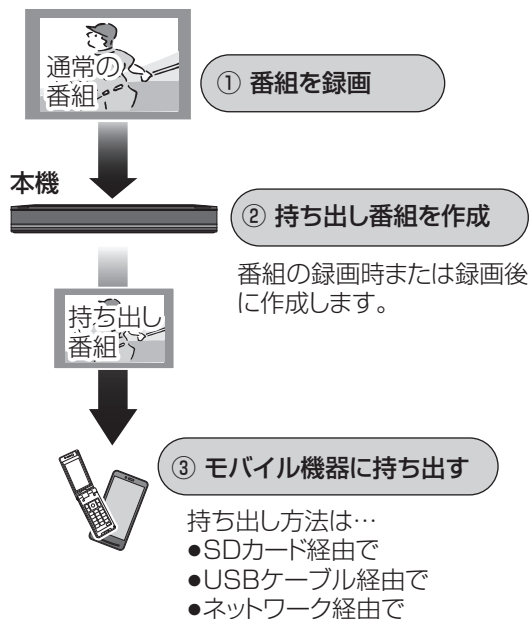
あらかじめ HDD に内蔵されているオリジナル画像または「音楽再生中の表示登録」（➜99）で登録したフォルダを選ぶことができます。

（フォルダ内の 3D 写真は 2D 再生になります）

① **スクリーンセーバー表示中に、[サブ メニュー] を押す**

② **「写真フォルダ選択」を選び、[決定] を押す**

③ **オリジナル画像またはフォルダを選び、[決定] を押す**

録画した番組をモバイル機器に持ち出す

モバイル機器（携帯電話など）に転送するには、HDDに録画した番組から持ち出し番組を作成する必要があります。

持ち出し番組を再生できる機器については、下記サポートサイトをご覧ください。(2013 年 12 月現在)
http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html

持ち出し方法と画質について

持ち出し方法や再生できる画質は持ち出す機器によって異なります。詳しくは機器の説明書をご覧ください。選べる画質は持ち出し方法によって異なります。

画質 / 持ち出し方法	ワンセグ画質（QVGA）	高画質（VGA）	ハイビジョン画質（HD）
SD/USB経由	○	○※1	×
ネットワーク経由	×	○※2	○※3

※１　「高画質（VGA）」に設定すると、「ワンセグ画質（QVGA）」より高画質で作成します。「持ち出し番組の VGA 画質」(➜152) で記録する画質（1.5 Mbps/1.0 Mbps）を変更できます。

※２　デジタル放送などの録画番組は「高画質（VGA）」（1.5 Mbps）となり、変更できません。

※３　撮影ビデオなどの動画（AVCHD、AVC VIDEO 表示のある番組）のみ選択できます。

お知らせ

●**持ち出し番組について**
- ·通常の番組の「番組消去」「部分消去」「番組分割」を行うと、持ち出し番組は消去されます。
- ·通常の番組の「番組名編集」を行うと、持ち出し番組も同じように編集されます。
- ·本機では、持ち出し番組の再生・編集はできません。

●**多重音声の記録について**

多重音声の番組から持ち出し番組を作成する場合、以下のようになります。

·マルチ音声の番組
- 録画した番組から作成するとき：
「信号切換」の「音声」(➜65)で設定した音声 1 つ
- 通常の番組の録画と同時に作成するとき：
マルチ音声、サラウンド音声では放送されていません

·二重音声の番組
- 録画した番組から作成するとき：
「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(➜152)の設定に従う
- 通常の番組の録画と同時に作成するとき：
両方の音声

持ち出し番組を作成する

番組の予約録画時に作成する

持ち出し番組の設定 HDD

番組の予約時に、持ち出し番組を作成するように設定しておくことができます。

番組予約（➜33 手順 5)、詳細設定（➜42 手順 1)、または時間指定予約（➜44 手順 3）画面で

❶ **「持ち出し番組の設定」を選び、決定 を押す**
❷ **「持ち出し番組の作成」を選び、「する」に設定する**
❸ **「持ち出し方法」を選び、設定する**
❹ **「持ち出し番組の画質」を選び、設定する**
❺ **「かんたん転送の登録」を選び、設定する**
- 「する」に設定しておくと、「かんたん転送」(➜105) で自動的に転送することができます。

お知らせ

- 地上デジタル放送を「ワンセグ画質（QVGA)」で作成する場合、通常の番組の録画と同時に作成します。
- 以下の場合、電源「切」時に録画した番組から変換して作成します。
  - ・「高画質（VGA)」で作成するとき
  - ・BS・CATV デジタル放送から作成するとき
  - ・LAN 経由で録画した番組から作成するとき
  - ・地上デジタル放送録画時に、ワンセグ放送が行われていないとき
  - ・地上デジタル放送の連続録画時間が 8 時間を超えるときの超えた分
- ワンセグ放送が地上デジタル放送と放送内容が異なる場合や開始時刻 / 終了時刻がずれる場合、正しく作成されないことがあります。「録画した番組から作成する」(➜ 右記）で作り直すことをお勧めします。
- 複数の音声や字幕を含む番組から作成する場合、「信号設定」(➜43) で記録したい音声や字幕を選んでください。
- 作成される持ち出し番組のアスペクトは 16:9 になります。

録画した番組から作成する

持ち出し番組の作成 HDD

HDD の録画一覧にある番組から持ち出し番組用に変換して作成します。
作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

❶

を押す
❷ **作成する番組を選び、緑 を押す**
❸ **「持ち出し番組の作成」を選び、決定 を押す**
❹ **「持ち出し方法」を選び、設定する**
❺ **「持ち出し番組の画質」を選び、設定する**
❻ **「かんたん転送の登録」を選び、設定する**
- 「する」に設定しておくと、「かんたん転送」(➜105) で自動的に転送することができます。

❼ **「開始方法」を選び、設定する**
- **すぐに：**
  下記手順 ❾ の設定後すぐに、作成を開始します。作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。
- **電源 [切] 後：**
  電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

❽ **「作成する」を選び、決定 を押す**
❾ 「すぐに」作成を開始する場合：
「開始」を選び、決定 を押す

作成を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」作成を開始する場合：
決定 を押す

作成の設定内容を変更・取り消しするには
手順 ❸ のあと、「設定変更」または「作成取消」を選び、**[決定]** を押す

☞ 作成が終了しているか確認するには

持ち出し番組一覧（➜106）で「作成待ち」が表示されている場合、作成は終了していません。

ネットワーク経由で持ち出す（転送）

ネットワーク経由で DLNA 対応のモバイル機器に転送する場合は、以下の設定を行ってください。

- ネットワーク接続と設定をする（➜128、140）
  お部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定をする（➜142）

転送操作はモバイル機器側で行います。操作方法は、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

SD/USB 経由で持ち出す（転送）

かんたん転送

「かんたん転送」の登録がされた番組をすべて転送します。（最大 99 番組まで転送可能）
登録されている番組は、持ち出し番組一覧（➜106）で確認することができます。

- 登録は、番組の予約時（➜104）、持ち出し番組の作成時（➜104）または作成後（➜106）に行うことができます。

❶ **SD カードを入れる または USB 機器(携帯電話など）を接続する**
☞ **USB 機器を接続するには（➜163）**

例）**SD**

❷ **「持ち出し番組のかんたん転送」を選び、決定 を押す**

便利機能

お知らせ

- 視聴制限のある番組は、「かんたん転送の登録」を「する」に設定することはできません。
- ダビングできない番組の場合、持ち出し番組は作成できません。
- HDD の残量が少ない場合や、HDD の番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。
- 持ち出し番組は以下の設定に従い作成されます。
  - 二重音声　:「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(➜152)
  - マルチ音声：「信号切換」の「音声」(➜65)
  - チャプター：作成元になる番組のチャプター情報
  - 字幕　　　:「信号切換」の「字幕」(➜65)
    (「電源［切］後」作成する場合、電源「切」時の「信号切換」の設定に従い作成されます）

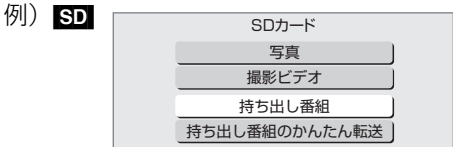
録画した番組をモバイル機器に持ち出す（続き）

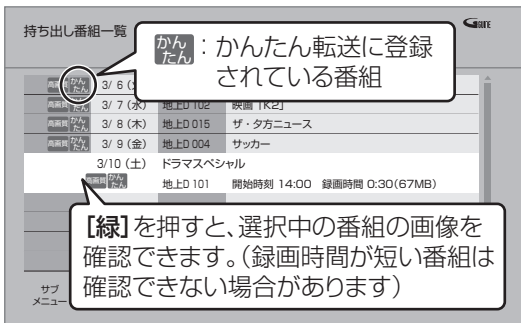
SD/USB 経由で持ち出す（転送）（続き）

持ち出し番組一覧から転送する

❶ SD カードを入れる または USB 機器（携帯電話など）を接続する

☞USB 機器を接続するには（➜163）

例）SD

❷「持ち出し番組」を選び、[決定] を押す

❸「持ち出し番組を転送する」を選び、[決定] を押す

❹ 番組を選び、[青] を押す

● ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

☞ **選択を取り消すには**

番組を選び、[青] を押す

❺ 選び終わったあと、[決定] を押す

❻「転送を開始する」を選び、[決定] を押す

持ち出し番組の確認と編集

「持ち出し番組一覧から転送する」（➜ 左記）
手順 ❸ のあと

❹ 番組を選び、[サブメニュー] を押す

❺ 項目を選び、[決定] を押す（➜ 下記へ）

SD/USB へ転送	SD カードまたは USB 機器へ番組を転送します。 **（➜ 左記手順 ❻ へ）**
持ち出し番組消去	持ち出し番組を消去します。
内容確認	番組の情報を確認します。
かんたん転送の設定	「かんたん転送」（➜105）の登録をします。 （かんたん が表示されます）
かんたん転送の解除	「かんたん転送」（➜105）の登録を解除します。
視聴制限一時解除	「制限項目設定」（➜148）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。表示されていない視聴制限のある番組を表示します。

転送（ダビング）の残り可能回数について

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられているため、転送（ダビング）できる回数に限りがあります。

●通常の番組をダビングした場合や持ち出し番組を転送した場合には、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。

表示のある番組について

転送すると、HDD の番組は消去されます。

●通常の番組·持ち出し番組ともにHDDから消去されます。

お知らせ

●転送した番組の「かんたん転送」の登録は解除されます。
●選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送する持ち出し番組の合計より少し大きくなります。
●転送中は以下のようになります。
・通常の番組の再生はできません。
・録画先が「BD」の予約録画が始まると、HDD に代替録画されます。
●ディスクに予約録画中は、転送できません。
●録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。
●転送した番組は、再生停止位置 (➔60「続き再生メモリー機能」) とチャプターマーク (➔74) を通常の番組から引き継ぎます。
・作成したチャプターマークは引き継がれない場合があります。
・位置は多少ずれる場合があります。
●通常の番組がプロテクト設定 (➔71) されている「1 回だけ録画可能」の持ち出し番組は、転送できません。
●消去中に他の操作を行うと消去に時間がかかる場合があります。
●視聴制限のある番組は表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」(➔106) を行うと、表示されるようになります。

録画した番組をモバイル機器に持ち出す（続き）

転送した番組を確認・消去する

❶ SD カードを入れる または USB 機器（携帯電話など）を接続する

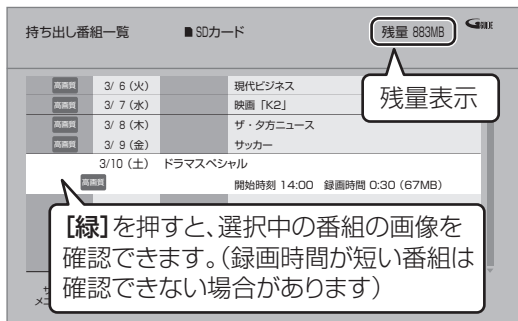
☞ USB 機器を接続するには（➜163）

（➜163）

❷「持ち出し番組」を選び、決定 を押す

❸「持ち出し番組を確認する」を選び、決定 を押す

❹ 番組を選ぶ

例）SD

☞ 番組の内容を確認するには

① [サブ メニュー] を押す

②「内容確認」を選び、[決定] を押す

☞ 持ち出し番組を消去するには

① [黄] を押す

②「消去」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- 残量表示は、持ち出し番組を最適に記録できる残量を表示するため、実際より少なく表示されます。
- 本機以外で記録された持ち出し番組は、消去できない場合があります。
- ネットワーク経由で転送した番組の確認・消去は本機ではできません。

ビエラリンク(HDMI)を使う

ビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)、またはアンプをHDMI経由で接続すると連動操作を行うことができます。
●本機はビエラリンク(HDMI)Ver.4に対応しています。

ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは
本機とHDMIケーブル(市販品)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン1つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
※すべての操作ができるものではありません。

■設定

① **「ビエラリンク制御」(➜155)を「入」にする**

② **接続した機器側(テレビなど)で、ビエラリンク(HDMI)が働くように設定する**

③ **すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する**
(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)

お知らせ
- ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。

表示マークについて

Ver.○以降 :接続している機器が表示のバージョン以降のビエラリンク(HDMI)に対応している場合に操作できます。

●テレビやアンプのビエラリンクのバージョンは、各機器の取扱説明書でご確認ください。

ECO スタンバイ

Ver.4以降

リモコンを使ってビエラの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。
●電源「切」時に時計表示されなくなります。

設定を有効にするには
●「ECO スタンバイ」(➜155)を「入」にする

テレビの電源と連動させる

Ver.1以降

本機とテレビの電源操作を連動させることができます。

設定を有効にするには
●「ビエラリンク制御」(➜155)が「入」の場合:
・本機の電源を「入」にするとテレビの電源も「入」になり、本機の入力に切り換わる
・テレビの電源を「切」にすると本機の電源も「切」になる
●「電源オフ連動」(➜155)が「入」の場合:
・本機の電源を「切」にするとテレビの電源も「切」になる
●「ビエラリモコンで操作」(➜155)が「入」の場合:
・テレビの電源を「入」にすると本機の電源も「入」になり、本機の入力に切り換わる
●接続したテレビでも電源に連動する設定を行ってください。
詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。

音声の出力先を切り換える

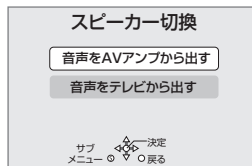
Ver.1以降

ビエラとアンプと接続している場合、本機の音声出力先を切り換えることができます。
●切り換えるには、「ビエラリンク制御」を「入」にしてください。(➜155)

❶ **サブメニュー S を押す**
●表示されない場合、もう一度[サブ メニュー]を押してください。

❷ **「スピーカー切換」を選び、決定 を押す**

❸ **音声出力先を選び、決定 を押す**

スピーカー切換
音声をAVアンプから出す
音声をテレビから出す
サブメニュー 決定 戻る

お知らせ
- ビエラリンク(HDMI)を使用するには、接続したテレビ側、アンプ側の設定が必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

便利機能

テレビのリモコンで本機を操作する

Ver.3以降

テレビのリモコンで本機を操作するには、あらかじめテレビの操作から本機の操作に切り換えるための切り換え操作が必要です。

切り換え操作の詳細はテレビの取扱説明書をご覧ください。

設定を有効にするには

- 「ビエラリモコンで操作」(➔**155**)を「入」にしてください。

テレビのリモコンで操作できるボタンは？

[▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブ メニュー]
[番組表][地上][BS][CS][チャンネル∧,∨]
[字幕][データ d][元の画面][音声切換]
と数字ボタン、色ボタンなど

ビエラの機種によっては、ボタンの配置と使用できるボタンが異なる場合があります。
詳しくはビエラの取扱説明書または電子説明書(VIERA 操作ガイド)をご覧ください。

ビエラのリモコン（例：TH-L32X6）

お知らせ

- 本機とテレビの電源が「入」の状態で、テレビ側の入力切換の設定が本機のときに、ビエラのリモコンで本機を操作することができます。
- 本機を操作するときは、ビエラのリモコンをテレビに向けてください。

■番組表を表示する

[番組表] を押す

●番組表の詳細操作は、**32**、**34ページ**をご覧ください。

■放送を選ぶ

[地上] [BS] [CS] を押す

●ボタンの名称は本機リモコンと異なります。
- **[地上]**：地上デジタル放送
- **[BS]**：BS デジタル放送
- **[CS]**：CATV デジタル放送

■チャンネルを選ぶ

[チャンネル∧,∨] または数字ボタンを押す

●ボタンの名称は本機リモコンと異なります。

■ケーブルテレビ放送の画面に戻る

[元の画面] を押す

■データ放送を見る

[データ ⓓ] を押す

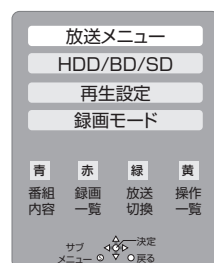
●データ放送の詳細操作は、**26ページ**をご覧ください。

■音声や字幕を切り換える

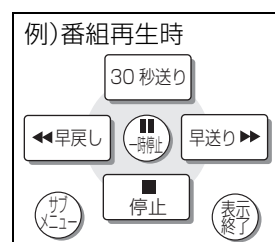
視聴中に音声や字幕表示の切り換えなどができます。

[音声切換] または [字幕] を押す

■サブメニューボタンを使う

ケーブルテレビの番組を視聴中：
[サブ メニュー] を押す

サブメニュー画面が表示され、以下のボタンを押すとそれぞれの操作を行うことができます。

[青]：番組内容の表示(**➜28**)
[赤]：録画一覧の表示(**➜54**)
[緑]：放送の切り換え
[黄]：操作一覧の表示(**➜21**)

番組の再生中：
[サブ メニュー] を押す

テレビのリモコンで早送り・早戻し(サーチ)、停止などの操作ができます。

●**[▲] [▼] [◄] [►] [決定] [戻る] [サブ メニュー]** で操作することができます。

番組ぴったりサウンド（オートサウンド連携）

Ver.3以降

ビエラとアンプと接続している場合、アンプから出力されるサウンドが、番組情報やディスクに応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。

●VR方式のディスクや他の機器で記録したディスクでは働きません。

☞ 設定を有効にするには

●「オートサウンド連携」(**➜155**)を「入」にする

便利機能

インターネットを利用した情報を見る

インターネットを利用した生活情報やテレビ向けの双方向情報提供サービスを利用することができます。

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により利用できない場合や、サービス内容が異なる場合があります。ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

●ポータルサイト※の利用条件については、別途ポータルサイトにてご確認ください。

※ ポータルサイトとは、[ブラウザ] を押したときに最初に表示されるホームページのことです。（ポータルとは玄関･入り口の意味です）

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。

お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をお勧めします。

制限機能を使用する場合は、「ブラウザ制限」を「する」に設定してください。

① **[操作一覧]** を押す
②「放送設定」を選び、**[決定]** を押す
③「システム設定」を選び、**[決定]** を押す
④「制限項目設定」を選び、**[決定]** を押す
⑤ [1] ～ [10] で暗証番号を設定する
⑥「ブラウザ制限」を選び、「する」を選ぶ

●ブラウザを利用するには、手順⑤で設定した暗証番号の入力が必要になります。

1 **を押す**

2 **見たい項目を選び、決定 を押す**

ブラウザを終了するには

赤 を押す

お知らせ

●**ホームページへの情報登録について**
ブラウザを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。ご加入のケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合は、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。

●クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけください。

●天災やシステム障害その他の事由により、ポータルサイトのコンテンツを表示できない場合があります。あらかじめご了承ください。

ブラウザメニューを表示する

❶ ホームページ表示中に、[青]を押す

❷ 項目を選び、[決定]を押す

Ⓐ 1つ前のページへ
Ⓑ 1つ先のページへ
Ⓒ 読み込みを中止
Ⓓ 表示中のページを再読み込み
Ⓔ ポータルサイトに戻るとき
Ⓕ お好みページを使う（➜ 右記）

ブラウザメニューの表示を消すには

[青]を押す

お好みページを使う

お気に入りのホームページを「お好みページ」に登録すると、あとからそのページを見るのに便利です。

❶ ホームページ表示中に、[青]を押す

- 登録したい場合、登録したいホームページを表示して [青] を押してください。

❷「お好みページ」を選び、[決定]を押す

■登録する

❸ [青]を押す

❹ 内容を確認し、[決定]を押す

- 「お好みページ」の登録は最大 21 件までです。

■見る

❸ 見たいタイトルを選び、[決定]を押す

■削除する

❸ 削除したいタイトルを選ぶ

❹ [黄]を押す

❺「はい」を選び、[決定]を押す

■タイトルを変更する

❸ 変更したいタイトルを選ぶ

❹ [緑]を押す

❺「タイトル」を選び、[決定]を押す

文字入力については(➜122)

便利機能

ドアホンやセンサーカメラから録画された映像を再生する

HDD

ドアホンやセンサーカメラを接続して設定すると、呼び出しや検知があったときに、映像を自動で HDD に録画します。

●H.264 対応のセンサーカメラからの場合は動画（音声付き）を、H.264 非対応のセンサーカメラやドアホンからの場合はコマ送りの画像（連続静止画）を記録することができます。

●本機とドアホンやセンサーカメラを接続する（➜129、130）

●ドアホンやセンサーカメラの設定をする（➜144）

お知らせ

● ドアホン録画が実行された場合のみ、録画終了後に“ ✉ ”が点滅します。
● ドアホン映像に新着の映像がある場合、本機の電源を入れると、確認画面が表示されます。
● ドアホン・センサーカメラ映像の録画は、以下の制約がありますので、ご理解いただいたうえで、ご利用ください。
  - ・以下の場合、映像は録画されません。
    - ３番組同時録画中（通知のみ記録）
    - ２番組同時録画とダビングの同時実行中（通知のみ記録）
    - 1.5 ～ 15 倍録モードで録画とダビングの同時実行中（通知のみ記録）
    - LAN 経由の番組を録画中（通知のみ記録）
    - オンエアーダウンロードなどのソフトウェア更新中（➜160）
    - 本機の安定性維持のために行われる午前 4 時ごろ（1 週間に 1 回程度）の自動再起動時
    - その他、ファイナライズ中　など
  - ・録画は最大で約 30 秒です。最短検知間隔が 1 分間のセンサーカメラの場合、検知後、約 30 秒間の映像は記録されますが、30 秒以降から 1 分までの間は、センサーカメラは検知せず、録画されません。
    ドアホンの場合、応答すると録画は止まります。
  - ・最大記録件数は、以下になります。
    ドアホン映像 400　センサーカメラ映像 400
    400 件を超えると、古い映像から削除されます。削除したくない映像はプロテクトを設定してください。（➜115）
  - ・本機能を運用された結果、発生したいかなる損害に対して当社およびご加入のケーブルテレビ局は一切の責任を負いません。

録画された映像を再生する

1 [操作一覧] **を押す**

2 **「ドアホン・センサーカメラ映像を見る」を選び、[決定] を押す**

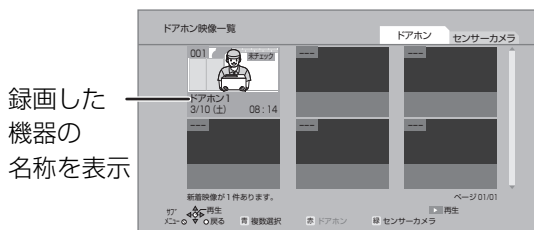
●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

ドアホン映像一覧を表示するには
[赤] を押す

センサーカメラ映像一覧を表示するには
[緑] を押す

3 **映像を選び、[決定] を押す**

●映像の再生が終了すると、次の映像を表示します。

録画した機器の名称を表示

●再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。

（一時停止中）

映像の一場面を SD カードに保存

映像の一場面を写真（JPEG）に変換して SD カードに保存することができます。

❶ **保存したい場面で [一時停止/前選局] を押す**
❷ **[◀] [▶] を押して場面を調整する**
❸ **[黄] を押す**
❹ **「転送開始」を選び、[決定] を押す**

●SECURITY フォルダ内の日付フォルダに保存されます。

録画された映像を編集する

1 **を押す**

2 **「ドアホン・センサーカメラ映像を見る」を選び、決定 を押す**

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

☞ **ドアホン映像一覧を表示するには**
[赤] を押す

☞ **センサーカメラ映像一覧を表示するには**
[緑] を押す

3 **映像を選んで、サブメニュー S を押す**

4 **編集する項目を選び、決定 を押す（➜ 右記へ）**

例）

- 映像消去
- 全映像消去
- プロテクト設定
- プロテクト解除
- 全映像をバックアップ
- バックアップからの復元
- センサーカメラへ

映像消去 全映像消去	**「消去」を選び、[決定] を押す**
プロテクト設定 / 解除	映像を誤って消去しないよう、映像ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定または解除ができます。 **「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。
全映像をバックアップ	ドアホンまたはセンサーカメラの全映像を DVD-RAM にバックアップすることができます。 **「開始」を選び、[決定] を押す** **お知らせ** ●バックアップする DVD-RAM は、バックアップ専用としてお使いください。（バックアップデータはフォーマット以外の消去方法がありません。番組や写真が混在したディスクの場合、バックアップデータを消去するためにフォーマットすると、大切な録画番組なども消去されてしまいます） ●バックアップデータを再生したり、他の機器にコピーして利用することはできません。 ●一度バックアップしたディスクには、フォーマットしないかぎり、バックアップはできません。
バックアップからの復元	DVD-RAM にバックアップしたデータをHDDに復元します。 ●万が一、HDD が故障してデータが損なわれた場合にはHDDの修理が完了してから復元を行ってください。 **「開始」を選び、[決定] を押す**

お部屋ジャンプリンク（DLNA）を使う

お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能

記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した DLNA 対応機器で行う機能です。
コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

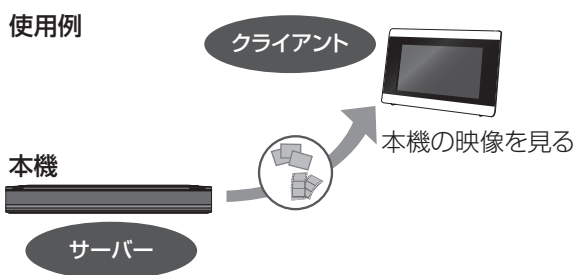
●本機はサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。
●サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツなどは異なります。
●他社製 DLNA 対応機器では使用できない場合があります。

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境により、ご利用いただけない場合があります。

別室のテレビなどで見る（本機をサーバーとして使用する）

●ネットワーク接続と設定をする
（➜128、140）
●お部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定をする
（➜142）

HDD **USB-HDD**

DLNA 対応機器から、本機の HDD や USB-HDD に録画した番組や写真の再生、受信した放送の視聴ができます。

テレビなどのクライアント機器側で操作する

●画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

●本機に接続して同時に操作できるのは 2 台までです。
●USB-HDD に録画した番組の再生は 1 台のみ可能です。

「ビデオを見る」「写真を見る」のとき

●編集はできません。（当社製機器の場合、番組の消去のみできます）

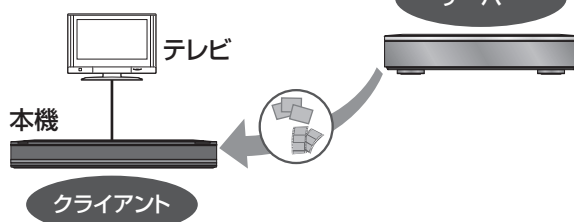
「放送を見る」のとき

●本機が 2 番組録画中の場合、本機側で放送やチャンネルの切り換えはできません。
●ブラウザの番組を視聴することはできません。
●視聴する番組は、実際の放送よりも数秒遅れます。
●クライアントとして使用される機器によっては、放送番組や映像、音声が正常に視聴できない場合があります。

映像が途切れたり、停止する場合

●ネットワーク通信速度が低い可能性があります。「レート変換モード」（➜158）を「オート」または「入」に設定すると、番組の画質を調整し、改善される場合があります。さらに「画質モード」（➜158）で調整することができます。
ただし、画質を調整すると、以下の制限があります。
・早送り・早戻しができない
・XP、SP、LP、EP、FR モードの番組は設定にかかわらず画質調整を行いません。
●無線 LAN 使用時に映像の途切れなどが起こる場合、本機や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は、有線で接続してください。
●無線 LAN はすべてのご利用環境での動作を保証するものではありません。距離や障害物により十分な通信速度が出なかったり接続できない場合があります。
●本機で BD-Live などを利用しているときは、映像が途切れたり、停止する場合があります。

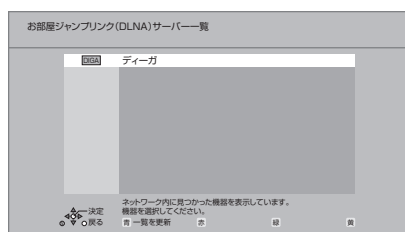
別室の機器の映像を見る（本機をクライアントとして使用する）

本機からDLNA対応ディーガなどのHDDにある番組などを再生することができます。

●ネットワーク接続と設定をする（➜128、140）
●接続した機器側で、本機を登録する（当社製機器の場合は「お部屋ジャンプリンク（DLNA）」または「ビエラリンク（LAN）」で登録する）
（本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順1～3の操作を行ってください）

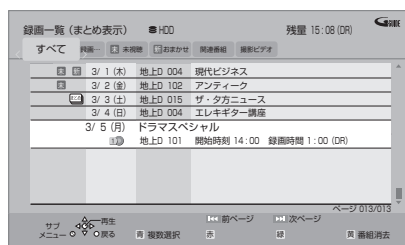
1 [操作一覧] **を押す**

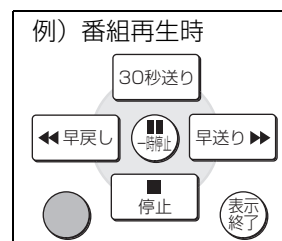
2 **「お部屋ジャンプリンク」を選び、[決定] を押す**

●表示がない場合は[|◀◀][▶▶|]でページを切り換えてください。

3 **接続する機器を選び、[決定] を押す**

例）
●選んだ機器の画面が表示されます。
画面に従って、以降の操作をしてください。

例）当社製DLNA対応ディーガの番組を再生する場合

① 機器のリモコンを使って、ディーガの「録画一覧」を表示させる

例）
② 再生する番組を選び、[決定] を押す

●「画面 de リモコン」が表示されます。
（[▲][▼][◀][▶][決定][戻る] で操作することができます）

「画面 de リモコン」が表示されていないときは
[サブ メニュー] を押す

お知らせ

●DLNA 対応ディーガの番組を再生する場合、**[音声切換]（リモコンのふた内部）**を押すと、「音声切換」「字幕切換」や「電波状態表示」（無線接続時のみ）を行うことができます。
●接続環境によっては、接続機器の番組一覧が表示されないことや、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
●本機の録画一覧の「家じゅう」ラベルを選択すると、お部屋ジャンプリンク（DLNA）で接続されたすべての機器の録画番組をまとめて表示できます。**(➜57)**
●パソコン上にあるコンテンツを再生する場合、音楽は LPCM のデータを再生できます。

本機で記録できるようにする（フォーマット）

新品または他の
機器で使っていた
ディスクやカード

そのままでは
本機で記録できない
場合があります。

本機で記録できる
ようになります。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。
（番組や写真、ディスクにプロテクトを設定していても消去されます）

■ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。
記録方式によって、他の機器で再生する場合の互換性が異なります。(➜19)

ディスク	記録方式	記録できる画質	記録できる録画モード	フォーマット	備考
BD-RE BD-R	—	放送画質 ハイビジョン画質	DR 1.5 ～ 15 倍録	必要	記録方式の設定はありません。
RAM	AVCREC 方式	ハイビジョン画質	1.5 ～ 15 倍録	必要	
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	— （ディスクによる）	
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。			
-R	AVCREC 方式	ハイビジョン画質	1.5 ～ 15 倍録	必要	
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	
	ビデオ方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	不要	デジタル放送は記録できません。
-RW	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。			
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	
	ビデオ方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	デジタル放送は記録できません。

BD-RE BD-R RAM -R -RW SD

1 操作一覧 を押す

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

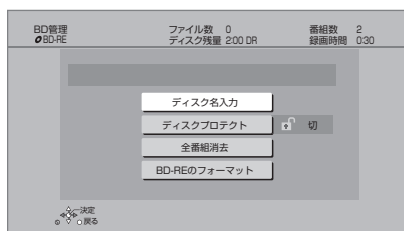
●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ（BD）/DVD」または「SD カード」を選び、決定 を押す

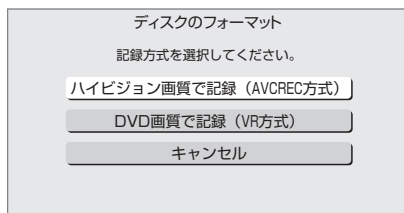
4 「BD 管理」、「DVD 管理」または「カード管理」を選び、決定 を押す

●未使用の -R を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。（➜ 手順 6 へ）

5 フォーマットの項目を選んで、決定 を押す

例）BD-RE

6 画面の指示に従って、フォーマットする

●DVD の場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例）RAM

お知らせ

- **フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。**
- SD 「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」は、BD-Live を利用して、SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合に実行してください。
- -R 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」（➜120）を行うと記録方式を変更できません。
- RAM -RW 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- HDD フォーマットは「HDDのフォーマット」（➜153）で行ってください。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

便利機能

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去

BD-RE BD-R RAM -R -RW
（ファイナライズしたディスクではできません）

1 [操作一覧] **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す
- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、[決定] を押す

4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、[決定] を押す

5 操作したい項目を選んで、[決定] を押す
（➜ 下記へ）

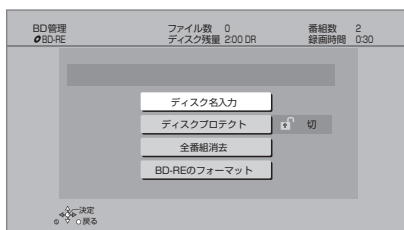
例）BD-RE

ディスク名入力

BD-RE BD-R RAM -R -RW

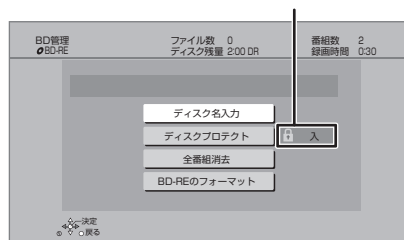
☞ 文字入力については（➜122）

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。

-R(V) -RW(V)
ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

ディスクプロテクト

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)
ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

❻ 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す

プロテクト設定すると「🔒 入」が表示

全番組消去

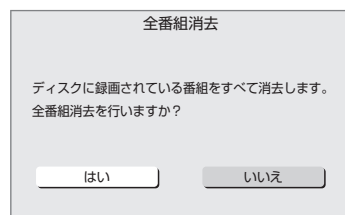
BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

例）BD-RE

全番組消去

ディスクに録画されている番組をすべて消去します。
全番組消去を行いますか？

はい　いいえ

❻ 「はい」を選び、[決定] を押す

❼ 「実行」を選び、[決定] を押す

お知らせ
- 全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- BD-RE RAM 写真は消去されません。
- BD-R -R(AVCREC) -R(VR) 消去しても残量は増えません。

ファイナライズ

BD-RE **RAM** ファイナライズは不要です。

ファイナライズ すると

DVD プレーヤーなどで再生できます。
ファイナライズ後、記録状態によっては
他の機器で再生できない場合があります。

ファイナライズ すると

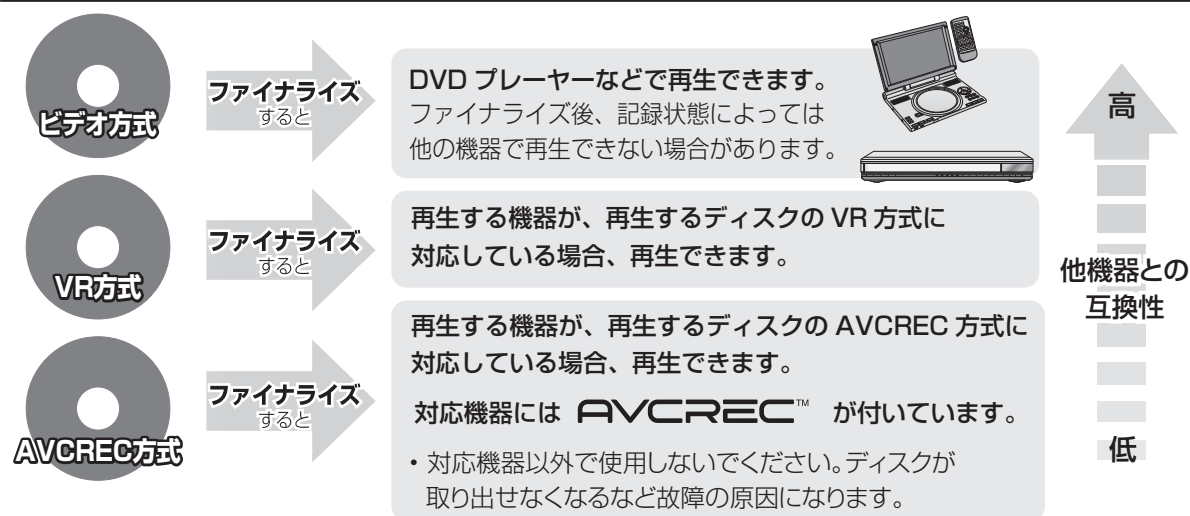
再生する機器が、再生するディスクの VR 方式に対応している場合、再生できます。

ファイナライズ すると

再生する機器が、再生するディスクの AVCREC 方式に対応している場合、再生できます。

対応機器には **が付いています。**

- 対応機器以外で使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。

高 ↑ 他機器との互換性 ↓ 低

120 ページ手順 1 ～ 5 のあとに操作します。

トップメニュー

-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

❻ **お好みの背景を選び、決定 を押す**

- トップメニュー内に表示される画像（サムネイル）は変更できます。**(➜72「サムネイル変更」)**

ファーストプレイ選択

-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後のディスクの再生の始め方を設定できます。

❻ **「トップメニュー」または「タイトル 1 」を選び、決定 を押す**

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1　：先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生（ファイナライズ）
他の BD 機器再生（ファイナライズ）

-R **-RW** **BD-R**

❻ **「はい」を選び、決定 を押す**

❼ **「実行」を選び、決定 を押す**

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。
- ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
- **-RW(V)** フォーマット (➜118) すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
- **-RW(VR)** 「ファイナライズ解除」(➜ 下記) を行うと、記録や編集ができます。
- **BD-R** ファイナライズすると、HDD へのコピー制限のある番組の移動はできません。

ファイナライズ解除

-RW(VR)

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。

❻ **「はい」を選び、決定 を押す**

❼ **「実行」を選び、決定 を押す**

お知らせ

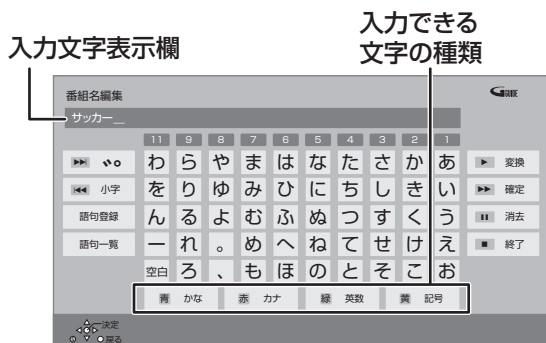
- 本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

便利機能

文字入力

本機では、表示された画面によって２種類の文字入力方法があります。

文字パネル方式で文字入力する

（番組名、ディスク名、フォルダ名、マイラベル名、フリーワード検索などを入力するとき）

1 青 赤 緑 黄 **で文字の種類を選ぶ**

●漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

2 入力する文字を選び、決定 を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

●ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。（➜ 右記）

3 入力が終わったら、停止 を押す

4 「はい」を選び、決定 を押す

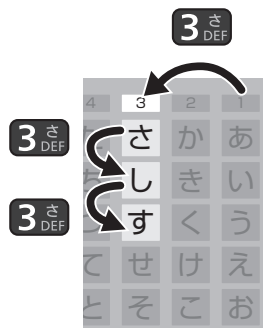
数字ボタン［1］～［9］、［11］でも文字を入力できます。

例：ひらがな「す」を選ぶ場合

① ［3］を押す

●「さ」行に移動します。

② ［3］を２回押し、［決定］を押す

●「す」が入力文字表示欄に表示されます。

ひらがなを確定する

［▶▶］を押す

ひらがなを漢字変換する

［**再生** ▶］を押したあと、変換候補を選び、［**決定**］を押す

●［**戻る**］を押すと、入力画面に戻ります。

●JIS 第１水準、JIS 第２水準の漢字コードを入力可能

文字を消す

［**一時停止** ❚❚］を押す

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

① 語句を入力したあと、「語句登録」を選び、［**決定**］を押す

② 「登録」を選び、［**決定**］を押す

語句を呼び出す

① 「語句一覧」を選び、［**決定**］を押す

② 語句を選び、［**決定**］を押す

語句の消去

① 「語句一覧」を選び、［**決定**］を押す

② 語句を選び、［**黄**］を押す

③ 「消去」を選び、［**決定**］を押す

リモコンボタン方式で文字入力する
（ブラウザなどで入力するとき）

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。
（番組名やディスク名はこの方法では入力できません）

1 ～ **で文字を入力する**

例）「えいが」と入力するとき

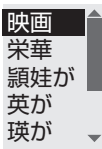
4 回押す（え）　1 回押す　2 回押す（い）　1 回押す（か）　1 回押す（゛）

えいが

●入力文字一覧表をご覧ください。（➜124）

漢字に変換するには

[▲][▼] で変換候補を選び、[**決定**] を押す

●JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードを入力可能

2 決定 **を押す**

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

文字の種類を変換する

[**緑**] を押して文字の種類を選び、[**決定**] を押す

●[**緑**] を押すごとに、（かな→カナ→英数→数字）に切り換わります。

●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。

同じボタンで続けて入力する

[▶] でカーソルを右に移動させる

例）「あい」と入力する場合 :[1][▶][1][1] の順に押す

文節を分けて変換する

例）「えいが」の「えい」だけを変換する場合：

① 「えいが」と入力して、[▼] を押す

② [◀] を押して「えい」だけを選ぶ

③ 変換候補を選び、[**決定**] を押す

記号を入力する

① “きごう”と入力する

② 変換候補を選び、[**決定**] を押す

文字を追加する

カーソルを移動させたあと、文字を入力する
（カーソルの左に文字が追加されます）

文字を消す

カーソルを移動させたあと、[**黄**] を押す
（カーソルの文字が削除されます）

便利機能

リモコンボタン方式での入力文字一覧表

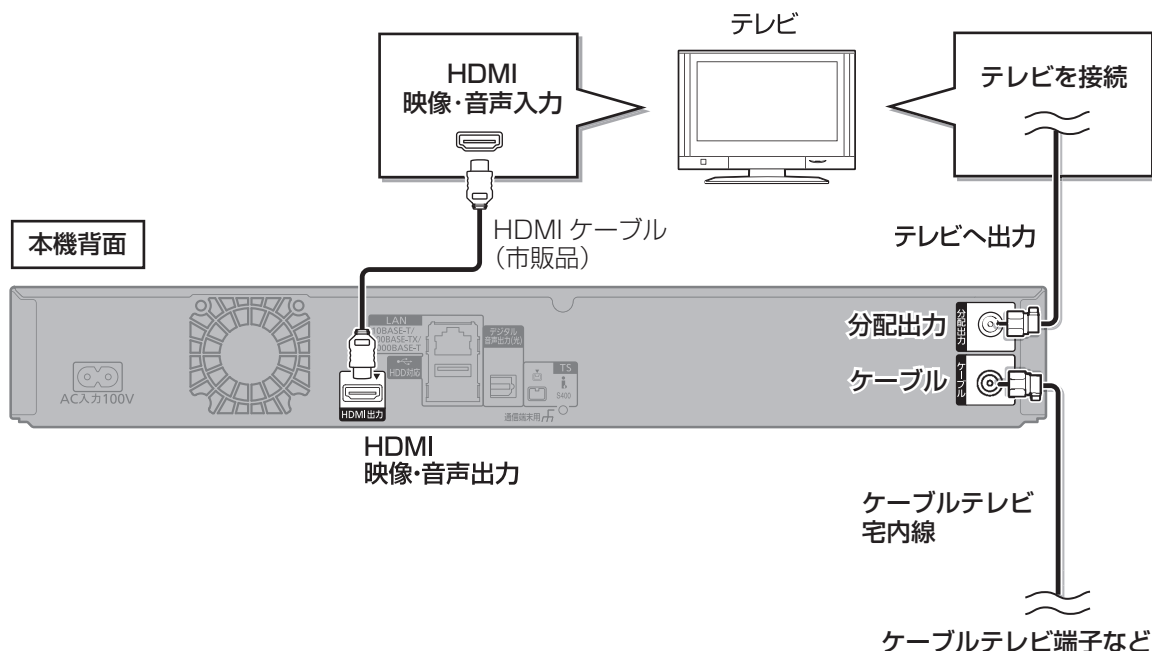
ボタン / 入力モード	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]	[12]
かな	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	、	わ	改行
	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	。	を	
	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	?	ん	
	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	!	ゎ	
	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	・	ー	
	ぁ	2	3	っ	5	6	7	ょ	9	(	スペース	
	ぃ			4				8		)		
	ぅ									0		
	ぇ											
	ぉ											
	1											
カナ	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	、	ワ	改行
	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	。	ヲ	
	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	?	ン	
	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ャ	レ	!	ヮ	
	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ュ	ロ	・	ー	
	ァ	2	3	ッ	5	6	7	ョ	9	(	スペース	
	ィ			4				8		)		
	ゥ									0		
	ェ											
	ォ											
	1											
英数	@	a	d	g	j	m	p	t	w	ー	スペース	改行
	.	b	e	h	k	n	q	u	x	,		
	／	c	f	i	l	o	r	v	y	;		
	:	A	D	G	J	M	s	T	z	'		
	~	B	E	H	K	N	P	U	W	"		
	_	C	F	I	L	O	Q	V	X	?		
	1	2	3	4	5	6	R	8	Y	!		
							S		Z	(		
							7		9	)		
										&		
										¥		
										0		
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例：「い」を入力するときは [1] を 2 回押す）
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押してください。
- 入力可能な文字は画面によって異なる場合があります。

お知らせ

- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。

接続1 テレビやケーブル宅内線と接続する

●すべての接続が終わったあとは、必ず電源コードをつないでおいてください。

お知らせ

●ケーブル端子、分配出力端子にF型接栓を接続するときは、緩まない程度に手で締めつけてください。締めつけすぎると、本機内部が破損するおそれがあります。
●ケーブル端子には、ケーブル宅内線以外のケーブルを接続しないでください。
●分配出力端子には、BS アンテナなどへ電源供給を行っているケーブルを接続しないでください。
●HDMI ケーブルは、「High Speed HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。
●HDMIケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。

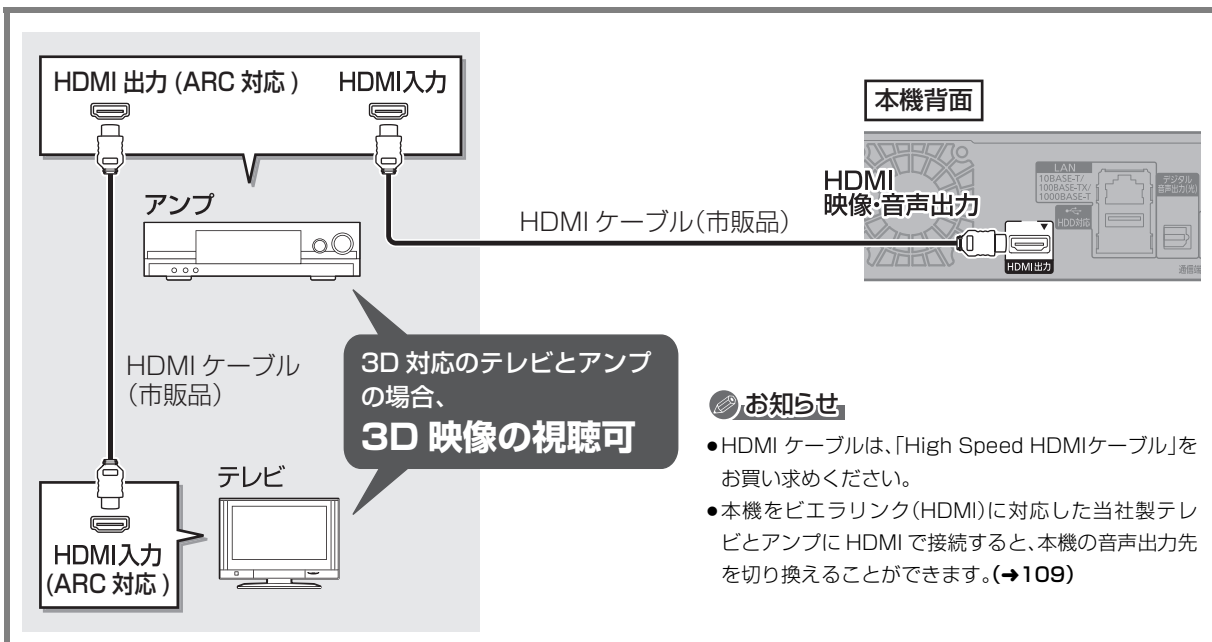
接続2 アンプと接続する

アンプと接続して、ホームシアターなどを楽しむことができます。

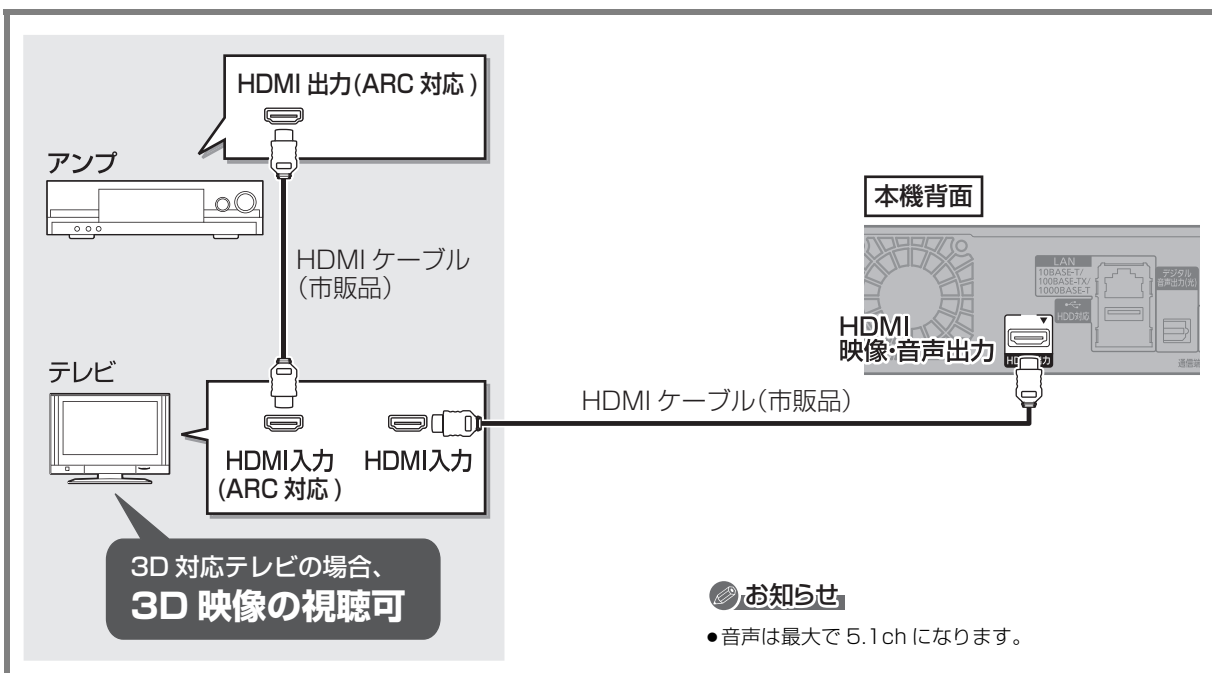
☞ デジタル出力される音声と接続・設定の関係(➜199)

HDMI 端子で接続する

お知らせ

- HDMI ケーブルは、「High Speed HDMIケーブル」をお買い求めください。
- 本機をビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビとアンプに HDMI で接続すると、本機の音声出力先を切り換えることができます。(➜109)

3D 非対応のアンプと接続して 3D 映像を視聴するには

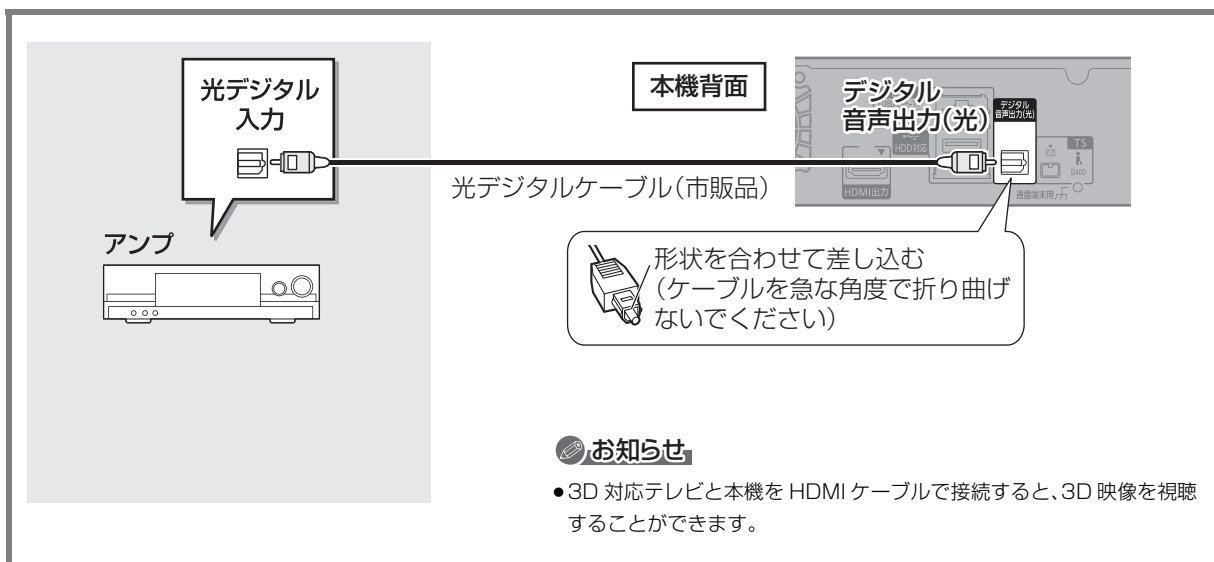
お知らせ

- 音声は最大で 5.1ch になります。

お知らせ

- HDMI 端子に「ARC 対応」の表示がない ARC 非対応のテレビまたはアンプを使用する場合は、テレビの音声をアンプで楽しむために、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。

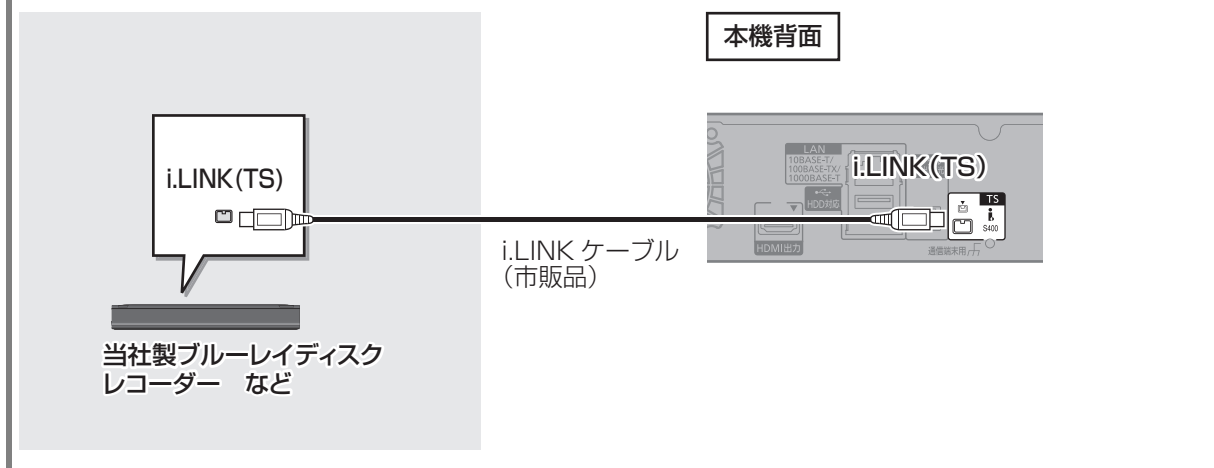
デジタル音声端子で接続する

お知らせ

●3D 対応テレビと本機を HDMI ケーブルで接続すると、3D 映像を視聴することができます。

接続3 i.LINK 対応機器と接続する

当社製ブルーレイディスクレコーダーなどと接続してダビングすることができます。

●S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。

接続／設定

接続4 ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。
（下記表内の Ⓐ ～ Ⓓ は、129、130 ページでそれぞれのサービスや機能を利用するために必要な接続 Ⓐ ～ Ⓓ を表します）
接続後は、ネットワーク設定(➜140)と連携する機器の設定(➜142 ～ 144)を行ってください。

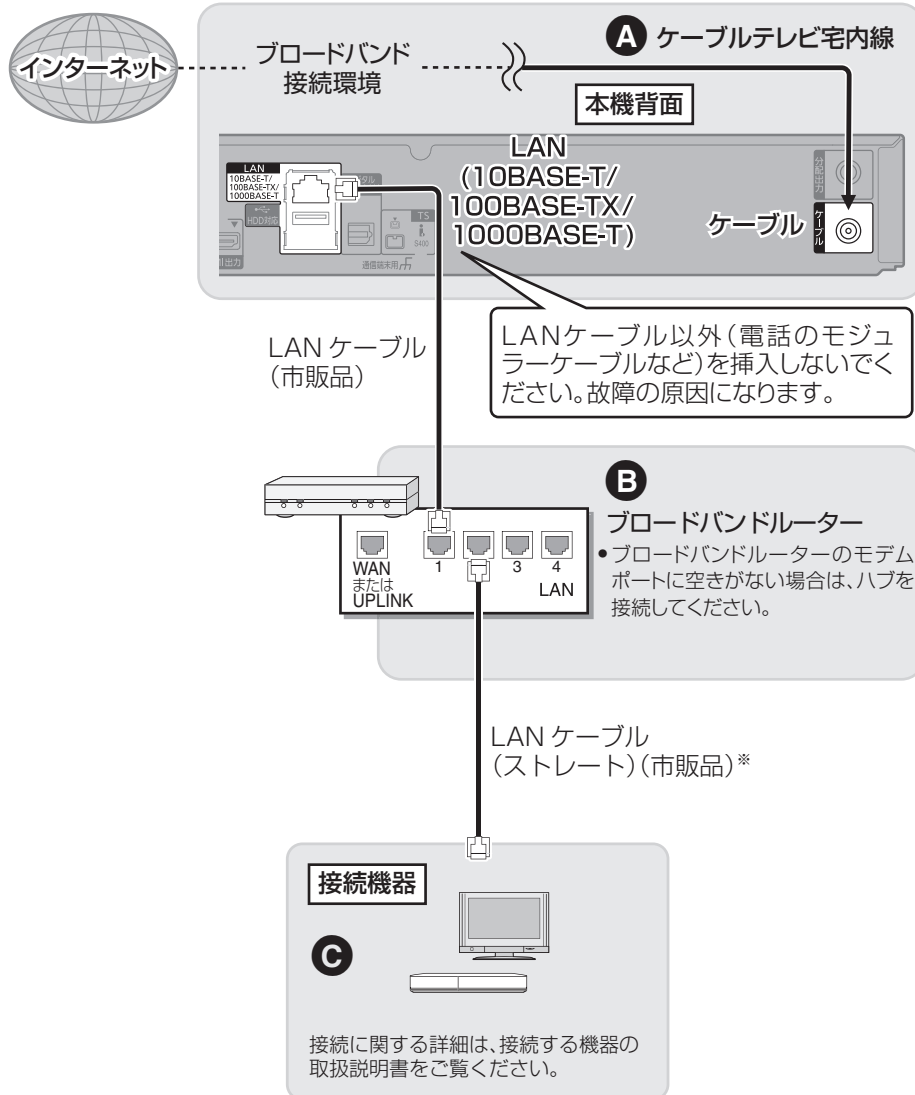
1ヵ月の番組表を受信する(➜35)	ケーブルテレビ宅内線の接続が必要（Ⓐ） （本体表示窓にモデム接続ランプが点灯）
BD-Live 対応のディスクを楽しむ(➜64)	
インターネットの情報を利用する（➜112）	
外出先から操作する（➜143）（宅外リモート接続機能）	
お部屋ジャンプリンク (DLNA) 機能（➜116）	宅内 LAN 環境の接続が必要 ●LAN ケーブル接続時（ⒷⒸ） ●無線 LAN 接続時（ⒷⒸⒹ） （無線 LAN アダプターが必要）
ネットワークを使ってダビングする（➜96）	
ドアホンやセンサーカメラの映像を録画する(➜114)	

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境により、ご利用いただけない場合があります。

本機のネットワーク接続方法は、ご加入のケーブルテレビ局により異なりますので設置、設定、変更などは必ずご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

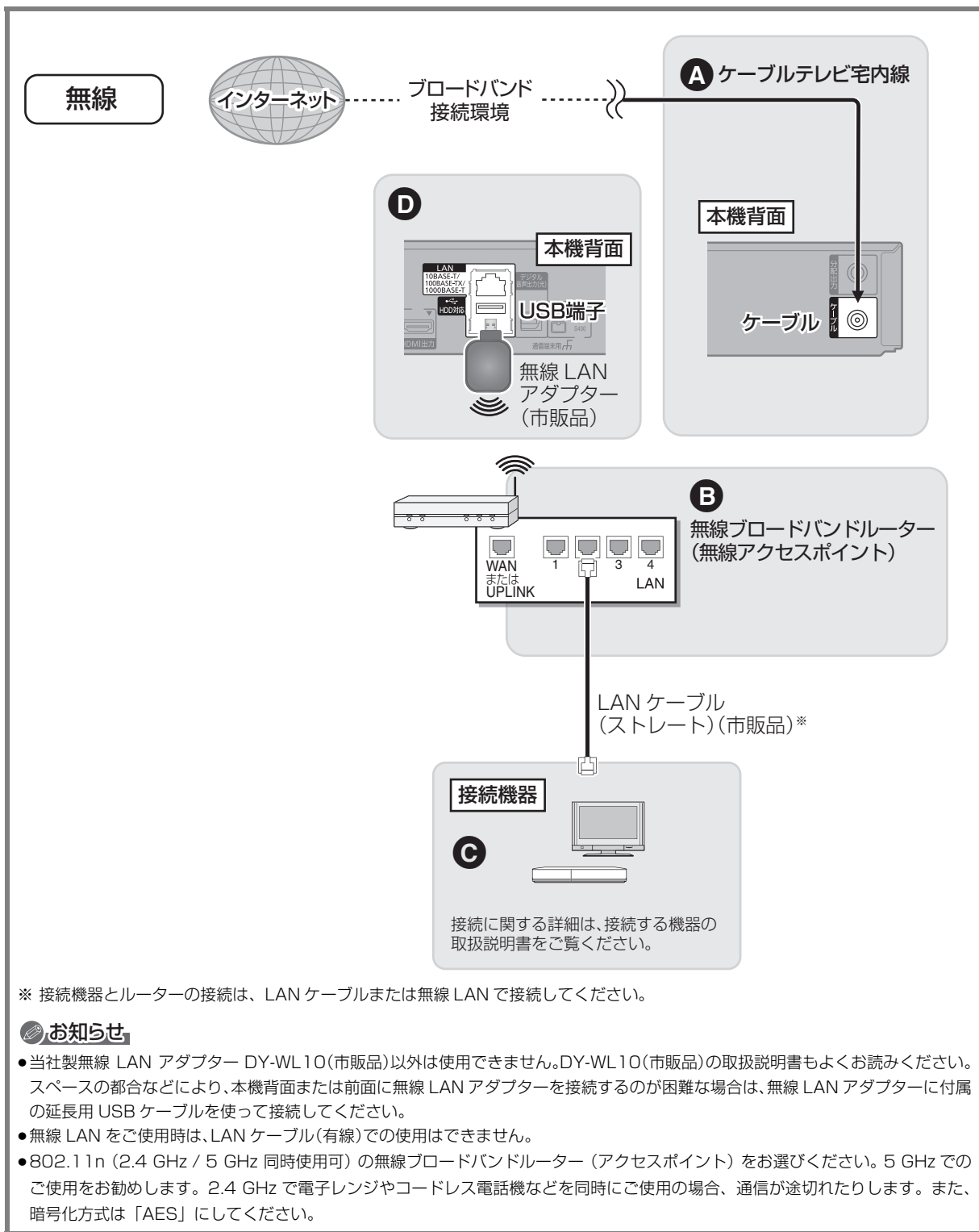
お知らせ

- ハブやルーターを経由せず、本機と各機器を LAN ケーブルで直接接続することもできます。(LANケーブルはストレートとクロスのどちらを使用しても問題ありません)
- カテゴリー5(CAT5)以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- 接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター(アクセスポイント)に接続してください。

LAN ケーブルを使って各機器と接続する

※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

接続／設定

無線 LAN を使って各機器と接続する

当社製無線 LAN アダプター DY-WL10(市販品）が必要です。

※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

お知らせ

- 当社製無線 LAN アダプター DY-WL10（市販品）以外は使用できません。DY-WL10（市販品）の取扱説明書もよくお読みください。スペースの都合などにより、本機背面または前面に無線 LAN アダプターを接続するのが困難な場合は、無線 LAN アダプターに付属の延長用 USB ケーブルを使って接続してください。
- 無線 LAN をご使用時は、LAN ケーブル（有線）での使用はできません。
- 802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。

ネットワーク機能を快適に利用するために

個人情報の取り扱いについて

本機の機能およびサービスを提供するため、機器 ID･機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティー環境のもと、安全に保管･管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために

- 機器パスワードは
  - 他人に見られたり、教えたりしないでください。
  - 第三者が本機の設置･設定を行った場合は、必ず変更してください。
  - 修理依頼する場合は機器パスワードを初期化し(➜158)、再設定してください。
  - 機器を返却する場合は、機器パスワードを初期化してください。
- 当社およびご加入のケーブルテレビ局では、ネットワークのセキュリティーに関する技術情報についてはお答えできません。
- 携帯電話を紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク(SSID※)が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。

  ※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

対応サービスについて

サービスは対応サービス提供者が提供します。

- 本機の接続に必要なインターネット接続機器(ADSLモデム、ルーターやハブなど)や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約･設置･接続･設定作業･通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- 宅外リモート接続機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更･中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社およびご加入のケーブルテレビ局では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社およびご加入のケーブルテレビ局では責任を負いません。
- 本機がお手元にない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティー設定により発生した障害に関して、当社およびご加入のケーブルテレビ局では責任を負いません。また、ルーターの設定･使用方法などに関する問い合わせには、当社およびご加入のケーブルテレビ局ではお答えできません。

接続5 IC カードを挿入する

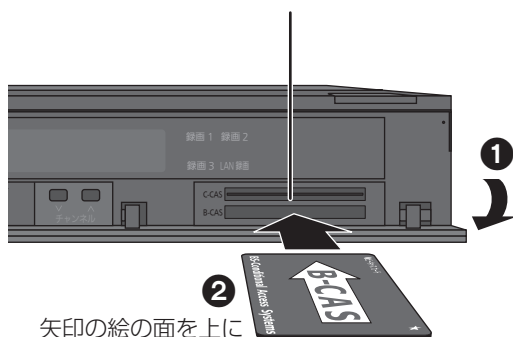
デジタル放送の受信には、本機への
IC カードの常時挿入が必要です。
本機に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴・録画はできません。

●IC カードに記載されている番号は、有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。便利メモ(➜ **裏表紙**)に記入しておいてください。

IC カードの抜き差しについては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談いただき指示に従って操作してください。

電源コードがコンセントに差し込まれていないことを確認してください。

前面のとびらを開け、IC カードを奥まで差し込む

●C-CAS カードは工場出荷時に本機に挿入されています。

●ご使用中は抜き差ししないでください。
視聴できなくなる場合があります。

☞ IC カードのテストをするには(➜137)

☞ IC カードを抜くときは

① 電源コードをコンセントから抜く
② ゆっくりと IC カードを抜く

●IC カードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
●ICカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、IC カードテストを行ってください。

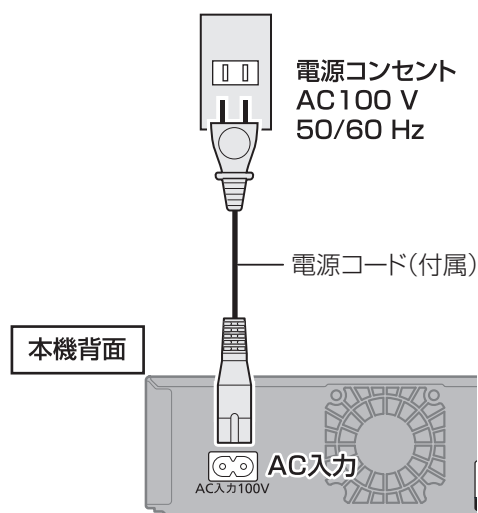
お知らせ

●本機専用のICカード以外は絶対に挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
●裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとIC カードは機能しません。

電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。

電源コードは、本機専用ですので、
他の機器には使用しないでください。
また、他の機器の電源コードを本機に
使用しないでください。

電源を切っていても、デジタル放送からの情報受信や視聴記録の送信を自動的に行っていますので、ICカードの抜き差し時や異常時以外は抜かないでください。

電源を切った状態でも、電力を消費しています。
(電源「切」時の消費電力 ➔194)

設置設定をする

チャンネル設定をする

1 **を押す**

2 **「放送設定」を選び、決定 を押す**
- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **「設置設定」を選び、決定 を押す**

4 **「チャンネル設定」を選び、決定 を押す**

5 **修正したい放送を選び、決定 を押す**
(BS、CATV の場合 ➜135 ページへ)

6 (地上デジタルのみ)
修正する方法を選び、決定 を押す
(➜ 右記または 135 ページへ)

地上デジタル 初期スキャン

受信できる局を自動で探します。

左記手順 1 〜 6 のあと

7 **お住まいの地域を選び、決定 を押す**

8 **設定が終了したら、戻る を押す**

地上デジタル 再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

左記手順 1 〜 6 のあと

7 **設定が終了したら、戻る を押す**

地上デジタル マニュアル

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

Po :「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)

●「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。

●「1」～「36」は「設定チャンネル」(**➜36「表示対象」、148「選局対象」**)を選んだときに選局されるチャンネルです。

CH :テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「ーーーー」の場合、チャンネル設定されていません。

134 ページ手順 1 ～ 6 のあと

7 修正したい行(Po)を選び、決定 を押す

8 表示チャンネル(CH)を修正し、戻る を押す

9 修正が終わったら、戻る を押す

チャンネルの順番を入れ換えるには

① [**緑**] を押す
② 入れ換えをしたい行(Po)を選び、[**決定**] を押す
③ 入れ換え先の行(Po)を選び、[**決定**] を押す
④ 入れ換えが終わったら [**戻る**] を押す

BS、CATV

放送のチャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

BS チャンネル設定

Po	CH	チャンネル	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS1	テレビ
3	103	NHK BS プレミアム	テレビ
4	141	BS 日テレ	テレビ
5	151	BS 朝日 1	テレビ

Po :「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)

●「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。

●「1」～「36」は「設定チャンネル」(**➜36「表示対象」、148「選局対象」**)を選んだときに選局されるチャンネルです。

CH :テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「ーーー」の場合、チャンネル設定されていません。

134 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 修正したい行(Po)を選び、決定 を押す

7 表示チャンネル(CH)を修正し、戻る を押す

8 修正が終わったら、戻る を押す

チャンネルの順番を入れ換えるには

① [**緑**] を押す
② 入れ換えをしたい行(Po)を選び、[**決定**] を押す
③ 入れ換え先の行(Po)を選び、[**決定**] を押す
④ 入れ換えが終わったら [**戻る**] を押す

設置設定をする(続き)

視聴チャンネルを表示させる

番組表の表示やチャンネル選局、お好み選局の表示を視聴しているチャンネルのみ表示させせます。

1 **を押す**

2 「放送設定」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「設置設定」を選び、決定 を押す

4 「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

5 「チャンネル制限」を選び、決定 を押す

6 「制限する」を選び、決定 を押す

7 「はい」または「いいえ」を選び、決定 を押す

●「はい」を選ぶと、今すぐ更新を実施します。
●「いいえ」を選ぶと、電源「切」時に更新します。

8 設定が終了したら、戻る を押す

☞ チャンネル制限設定を元に戻すには
手順 6 で「制限しない」を選ぶ

地域設定を修正する

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

1 操作一覧 を押す

2 「放送設定」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「設置設定」を選び、決定 を押す

4 「地域設定」を選び、決定 を押す

5 「県域設定」を選び、お住まいの都道府県を選ぶ

●「地域設定削除」を選ぶと、工場出荷時の状態に戻ります。
●伊豆、小笠原諸島地域は ➜「東京都島部」
●南西諸島鹿児島県地域は ➜「鹿児島県島部」

6 「郵便番号」を選び、決定 を押す

7 1 〜 10 でお住まいの地域の郵便番号を入力し、決定 を押す

8 「はい」を選び、決定 を押す

B-CAS/C-CAS カードのテストをする

カードを挿入して3秒以上経ってから行ってください。

1 [操作一覧] **を押す**

2 **「放送設定」を選び、[決定] を押す**

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **「設置設定」を選び、[決定] を押す**

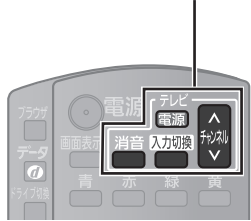
4 **「B-CAS カードテスト」または「C-CAS カードテスト」を選び、[決定] を押す**

- NG の場合、カードの挿入を確認してください。(➜132)

接続／設定

リモコン設定をする

本機のリモコンでテレビを操作する

本機のリモコンでお手持ちのテレビの基本的な操作をすることができます。（電源の入切、テレビ/ビデオの切り換え、チャンネル選局、音量調整）

テレビ電源を押しながら、2 桁の番号（➜ 下記）を

1 ～ 10 を押して入力する

例）01 の場合…[10] → [1] 10 の場合…[1] → [10]
11 の場合…[1] → [1]　12 の場合…[1] → [2]

- リモコンのテレビ操作部のボタンを使って、テレビ操作ができるか確認してください。
- 工場出荷時はパナソニック（新 1）に設定されています。
- 同一メーカーで設定が 2 種類以上ある場合は、動作するほうに設定してください。

メーカー名	番号	メーカー名	番号
パナソニック（新1）	11	三菱（1）	51
パナソニック（新2）	12	三菱（2）	52
パナソニック（旧）	13	三菱（3）	53
パナソニック（新3）	14	三菱（4）	54
パナソニック（新4）	15	富士通ゼネラル（1）	55
ビクター	21	富士通ゼネラル（2）	56
東芝	25	三洋（1）	61
日立（1）	31	三洋（2）	62
日立（2）	32	三洋（3）	63
日立（3）	33	三洋（4）	64
日立（4）	34	NEC（1）	65
SONY（1）	35	NEC（2）	66
SONY（2）	36	AIWA	71
パイオニア	41	FUNAI	72
シャープ（1）	45		
シャープ（2）	46		
シャープ（3）	47		

お知らせ

- 接続したテレビにリモコン機能がない場合は、本機のリモコンでも動作しません。
- 電池の交換などで設定が「パナソニック（新 1）」に戻った場合は、再設定してください。
- 一部動作しない機種もあります。動作しない場合は、テレビに付属のリモコンをご使用ください。
- 当社製テレビの場合、「パナソニック（新 3）」または「パナソニック（新 4）」に設定すると、**[入力切換]** を押すことで入力の切り換えおよびテレビの放送に切り換えができます。切り換えることができない場合やテレビの放送に切り換えたくない場合は、「パナソニック（新 1）」、「パナソニック（新 2）」、「パナソニック（旧）」のいずれかに設定してください。

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

本機の近くに当社製機器があるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

1 **を押す**

2 「初期設定」を選び、[決定] を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「設置」を選び、[決定] を押す

本機側のモードを設定する

4 「リモコンモード」を選び、[決定] を押す

5 「リモコン 2」または「リモコン 3」を選び、[決定] を押す

リモコン側のモードを設定する

リモコンのモードの設定をします。

6 [決定] を押しながら、[1] のあとに続けて [2] または [3] を押す

ここに表示されている数字のボタンを押してください。

リモコンモードの設定
本体側のリモコンモード：リモコン○
次に、リモコン側の設定を行います。
1. リモコンの決定を押しながら
"1"、"○"を押してください。
リモコン側の設定が完了します。
2. 続いて、リモコンを本体に向け、
画面表示が切り換わるまで
決定ボタンを押し続けてください。
（約3秒）

7 リモコンを本体に向けて、[決定] を3秒以上押す

8 [決定] を押す

本体表示窓に"U30"と表示されたとき

本体とリモコンのリモコンモードが合っていないため、操作できません。[**決定**] を押しながら、[**1**] のあとに続けて、表示されたリモコンモード番号の数字ボタンを押してください。

リモコンモード番号

お知らせ

●電池の交換などで設定が「リモコン１」に戻った場合は、再設定してください。(➜177)

接続／設定

ネットワークの設定をする

LAN ケーブルまたは無線 LAN を使ってネットワーク接続するための設定です。

●不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境により、ご利用いただけない場合があります。

1 操作一覧 **を押す**

2 「初期設定」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「LAN 通信設定」を選び、決定 を押す

4 「LAN 接続形態」を選び、決定 を押す

5 「有線」または「無線」を選び、決定 を押す

(➜ 右記または 141 ページへ)

有線で接続する場合

LAN ケーブルで接続する場合、「接続テスト」を行って、ネットワークの接続・設定が正常か確認してください。

左記手順 1 ～ 5 のあと

6 「IP アドレス /DNS 設定」を選び、決定 を押す

7 「接続テスト」を選び、決定 を押す

●「NG」が表示された場合、ネットワークの接続 (➜128)と「IP アドレス /DNS 設定」(➜157)を確認してください。

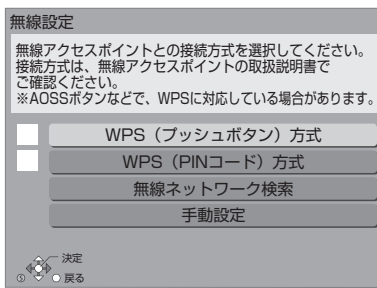
無線で接続する場合

当社製無線 LAN アダプター DY-WL10(市販品）が必要です。

140 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 「無線設定」を選び、決定 を押す

7 「接続設定」を選び、決定 を押す

8 接続方法を選び、決定 を押す

無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)が WPS(Wi-Fi Protected Setup™)に対応している場合は、「WPS(プッシュボタン)方式」を選ぶと、簡単に設定することができます。
対応していない場合、「無線ネットワーク検索」を選び、設定してください。

9 画面に従って、設定を行う

- WPSとは、無線LAN機器との接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お持ちの無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)が対応しているかどうかは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本機とネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
- 2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。5 GHz をお使いください。
- 無線設定の画面で「電波状態」のインジケーターが 4 つ以上点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線LANアダプターまたは無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、LAN通信設定を再度行ってください。
- お部屋ジャンプリンク機能(**➔142**)をご利用になるには、802.11n(5 GHz)をお使いの上、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の取扱説明書をご覧ください。
- 暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするおそれがありますので、十分お気をつけください。

ネットワーク連携する機器の設定をする

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境により、ご利用いただけない場合があります。

DLNA 対応の機器 / ビエラなどと接続する

お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定

1 [操作一覧] **を押す**

2 **「初期設定」を選び、[決定] を押す**
- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **「LAN 通信設定」を選び、[決定] を押す**

4 **「お部屋ジャンプリンク (DLNA) 設定」を選び、[決定] を押す**

5 **「お部屋ジャンプリンク機能」を選び、[決定] を押す**

6 **「入」を選び、[決定] を押す**
- レート変換モードの設定画面が表示される場合があります。(➜ 右記)
- 「クイックスタート」(➜151)が「入」に固定され、待機時の消費電力が増えます。
- 無線接続で無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)との通信が暗号化されていない場合、「入」に設定できません。

7 **「アクセス許可方法」を選び、[決定] を押す**

8 **「手動」または「自動」を選び、[決定] を押す**
- 「自動」の場合、本機にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。
  (「手動」から「自動」に変更する場合、メッセージが表示されます。メッセージを確認したあと、「はい」を選んで[決定]を押してください。)
- 「手動」の場合(➜ 右記手順 9 へ)

左記手順 8 で「手動」を選んだ場合

9 **「機器一覧」を選び、[決定] を押す**

10 **アクセスを許可したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、[決定] を押す**

11 **「アクセス許可」を選び、[決定] を押す**
- 最大 16 台まで登録できます。

☞ 登録している機器のアクセス許可を取り消すには(「アクセス許可方法」が「手動」の場合のみ)

① 手順 10 で、取り消したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、[決定] を押す
② 「アクセス許可取消」を選び、[決定] を押す
- 「自動」の場合、機器ごとにアクセス許可を取り消すことはできません。手順8で「手動」を選んだあと、上記手順で機器ごとに取り消し操作を行ってください。

☞「レート変換モード」を変更するには

映像が途切れたり停止するのを改善するには、「オート」または「入」に設定してください。

① 手順 4 のあと「レート変換モード」を選び、[決定] を押す
② 「オート」「入」または「切」を選び、[決定] を押す

☞ 接続した機器側で表示される本機の名前を変更するには

① 手順4のあと「本機の名称」を選び、[決定]を押す
② 項目を選び、[決定] を押す
- 一覧から選んで変更:あらかじめ登録されている名前から選びます。
- 文字入力して変更:文字入力画面から入力します。(➜122)

☞ お部屋ジャンプリンク機能を使用しないときは

手順 6 で「切」を選ぶ
- 登録している機器からの操作はできなくなります。

お知らせ

- ビエラなどからダビングをする場合、その機器をアクセス許可の状態にしてください。機器側の設定は、各機器の取扱説明書をご覧になって行ってください。

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境により、ご利用いただけない場合があります。

携帯電話と接続する

宅外リモート接続設定

宅外リモート接続機能をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。

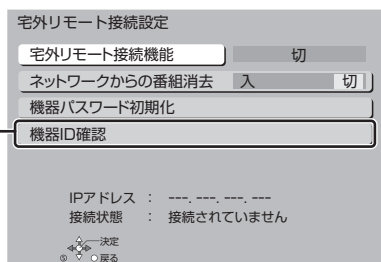
1 **を押す**

2 「初期設定」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「LAN 通信設定」を選び、決定 を押す

4 「宅外リモート接続設定」を選び、決定 を押す

5 「宅外リモート接続機能」を選び、決定 を押す

機器 ID :

宅外リモート接続機能を使ってインターネット経由で携帯電話から操作するとき、機器を特定するための番号です。

6 「入」を選び、決定 を押す

「接続されていません」が表示されているとき

ネットワークの接続(➜128)、「IPアドレス / DNS 設定」(➜157)を確認してください。

機器パスワードを初期化するには

① 手順４のあと「機器パスワード初期化」を選び、[決定] を押す

② 「する」を選び、[決定] を押す

接続／設定

ネットワーク連携する機器の設定をする(続き)

ドアホン・センサーカメラと接続する

ドアホン・センサーカメラの接続設定

ドアホンやセンサーカメラの映像を、本機で録画するための設定です。

手順 4 から 8 の間で登録する機器を登録モードにしてください。機器によって登録モードにする方法は異なりますので、必ず登録する機器の取扱説明書をご覧ください。

1

を押す

2 「初期設定」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「LAN 通信設定」を選び、決定 を押す

4 「ドアホン・センサーカメラの接続設定」を選び、決定 を押す

5 「ドアホン・センサーカメラ接続」を選び、決定 を押す

6 「入」を選び、決定 を押す

- 「ドアホン・センサーカメラ接続」の設定を「入」にすると、HDD にドアホンやセンサーカメラの映像を録画するための領域が確保されます。一度「入」にすると、「HDD のフォーマット」(➜153)をしないかぎり、「切」にしても、HDD の領域は確保されたままです。
- メッセージを確認したら、[**戻る**] を押してください。

7 「〈新規登録〉」を選び、決定 を押す

8 「する」を選び、決定 を押す

- 登録が正しく完了したら“登録が完了しました。”と表示されます。
- ドアホンやセンサーカメラは最大５台まで登録できます。

☞「ドアホン・センサーカメラ接続」からの録画を解除するには

手順 6 で「切」を選ぶ

- 手順 4 のあと「ドアホン録画」または「センサーカメラ録画」を選び、「しない」を選ぶと、ドアホン単位またはセンサーカメラ単位で設定を解除できます。

☞ 登録機器の詳細情報を確認するには

手順 4 のあと「機器一覧」から情報を知りたい機器を選び、[**決定**] を押す

- 「機器のページ」では、登録している機器の設定画面が表示されます。
  詳しい操作方法は各機器の取扱説明書をご覧ください。

☞ 機器の登録を削除するには

① 手順 4 のあと「機器一覧」から削除したい機器を選び、[**決定**] を押す
② 「登録削除」を選び、[**決定**] を押す
③ 「する」を選び、[**決定**] を押す

☞ 機器の登録ができない場合は

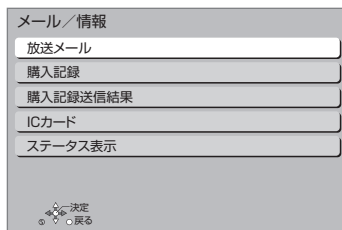
- 本機と各機器の接続を確認し、登録したい機器を再起動してから、再度設定を行ってください。
- 本機の電源を入れた直後に操作をすると、登録できない場合があります。その場合は、約３分待って、操作を行ってください。(登録する機器が登録モードになったのを確認してから手順 8 を行ってください)

いろいろな情報を見る（メール / 情報）

1 [操作一覧] **を押す**

2 「メール / 情報」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 項目を選び、[決定] を押す

放送メール

ご加入のケーブルテレビ局や本機からのお知らせや情報を見ることができます。

確認したいメールを選び、 **を押す**

お知らせ

- IC カードが挿入されていないと、メールを受信できない場合があります。
- メールの内容に合わせて、ボタンが表示されることがあります。選んで決定すると、関連画面を表示します。
- インターネットメールではありません。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。
- 放送メールには、ご加入のケーブルテレビ局からのお知らせ（最大31通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の1通のみ保存）などがあります。

購入記録

購入した有料番組を確認できます。

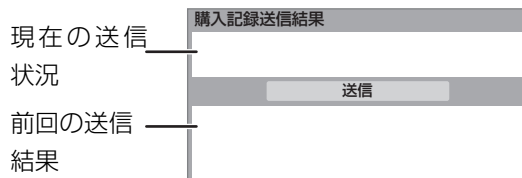
- 表示される金額は参考金額です。価格改定などにより、請求金額とは異なる場合があります。

累計金額をリセット（0円に戻す）するには

① [**黄**] を押して、リセット画面を表示させる
② 「はい」を選び、[**決定**] を押す

購入記録送信結果

有料番組の購入記録、データ放送の送信記録などを確認します。

- 前回の送信結果で再送信が可能であれば、その旨表示します。このときは、[**決定**] を押すと再送信されます。
- 通常は自動送信されます。

IC カード

B-CASカードやC-CASカードの番号などを確認できます。

☞ その他の情報を見るには

- ●[赤]:C-CAS カード情報を表示
- ●[緑]:CATV-ID 情報を表示

ステータス表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

☞ その他の情報を見るには

- ●[青]：本機のソフト情報を表示
- ●[赤]：データ放送時のルート証明書情報を表示

●放送を視聴中に**[操作一覧]**を 5 秒以上押してステータスを表示することもできます。

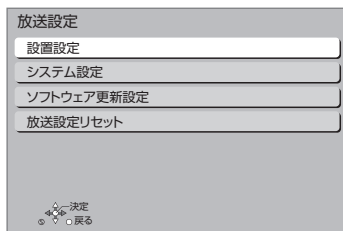
放送設定を変える（放送設定）

1 （操作一覧）**を押す**

2 「放送設定」を選び、（決定）を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 メニューを選び、（決定）を押す

4 設定項目を選び、（決定）を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 設定内容を変更する

設置設定

【 】は工場出荷時の設定です

チャンネル設定（➜134）

番組表設定

G ガイド地域設定

番組表の設定地域を確認できます。

●通常は変更しないでください。

G ガイド受信確認

番組表の受信スケジュールを確認できます。

通信による G ガイド受信 【切】

「入」に設定すると、1 ヵ月の番組表や注目番組を取得することができます。

●番組表は、インターネットを利用して取得します。そのためネットワークの接続と設定が必要です。

●「入」にすると、常時接続状態になります。

●1 ヵ月の番組表の取得やフリーワード検索などの検索には、時間がかかります。

●2013 年 12 月現在、インターネットから番組情報を取得できる放送局は NHK、WOWOW のみです。

地域設定（➜136）

県域設定

郵便番号

地域設定削除

C-CAS カードテスト（➜137）

B-CAS カードテスト（➜137）

接続／設定

放送設定を変える（放送設定）(続き)

システム設定　【 】は工場出荷時の設定です

字幕設定

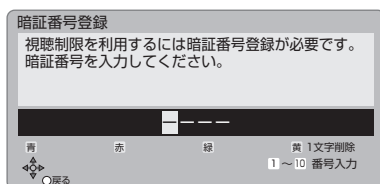
デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。

XP、SP、LP、EP、FR モードで録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。

設定しても番組によって無効になる場合があります。

項目	設定
字幕	【切】
字幕言語	【日本語】
文字スーパー	【切】
文字スーパー言語	【日本語】

制限項目設定

- 視聴制限のある番組の視聴できる年齢や購入金額の上限やブラウザ表示の制限を設定できます。
- 上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。
- 年齢制限を超える番組は、番組表などで「･･･」と表示されます。

画面の指示に従って [1] ～ [10] を押し、暗証番号を入力する

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。

視聴可能年齢　【17 歳】

一番組限度額　【無制限】

ブラウザ制限　【しない】

インターネットを利用するとき（[ブラウザ] を押したとき）、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。

制限解除有効期限　【選局まで】

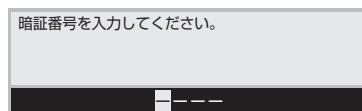
チャンネルスキップ設定

視聴できるチャンネルを制限することができます。

- [決定] を押して選んだチャンネルは選局できなくなります。（番組表にも表示しません）
- スキップ設定したチャンネルを選び [決定] を押すと、スキップ設定を解除します。
- [青] を押すと、スキップ設定を一時解除します。（電源切まで）
- [黄] を押すと、スキップチャンネルのみの表示に切り換わります。

暗証番号変更

暗証番号削除

設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

- 暗証番号を入力すると、番組が映ります。

選局対象　【すべて】

デジタル放送で [チャンネル ∧,∨] を押して順送りできるチャンネルを設定できます。

- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを選局します。番組表の表示では枝番号の表示をしないようになります。

二重音声設定　【主】

二重音声の設定ができます。

電源を「切」「入」したときに放送が二重音声の場合、設定した音声になります。

選局入力方式　【3 桁入力】

チャンネルを選ぶとき、3 桁のチャンネル番号を入力して選ぶ（「3 桁入力」）か、数字ボタンに割り当てられたチャンネル番号を選ぶ（「プリセット」）かを設定します。

チャンネルアップダウン　【シームレス】

[チャンネル ∧,∨] を押して順送りする方法を設定します。

- 「シームレス」は、地上デジタル放送、BS デジタル放送、CATV デジタル放送などの各放送をまたいで選局します。
- 「ネットワーク」は、地上デジタル放送、BS デジタル放送、CATV デジタル放送などの各放送内で選局します。

ソフトウェア更新設定　【 】は工場出荷時の設定です

ダウンロード予約　【自動】

ご加入のケーブルテレビ局からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。(➜160)

- 「自動」にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
- 「手動」にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。(➜145「放送メール」)

放送設定リセット

個人情報リセット

初期設定と放送設定の項目を工場出荷時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、予約内容も消去します。ケーブルテレビ局への返却などで本機の使用を中止される場合以外には、実行しないでください。

お知らせ

- 双方向データ放送やブラウザでのサービスをご利用の場合、本機からの操作により、ケーブルテレビ局や放送局、インターネットのホームページに登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDDやUSB-HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」(➜153) や「USB-HDDのフォーマット」(➜153) を行ってください。

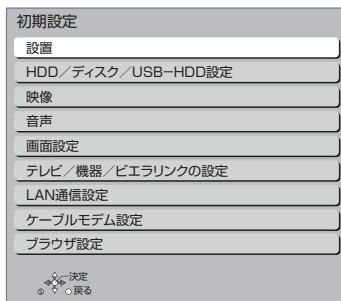
本機の設定を変える（初期設定）

1 操作一覧 **を押す**

2 **「初期設定」を選び、決定 を押す**

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **メニューを選び、決定 を押す**

4 **設定項目を選び、決定 を押す**

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 **設定内容を変更する**

設置

【 】は工場出荷時の設定です

自動電源〔切〕 【6 時間】

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから 3時間後、6時間後または 12時間後に、電源が切れます。

リモコンモード（➜139） 【リモコン 1】

音声ガイドの設定

番組表の内容や録画一覧、選局時、エラーメッセージなどを音声や操作音でお知らせします。

●実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。

●「音声ガイド機能」を「入」に設定すると、「デジタル出力」（➜154）は自動的に「PCM」になります。（「切」に戻しても「PCM」のままです）

音声ガイド機能 【切】

読み上げ音量

読み上げ速度

クイックスタート設定／本体時計表示

クイックスタート 【入】

「入」にすると、電源「切」状態からの起動を高速化します。(テレビの種類によっては、表示が遅れることがあります)

- ●待機時消費電力は増えます。
- ●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ(1週間に1回程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません)
- ●以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」に固定になります。
  - ·「宅外リモート接続機能」(➜158):「入」
  - ·「お部屋ジャンプリンク機能」(➜158):「入」
  - ·「ドアホン・センサーカメラ接続」(➜158):「入」

「切(時計表示無し)」にすると、電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

クイックスタートモード 【標準】

クイックスタート(➜上記)が「入」時の設定をします。

- ●「標準」の場合
  - ·無信号自動オフ機能が働かない場合があります。
  - ·電源「切」時に本体表示窓が点灯します。
- ●「省エネ(時計表示無し)」の場合
  - ·「標準」より起動が遅くなりますが、待機時の消費電力は少なくなります。
  - ·電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

初期設定リセット

設定を工場出荷時の設定に戻します。
ただし、以下の設定は戻りません。

- ·DVD-Video の視聴制限
- ·BD-Video の視聴可能年齢
- ·USB-HDD の登録
- ·LAN 接続形態
- ·無線設定
- ·IP アドレス /DNS 設定
- ·ブラウザ設定
- ●本体側の「リモコンモード」も工場出荷時の設定(リモコン1)に戻ります。リモコンが働かなくなった場合(本体表示窓に“U30”と表示)、リモコンモードを変更してください。(➜173)

ソフトウェア更新(ネットワーク)

本機をインターネット接続している場合、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

- ●更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。
  - ·本機の電源を切る
  - ·電源プラグをコンセントから抜く
- ●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境により、ご利用いただけない場合があります。

HDD/ ディスク /USB-HDD 設定

【 】は工場出荷時の設定です

再生設定（再生専用ディスク）

DVD-Video の視聴制限※1 【8 すべて視聴可】

DVDビデオの視聴制限ができます。

制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

BD-Video の視聴可能年齢※1 【無制限】

BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。

年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

- 「年齢入力」を選んで［決定］を押すと、［1］〜［10］で年齢を入力できます。

BD-Live インターネット接続※1 【有効（制限付き）】

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

3D ディスクの再生方法 【3D 再生】

3D ディスクの再生方法を選びます。

BD-Video の 2D → 3D 変換モード 【モード 1】

3D 変換中の表示方法を選びます。

- 「モード 1」の場合は、副映像を表示できません。

音声言語※2 【日本語】

再生時の音声を選びます。

- 「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語※2 【オート】

再生時の字幕言語を選びます。

- 「オート」は、「音声言語」の言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語※2 【日本語】

テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード 【切】

BD-RE　BD-R　RAM(AVCREC)　-R(AVCREC)

ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。

- 「入」はハイビジョン動画（AVCHD）を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

記録設定

ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定

二重音声記録時の音声選択 【主音声（L/R)】

二重音声（二ヵ国語）番組を録画やダビングする場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

480i の映像をハイビジョン画質で記録する場合のアスペクトを設定します。

DVD-Video 記録の設定 -R(V)　-RW(V)

二重音声記録時の音声選択 【主音声（L/R)】

二重音声（二ヵ国語）番組を記録する場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

記録時のアスペクトを設定します。

高速ダビング速度 【最高速モード】

高速モードでのダビング速度を設定します。

（高速記録対応ディスクの場合など）

自動チャプター 【入】

デジタル放送録画時に CM などで自動的にチャプターを作成する設定をします。

- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

持ち出し番組の VGA 画質 【モード 1】

「持ち出し方法」を「SD/USB 経由」、「持ち出し番組の画質」を「高画質（VGA）」に設定して作成する場合に、記録する画質（1.5 Mbps/1.0 Mbps）を変更します。

MP4 取り込み画質 【高画質モード】

本機に MP4 を取り込むときの画質を設定します。

HDD 設定

HDD 管理

全番組消去

番組をすべて消去します。

全写真消去

写真をすべて消去します。

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

USB-HDD 設定

USB-HDD の登録（➜165）

市販の USB-HDD を登録します。

USB-HDD の取り外し（➜164）

市販のUSB-HDDを本機から取り外す前に行います。

お願い

この操作を行わずに USB-HDD を取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。取り外す前に必ず行ってください。

USB-HDD 管理

全番組消去

番組をすべて消去します。

USB-HDD のフォーマット

市販の USB-HDD の初期化を行います。

すべての USB-HDD 登録の取り消し（➜165）

登録されているすべてのUSB-HDDの登録を取り消します。

※1　暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1] ～ [10] で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。

暗証番号は忘れないでください。

※2　「その他＊＊＊＊」の場合、＊には [1] ～ [10]で言語番号（➜160）を入力してください。

選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

映像

【 】は工場出荷時の設定です

スチルモード　【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

●「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。

●「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生　【入】

部分消去した部分などをなめらかに再生します。

●「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

音声 【 】は工場出荷時の設定です

音声のダイナミックレンジ圧縮 【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
Dolby® Digital、Dolby® Digital Plus、
Dolby® TrueHD に有効
●「オート」は、Dolby® TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

デジタル出力

Dolby D/Dolby D +/Dolby TrueHD 【PCM】
DTS/DTS-HD 【PCM】
AAC 【PCM】
音声の出力方法を選びます。
●出力される音声については、「デジタル出力される音声と接続･設定の関係」(➜199)をご覧ください。
●正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

BD ビデオ副音声・操作音（副音声を含む BD-V） 【入】

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。

PCM ダウンサンプリング変換 【切】

サンプリング周波数96 kHzで収録された音声を48 kHzに変換する（「入」）かしない（「切」）かを選びます。
●96 kHzに非対応の機器に接続時は「入」を、対応した機器に接続時は「切」にしてください。
●以下の場合、48 kHzに変換されます。
･ BD-V 「BD ビデオ副音声･操作音」(➜上記) :「入」
･ BD-V 192 kHz 以上の信号
･著作権保護処理がされているディスク

ダウンミックス 【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。
●「デジタル出力」（➜上記）が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。
●2 チャンネルからマルチ･チャンネル･サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
●以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。
･ AVCHD 再生時
･ BD-V 副音声や操作音を含んでの再生時

音声ディレイ 【0 ms】

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

画面設定 【 】は工場出荷時の設定です

画面表示動作〔オート〕 【入】

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能 【入】

通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。
「入」に設定すると、以下のような動作を行います。
●10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。
●黒帯部分を明るくします。
［「HDMI出力解像度」(➜156) が「480p」以外のとき］

本体表示窓の明るさ 【電源連動】

本体表示窓の明るさを調節します。
●「電源連動」は、電源「入」時は明るくなり、電源「切」時は暗くなります。
●電源「切」時の時刻表示は、「クイックスタート」、「クイックスタートモード」の設定に従って点灯・消灯します。(➜151)

テレビ / 機器 / ビエラリンクの設定

【 】は工場出荷時の設定です

3D 設定

3D 方式設定 【フル HD】

接続しているテレビの方式に設定します。

●「サイドバイサイド」の場合、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。

3D 番組の出力方法 【3D】

3D 番組を 2D 再生します。

3D 再生時の注意表示 【入】

3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

ビエラリンク設定

ビエラリンク制御 【切】

ビエラリンク（HDMI）に対応した機器と HDMI 端子で接続時、連動操作の設定をします。

電源オフ連動 【切】

ビエラと本機の電源を連動するように設定します。

ビエラリモコンで操作 【切】

ビエラのリモコンで本機を操作するかどうかの設定をします。

オートサウンド連携 【切】

ビエラリンク（HDMI）Ver. 3 以降に対応したビエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り換えます。

ECO スタンバイ 【切】

ビエラリンク（HDMI）Ver. 4 以降に対応したビエラと接続時、ビエラの電源「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。

●「入」に設定すると、ビエラの電源「切」時に、「クイックスタート」（➜151）が「切（時計表示無し）」のときと同じように動作します。
ビエラの電源「入」時には、上記の設定は実際の設定どおりに動作します。

TV アスペクト 【16:9】

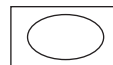
アスペクト比が 4：3 の映像の表示方法を設定します。

16：9　：ワイドテレビに接続しているとき

4：3 の映像は、左右に黒帯を付加して表示

16：9 フル：ワイドテレビに接続していて、左右の黒帯をなくして表示したいとき

4：3 の映像は、画面いっぱいに拡大して表示

接続／設定

HDMI 接続

HDMI 出力解像度 【オート】

接続した機器が対応している項目に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

① ［決定］と［青］と［黄］を同時に 5 秒以上押す
　・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで［▶］を数回押す
③ ［決定］を 3 秒以上押す
　・「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。

●「720p」の場合、720p の映像以外は、1080i で出力されます。

24p 出力 【切】

［「HDMI 出力解像度」(➜上記) が「オート」または「1080i」、「1080p」のときに有効です］

BD-V AVCHD 映画など24p記録された素材を24p出力します。

●24p以外の素材は BD-V AVCHD の場合60iまたは60p で出力されます。

DVD-V や録画した番組を 24p 出力するには、この設定を「入」にして、「プログレッシブ処理」(➜67) を「24p」にしてください。

HDMI RGB 出力レンジ 【スタンダード】

RGB入力のみに対応した機器（DVI機器など）との接続時に有効

HDMI 音声出力 【入】

●デジタル音声端子でアンプなどに接続しているときのみ、「切」にしてください。

Deep Color 出力 【オート】

Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

7.1ch 音声リマッピング BD-V 【オート】

6.1チャンネル以下のサラウンド音声を自動的に7.1チャンネルに拡張して再生します。

●以下の場合に有効
　・接続する機器が 7.1 チャンネル･サラウンドに対応している場合
　・「デジタル出力」(➜154) が「PCM」の場合
　・音声が Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD または LPCM のとき

●「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。（6.1チャンネルの場合は 5.1チャンネルで再生します）

●DTS 音声は「切」にしても、DTS, Inc. の仕様により 7.1 チャンネルに拡張して再生します。

コンテンツタイプフラグ 【オート】

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

LAN 通信設定

【 】は工場出荷時の設定です

基本設定

有線LANまたは無線LANを使ってネットワーク接続するための設定です。

●無線 LAN で接続するには、当社製無線 LAN アダプター DY-WL10(市販品）が必要です。

●不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

LAN 接続形態 【有線】

ネットワーク接続の方法を選びます。

無線設定

無線接続時の設定をします。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

●「LAN 接続形態」（➜ 上記）が「無線」時のみ有効

接続設定

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との接続を行います。

●「LAN 接続形態」（➜ 上記）が「無線」時のみ有効

倍速モード設定（2.4GHz）

無線方式が2.4 GHzの場合、通信速度を設定します。

●「LAN 接続形態」（➜ 上記）が「無線」時のみ有効

●「倍速モード（40 MHz）」で通信を行うと、2 チャンネル分の周波数帯域で高速に通信します。ただし、電波干渉が起こりやすくなるおそれがあります。そのため、通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

IP アドレス /DNS 設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

●ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス /DNS 設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。

●「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。

●「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得 【する】

通常は「する」を選んでおいてください。

IP アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP※サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。

●「IP アドレス自動取得」（➜左記）を「しない」にしたあと設定します。

●パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

●LAN通信設定のIPアドレスには、ケーブルモデム設定の IP アドレスと異なる IP アドレスグループの設定が必要です。

※ サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得 【する】

通常は「する」を選んでおいてください。

プライマリ DNS
セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

●「DNS-IP 自動取得」（➜上記）を「しない」にしたあと設定します。

●パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

表示される番号は、「LAN 接続形態」（➜左記）の設定によって、以下のようになります。

●「有線」: 背面の LAN 端子に割り当てられた番号

●「無線」: 当社製無線LANアダプター DY-WL10（市販品）に割り当てられた番号

宅外からの操作設定

宅外リモート接続設定（➜143）

宅外リモート接続機能 【切】
●「入」にすると、「クイックスタート」（➜151）は自動的に「入」になります。

ネットワークからの番組消去 【切】

機器パスワード初期化

機器 ID 確認

宅内ネットワーク設定

お部屋ジャンプリンク（DLNA）設定（➜142）
この設定は変更できない場合があります。

お部屋ジャンプリンク機能 【切】
●「入」にすると、「クイックスタート」（➜151）は自動的に「入」になります。

本機の名称

アクセス許可方法 【自動】

レート変換モード 【切】

画質モード 【4 倍録画質】
●「レート変換モード」（➜上記）が「オート」または「入」時のみ有効。

機器一覧

家じゅう録画一覧設定

家じゅうラベルの表示 【切】
●「入」にすると、録画一覧に「家じゅう」ラベルを表示し、接続機器の録画番組の情報を HDD に書き込みます。（HDD が容量不足の場合、「入」にはできません）

自動更新 【入】
●「入」にすると、録画一覧の「家じゅう」ラベルの情報を自動で更新します。
（更新は 1 日に 1 回程度、電源「切」時に行います）

接続する機器一覧
●「家じゅう」ラベルで番組情報を表示する機器を設定します。

録画番組の情報を消去
●「家じゅう」ラベルに表示されている録画番組の情報や接続する機器一覧の情報を消去します。

ドアホン・センサーカメラの接続設定（➜144）

ドアホン・センサーカメラ接続 【切】
●「入」にすると、「クイックスタート」（➜151）は自動的に「入」になります。

ドアホン録画
センサーカメラ録画

機器一覧

ケーブルモデム設定

【 】は工場出荷時の設定です

ケーブルモデムからネットワークに正しく接続できるかの確認とケーブルモデムの情報を確認します。

IP アドレス /DNS 設定

この設定は変更できない場合があります。

接続テスト

IP アドレス自動取得 【する】

IP アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス

DNS-IP 自動取得 【する】

プライマリ DNS
セカンダリ DNS

MAC アドレス

ケーブルモデム情報表示

内蔵ケーブルのモデム情報を確認することができます。

MAC アドレス

ソフトウェアバージョン

ダウンストリーム周波数

ダウンストリーム受信レベル

ダウンストリーム SNR

アップストリーム周波数

アップストリーム送信レベル

ケーブルモデム電源連動 【しない】

本機と内蔵ケーブルモデムの電源入･切を連動させるかどうかの設定をします。

この設定は、変更できない場合があります。

- 「しない」にすると、本機の電源「切」時に内蔵のケーブルモデムは電源「入」のままになります。
  消費電力は増えますが、電源「入」時にブラウザの起動が早くなります。

ブラウザ設定

【 】は工場出荷時の設定です

本機のブラウザ機能でホームページを正しく表示させるための設定です。

ご加入のケーブルテレビ局からの指定があるときのみ、設定が必要です。

プロキシアドレス

プロキシポート番号 【0】

ホームアドレス 【http://www.jcom.tv/】

接続テスト

接続／設定

ソフトウェアの更新について

本機は以下の方法でソフトウェアの更新を行うことができます。

オンエアーダウンロード

電源「切」の状態で、ご加入のケーブルテレビ局から送られてくる情報を本機に取り込むことにより、自動的に本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。

- 工場出荷時は、本機が更新を自動で行う設定になっています。**(➜149「ソフトウェア更新設定」)**

ネットワークからのダウンロード

本機をネットワーク接続している場合、インターネットを利用して、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

[➜151「ソフトウェア更新（ネットワーク）」]

ソフトウェアのダウンロード実行中は、本体表示窓が以下のように表示します。

例）オンエアーダウンロードによる更新の実行中

例）ネットワークからのダウンロードによる更新の実行中

UPD 1/5

- “1/5” などは進行状況です。
- “5/5” まで表示したあと表示が消えるまで、本機を操作できません。

お知らせ

- ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、**絶対に電源コードを抜かないでください。**

言語番号一覧　「再生設定（再生専用ディスク）」の言語選択時に使用します。**(➜152)**

アイスランド 7383	オランダ 7876	ジャワ 7487	ドイツ 6869	ベンガル（バングラ） 6678
アイマラ 6589	カザフ 7575	スウェーデン 8386	ナウル 7865	ペルシャ 7065
アイルランド 7165	カシミール 7583	スペイン 6983	日本語 7465	ポーランド 8076
アゼルバイジャン 6590	カタロニア 6765	スロバキア 8375	ネパール 7869	ポルトガル 8084
アッサム 6583	ガリチア 7176	スロベニア 8376	ノルウェー 7879	マオリ 7773
アファル 6565	韓国（朝鮮）語 7579	スワヒリ 8387	ハウサ 7265	マケドニア 7775
アフリカーンス 6570	カンナダ 7578	スンダ 8385	ハンガリー 7285	マダガスカル 7771
アブハジア 6566	カンボジア 7577	ズールー 9085	バシキール 6665	マライ（マレー） 7783
アムハラ 6577	キルギス 7589	セルビア 8382	バスク 6985	マラッタ 7782
アラビア 6582	ギリシャ 6976	セルボクロアチア 8372	パシュト 8083	マラヤーラム 7776
アルバニア 8381	クルド 7585	ソマリ 8379	パンジャブ 8065	マルタ 7784
アルメニア 7289	クロアチア 7282	タイ 8472	ヒンディー 7273	モルダビア 7779
イタリア 7384	グアラニー 7178	タガログ 8476	ビハール 6672	モンゴル 7778
イディッシュ 7473	グジャラト 7185	タジク 8471	ビルマ 7789	ヨルバ 8979
インターリングア 7365	グリーンランド 7576	タタール 8484	フィジー 7074	ラオ 7679
インドネシア 7378	グルジア 7565	タミル 8465	フィンランド 7073	ラテン 7665
ウェールズ 6789	ケチュア 8185	チェコ 6783	フェロー 7079	ラトビア（レット） 7686
ウォロフ 8779	ゲール（スコットランド） 7168	チベット 6679	フランス 7082	リトアニア 7684
ウクライナ 8575	コーサ 8872	中国語 9072	フリジア 7089	リンガラ 7678
ウズベク 8590	コルシカ 6779	ティグリニア 8473	ブータン 6890	ルーマニア 8279
ウルドゥー 8582	サモア 8377	テルグ 8469	ブルガリア 6671	レトロマンス 8277
ヴォラピュック 8679	サンスクリット 8365	デンマーク 6865	ブルターニュ 6682	ロシア 8285
英語 6978	ショナ 8378	トウイ 8487	ヘブライ 7387	
エストニア 6984	シンド 8368	トルクメン 8475	ベトナム 8673	
エスペラント 6979	シンハラ 8373	トルコ 8482	ベロルシア（白ロシア） 6669	
オーリヤ 7982		トンガ 8479		

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

BD ビデオ 	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク（リージョンコード）が表示されたディスクを再生できます。	「A」または「A」を含むもの 例） ●リージョンコードは国により違います。
DVD ビデオ 	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。	「2」（または「2」を含むもの）、「ALL」が表示されたもの 例） ●番号は国により違います。
CD 	**音楽や音声が記録された市販ソフト** （CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む） **写真が記録された CD-R や CD-RW（JPEG フォーマット記録ディスク）**	
+R +R DL（片面2層） +RW	**他機器で番組やハイビジョン動画（AVCHD）、写真（JPEG）を記録したディスク** ●録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます。 ●編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。	
DVD-RAM DVD-R DVD-RW	**他機器でハイビジョン動画（AVCHD）を記録したディスク** ●編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。 **-R -RW 写真（JPEG）を記録したディスク**	

●記録状態によって再生できない場合があります。
●CD-DA規格に準拠していないCD（コピーコントロールCDなど）は、動作および音質の保証はできません。
●8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。
●本機では、「RAM 2」マークの付いた DVD-RAM ディスク（6X 以上の 高速記録対応）の記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

●カートリッジから取り出せない DVD-RAM（TYPE1）
●BD-RE（Ver.1.0）
●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R（ビデオ方式）、DVD-R DL（ビデオ方式）、DVD-RW（ビデオ方式）
●HD DVD ●ビデオCD ●SACD ●SVCD ●DVDオーディオ
●Photo-CD ●パソコンやゲームのソフト　など

SD カードについて

本機で使えるカード

SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB）
（miniSD メモリーカード、microSD メモリーカードを含む）
SDHC メモリーカード（4 GB ～ 32 GB）
（microSDHC メモリーカードを含む）
SDXC メモリーカード（48 GB、64 GB、128 GB）
（microSDXC メモリーカードを含む）

- 本書では上記カードのことを「SD カード」と記載しています。
- mini タイプ、micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- SD カードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。（➜118）
- **SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。（SDHC メモリーカードは SDXC メモリーカード対応機器でも使用できます）**
  非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。
- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。（2013 年 12 月現在）**
  http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。
- 動画（AVCHD、MP4、MPEG2）の取り込み（➜89 ～ 93）や再生（➜55）
- 録画した番組の持ち出し（➜105）
- 写真の再生（➜97）や取り込み（➜100）

お知らせ
- パソコンを使ってコピーや編集をした動画の再生や取り込みは、本機では保証しておりません。

カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、
カードの内容を誤って消去することを防げます。

USB 機器について

接続できる USB 機器について

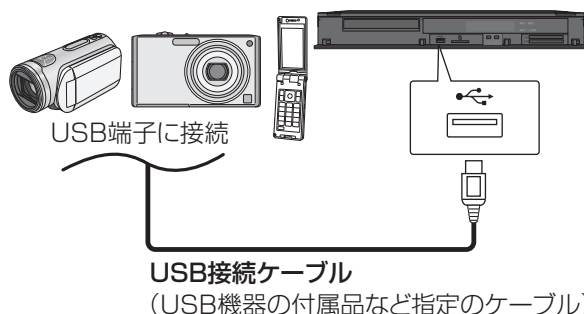
当社製のデジタルハイビジョンビデオカメラやデジタルカメラ、携帯電話などと接続することができます。
動作確認済みの機器については、下記サポートサイトでご確認ください。（2013 年 12 月現在）
http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html

●USB機器（USBメモリー、USBリーダー&ライター、USB 電源を利用する機器など）によっては動作保証していないものがあります。故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
●USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合やUSB端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
●接続に使う USB ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。
●動画（AVCHD、MP4、MPEG2）の取り込み（➜89 ～ 93）
●録画した番組の持ち出し（➜105）
●写真の再生（➜97）や取り込み（➜100）

USB 機器を接続する

USB接続ケーブル
（USB機器の付属品など指定のケーブル）

接続した当社製機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。（機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合もあります）
●接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。

取り外しについて

本体表示窓の“D”（➜13）点滅中は、認識や読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、USB接続ケーブルを抜いたりしないでください。

市販の USB ハードディスク（USB-HDD）について

本機は、USB-HDD を接続し、番組を USB-HDD に録画することができます。

- USB3.0 対応の USB-HDD を使用すると、USB-HDD に複数の番組を同時に録画することができます。（USB3.0 非対応の場合は、複数番組の同時録画はできません）
- USB-HDD の説明書もよくお読みください。

- USB ハブを使用して接続しないでください。

動作確認済み USB-HDD について

録画や再生に適した、動作確認済み USB-HDD をご使用ください。

動作確認済み USB-HDD の最新情報については、以下のホームページでご確認ください。

http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html

- 本機で使用する場合、「USB-HDD の登録」（➜165）を行う必要があります。
- USB-HDD に不具合が起きた場合は、お買い上げのメーカーにお問い合わせください。

接続する

USB-HDD の接続は、本体の電源「切」時に行ってください。

- USB3.0対応のUSB-HDDを使用する場合は、本体背面のスーパースピード USB(USB3.0) 対応の端子に接続してください。ハイスピード USB(USB2.0) 対応の端子に接続すると、複数番組の同時録画はできません。

取り外しについて

以下の手順を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、記録内容を損失したり、予約録画が実行されないおそれがあります。

❶ を押す

❷「初期設定」を選び、決定 を押す
- 表示がない場合は［|◀◀］［▶▶|］でページを切り換えてください。

❸「HDD/ ディスク /USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す

❹「USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す

❺「USB-HDD の取り外し」を選び、決定 を押す

❻「実行」を選び、決定 を押す

❼ USB-HDD を取り外す

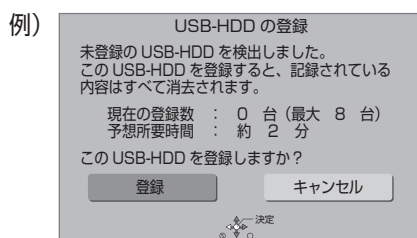
登録する

USB-HDD を使用する場合、本機で USB-HDD の登録をする必要があります。

登録できるのは 8 台ですが、複数台の USB-HDD を同時に接続して使用することはできません。

- 接続時に USB-HDD の登録画面が表示された場合は、手順 6 に進んでください。

例）

USB-HDD の登録
未登録の USB-HDD を検出しました。
この USB-HDD を登録すると、記録されている内容はすべて消去されます。
現在の登録数 ： 0 台（最大 8 台）
予想所要時間 ： 約 2 分
この USB-HDD を登録しますか？
登録　キャンセル
決定

1 操作一覧 **を押す**

2 「初期設定」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「HDD/ディスク/USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す

4 「USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す

5 「USB-HDD の登録」を選び、決定 を押す

6 「登録」を選び、決定 を押す

7 決定 を押す

お知らせ

- 本機以外で使用した USB-HDD を本機に登録する場合、USB-HDD に記録されている内容はすべて消去されます。消去された内容は、元に戻せません。
- 登録番号は録画一覧で確認することができます。
- 本機ではセクタサイズが 512 B または 4 KB(4096 B)以外の USB-HDD は使用できません。

9 台目の USB-HDD を接続したとき

9 台目の USB-HDD を登録するには、すでに登録済みの USB-HDD を取り消す必要があります。

9 台目の USB-HDD を接続し、本機の電源を入れると、USB-HDD の登録画面が表示されます。

例）

❶ **「はい」を選び、決定 を押す**

❷ **取り消しを行う USB-HDD の登録番号を選び、決定 を押す**

❸ **「実行」を選び、決定 を押す**

❹ **「登録」を選び、決定 を押す**

❺ **決定 を押す**

すべての USB-HDD 登録を取り消す

本機に登録されているすべての USB-HDD の登録を取り消します。

USB-HDD を廃棄や譲渡する場合などに行ってください。

「USB-HDD の取り外し」(➜164) を行ったあと、実行してください。

左記手順 1 ～ 4 のあと

❺ **「すべての USB-HDD 登録の取り消し」を選び、決定 を 3 秒以上押す**

❻ **「はい」を選び、決定 を押す**

❼ **「実行」を選び、決定 を押す**

❽ **決定 を押す**

お知らせ

- 登録を取り消した USB-HDD の内容は、再生できなくなります。

必要なとき

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社およびご加入のケーブルテレビ局は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動

① 電源を切る
（本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ）
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ HDD の回転が完全に止まってから（3 分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDD はしばらくの間は惰性で回転しています）

お手入れ

本体およびリモコン

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約 1 年に一度、当社指定のレンズクリーナー（市販品）でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- 当社指定のレンズクリーナーについては、下記サポートサイトでご確認ください。（2013 年 12 月現在）
http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html
- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。
本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

本機を返却するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報（メールや購入記録、データ放送のポイントなど）が記録されています。
ケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合は、「個人情報リセット」（➜149）を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

HDD（ハードディスク）・USB-HDD

振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。

特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

異常を感じたらすぐにダビング（バックアップ）を…

不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

●**HDD や USB-HDD が故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。**

ディスク、カード

持ち方

信号面や端子面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

●当社指定のディスククリーナー（市販品）のご使用をお勧めします。

・当社指定のディスククリーナーについては、下記サポートサイトでご確認ください。（2013年 12月現在）
http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html

●ディスクが汚れている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

●落としたり、激しい振動を与えたりしない。

●お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。

●**ディスク**

・シールやラベルを貼らない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）

・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。

・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。

・以下のディスクを使わない。

- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
- そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
- ハート型など、特殊な形のディスク

●**カード**

・カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

●ほこりの多いところ

●高温になるところ

●温度差が激しいところ

●湿度の高いところ

●湯気や油煙の出るところ

●冷暖房機器に近いところ

●直射日光の当たるところ

●静電気・電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。

同時操作について

録画 / 予約録画中の同時操作

（○：できる　×：できない）

録画状態			視聴	再生			HDD の編集※1	ダビング		
放送 / 入力	録画先	録画モード	放送中の番組	HDD・USB-HDD の番組	録画ディスク・DVD ビデオ	BD ビデオ・AVCHD		ファイナライズ切	ファイナライズ入	ムーブバック
地上 D BS CATV	HDD（1 番組録画）	DR 1.5～15倍録	○	○	○	○	○	○	×	×
	HDD（2 番組録画）									
	HDD（3 番組録画）									
	BD	DR	○	○	×	×※2	○	×	×	×
		1.5～15倍録	○	○	×	×※2	○	×	×	×
	DVD	1.5～15倍録	○	○	×	×※2	○	×	×	×
		XP、SP、LP、EP、FR	○	○※3	×	×	○	×	×	×
	USB-HDD	DR 1.5～15倍録	○	○	○	○	○	×	×	×
i.LINK	HDD	DR	○	○	○	○	○	○	×	×
LAN 録画	HDD	—	○	○	○	×	○	○※4	×	×

- ３番組を録画中は、録画中の番組以外は放送中の番組を視聴できません。
- HDD の残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。

※１　実行できる編集（➜71 ～ 76）（ただし、録画モード変換はできません）
※２　SD カードの AVCHD は再生できます。
※３　「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D 再生できません。
※４　画質変更ダビングはできません。

ダビング中の同時操作

（○：できる　×：できない）

ダビングの種類	視聴	予約録画の実行	再生					HDDの編集※5
	放送中の番組		HDDの番組	録画ディスク	BDビデオ・AVCHD	DVDビデオ	USB-HDD	
高速ダビング中（ファイナライズ切）高速でムーブバック中	○	○	○	×※6	×※6	×※6	×※6	○
画質変更ダビング中（ファイナライズ切）	○	○※7	○※8	×	×	×	×	○※8
ファイナライズ入でダビング中 画質変更でムーブバック中 AVCHD取り込み中	×	×	×	×	×	×	×	×
ネットワークを使ってダビング中	○	○※9	○	○	×	○	○	○

※5　実行できる編集（➜71 ～ 76）（ただし、録画モード変換はできません）
※6　HDD番組を複製中は、再生できます。（SDカードは除く）
※7　LAN経由の予約録画は実行できません。
※8　「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D再生できません。
※9　複数番組録画中はできません。

本機を操作中のお部屋ジャンプリンク（DLNA）の同時操作

（○：できる　×：できない）

	クライアント側の操作（ビデオを見る / 放送を見る）				
1台目	ビデオ	放送	ビデオ	ビデオ	放送
2台目	−	−	ビデオ	放送	放送
HDD・録画ディスク再生中	○	○※10	○	○※10	○※10
DVDビデオ再生中	○	○	○※11	×	×
BDビデオ・AVCHD再生中	○	○	○※11	×	×
HDDへ放送番組を1番組録画中	○	○	○	○	○
HDDへ放送番組を複数番組録画中	○※12	○※12※13	○※12	○※12※13	×
LAN経由で録画中	×	×	×	×	×
高速ダビング中	○※12	○※12	○※12	○※12	○※12
画質変更ダビング中	○※11※12	×	○※11※12	×	×
ブラウザなどのネットワーク使用中	×	×	×	×	×

●本機の状態によってはお部屋ジャンプリンク（DLNA）ができない場合があります。

※10　本機側で「1080/60p」や「AVCHD 3D」の表示がある番組を再生中は、放送を見ることはできません。
※11　「レート変換モード」（➜158）が「オート」または「入」の場合、お部屋ジャンプリンク（DLNA）ができないときがあります。また、VGA変換が必要な機器（ビエラワンセグなど）がクライアントの場合、お部屋ジャンプリンク（DLNA）はできません。
※12　本機側で番組の再生が始まると、お部屋ジャンプリンク（DLNA）はできません。
※13　本機側が3番組録画中は放送を見ることはできません。

こんな表示が出たら

	表示文字	調べるところ・原因・対策
ネットワーク設定や接続テスト時	アドレスが正しく設定されませんでした。	●「IP アドレス /DNS 設定」(➜157)で「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をご確認ください。
	セキュリティーが低い設定になっています。 設定の変更をおすすめします。	●安全のために、無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の暗号化方式を「AES」にしてください。
	接続テストを実行できませんでした。	●一度、電源を「切」にし、電源コードを抜き差しして、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
	接続できませんでした。LANケーブルの接続を確認してください。	●ハブをお使いの場合で、ハブの Link ランプが消えているときは、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良などを確認してください。
	接続に失敗しました。ゲートウェイが応答しません。ルーターとの接続や設定をご確認ください。	●ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 ・ルーターにつなぐ側のハブのポートは、UPLINK につないでください。 ・ハブのLinkランプが消えている場合は、ケーブルの接続、LAN端子の接触不良などを確認してください。 ●「IP アドレス /DNS 設定」(➜157)で「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をご確認ください。 ●無線 LAN 対応のアクセスポイントをご使用の場合、アクセスポイントの通信設定をご確認ください。設定について詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。本機の MAC アドレスが必要な場合は、「LAN 通信設定」(➜157)を表示してご確認ください。
	タイムアウトエラーが発生しました。 認証エラー、またはタイムアウトエラーが発生しました。	●無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)側の MAC アドレスなどの設定を確認してください。 ●電波が弱いことが考えられます。本機や無線 LAN アダプターまたは無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかお確かめください。 ●手動で無線設定を行った場合、ネットワーク名(SSID)や暗号化キーを確認してください。 ●しばらく待ってから、再度、実行してください。
	デバイスエラー デバイスエラーが発生しました。	●再度、無線設定しても失敗する場合は、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。
	無線アクセスポイントへの接続に失敗しました。 無線アクセスポイントの接続を確認してください。	●無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)など無線親機側の電源が入っているか確認してください。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
ネットワーク設定や接続テスト時	**IPアドレスが取得できません。 ルーターとの接続や設定をご確認ください。**	●ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 ・ルーターにつなぐ側のハブのポートは、UPLINKにつないでください。 ・ハブのLinkランプが消えている場合は、ケーブルの接続、LAN端子の接触不良などを確認してください。 上記で問題がなければ、ルーターなどのDHCPが動作していないことが考えられます。 ルーターの設定や動作をご確認ください。ルーターのリセットを行ってみるのも1つの方法です。
	IPアドレスが設定されていません。	●「IPアドレス/DNS設定」(➜**157**)で「IPアドレス」が「---. ---. ---. ---」になっています。 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定してください。(必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください)
	IPアドレスの重複を検出しました。 設定をご確認ください。	●本機と同じIPアドレスが他の機器に使われています。 他のパソコンや、本機、ルーターのIPアドレスをご確認のうえ、重複しないように再設定してください。
通信時	**サーバーが見つかりません。(B019)**	●「IPアドレス/DNS設定」(➜**157**)で「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」の設定を確認してください。 ●ブロードバンドルーターなどの設定を確認してください。
	サーバーへの接続に失敗しました。(B020)	●サーバーが混み合っているため接続ができないか、サーバー側のサービスが停止されている可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。
	サーバーとの通信に失敗しました。(B021)	●通信がタイムアウトしました。サーバーへのアクセスが集中していると思われます。しばらく待って再度実行してください。
	認証に失敗しました。(B401)	●接続先のIDやパスワードを、ブロードバンドルーターやモデムの説明書に従って、正しく設定してください。

こんな表示が出たら(続き)

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窗	-- -- --	●インターネットに接続中です。
	D	●以下の場合に点灯または点滅します。 ・ソフトウェアのダウンロード時のデータ蓄積中※ ・HDD の番組の録画モード変換の処理中※ ・持ち出し番組作成中※ ・USB 機器の読み書き時 ※ “D”点灯中に電源を「入」にすると、上記の処理は中止されます。次回、電源「切」時に処理が実行されます。
	0:00	●停電や電源コードをコンセントから抜いたあとなどに、点滅します。 ●デジタル放送が受信できる場合は、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。
	61PCT	●ダビング中やファイナライズ中などの進行状況です。(例:61 パーセント)
	BS 101	●現在選んでいるBSデジタル放送のチャンネルです。(例:101 チャンネル)
	C 200	●現在選んでいるCATVデジタル放送のチャンネルです。(例:200チャンネル)
	D 011	●現在選んでいる地上デジタル放送のチャンネルです。(例:011 チャンネル)
	DL 1/5	●ダウンロード実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5 などはダウンロードの進行状況です)
	DUB	●かんたんダビングや詳細ダビング画面などを表示中です。
	HARD ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
	MENU	●操作一覧表示中です。
	NoFINALIZE	●HDD の録画中などに[開 / 閉 ▲](リモコンのふた内部)を押したとき、未ファイナライズの -R(AVCREC) -R(V) -RW(V) が入っている場合に表示されます。 ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窓	NoREAD	●ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。 ●当社指定のレンズクリーナー(市販品)(➜166)の作業が終了したときに、表示されることがあります。[開 / 閉 ▲](リモコンのふた内部)を押してクリーナーを取り出してください。
	NoREC	●以下の場合、[録画 ●](リモコンのふた内部)を押しても、録画はできません。 ・データ放送やラジオ放送、または録画中の番組を視聴中 ・i.LINK(TS) 入力に接続した機器でコピー禁止のディスクなどを再生中
	PHOTO	●写真一覧表示中です。
	PLEASE WAIT	●終了処理中です。"BYE" が表示されたあと、電源が切れます。 ●停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。
	PROG FULL	●「新番組おまかせ録画」や「関連番組まとめて予約」以外の予約が 128 件登録されています。 不要な予約を消してください。(➜45)
	SLIDE	●写真のスライドショー再生中です。
	TRANS	●持ち出し番組一覧表示中です。
	TS	●現在、i.LINK(TS) 入力が選ばれています。
	T-WARP	●タイムワープ中です。
	UNFORMAT	●フォーマットされていない、または他の機器で記録されたディスクが入っています。 ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。 ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。
	UNSUPPORT	●本機で記録や再生できないディスクが入っています。 本機に対応したディスクをお使いください。
	UPD 1/5	●ソフトウェアの更新中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5などは更新の進行状況です)
	VIDEO	●録画一覧またはドアホン・センサーカメラ映像一覧表示中です。
	U30 2 1～3のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 U30 2 [決定] を押しながら、[1] のあとに続けて、表示されたこの番号の数字ボタンを押してください。

必要なとき

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窓	U59	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。
	U61	●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
	U82	●本機で使用できないUSB機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。 ●USB 機器接続時に異常が発生しました。接続した USB 機器をいったん本機から外して、再び接続し直してください。
	U88	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
	F99	●本機が正常に動作しません。本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
	F00 H00 (数字の 00は例です)	●異常が発生しました。(“F”または“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります) 電源を一度、切 / 入してください。

●上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。

●上記の操作をしても表示が消えない場合、ご加入のケーブルテレビ局へ修理を依頼してください。

故障かな !?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
- 電源切 / 入時の音
- 気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
- BS/CATV デジタル放送の一時的な休止による受信障害
- 以下の状態のときに、本機から動作音が聞こえる場合があります。
  - ・電源切 / 入時
  - ・番組表データを受信中
  - ・ソフトウェアのダウンロード中
  - ・録画中
  - ・録画モード変換時または持ち出し番組作成時
  - ・「家じゅう録画一覧設定」（➜158）の「自動更新」の「入」時
  - ・予約録画終了時または午前 4 時ごろ（1 週間に一度程度）の、本機全体の自動再起動時
    本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています。

本機が操作を受けつけなくなったときは…

各種安全装置が働いていることがあります。

① **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を切る**

- 切れない場合は、約3秒間押し続けると強制的に切れます。
  （それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む）

② **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れる**

上記の操作を行っても操作できないときは、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

電源

電源が入らない

●予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
●電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
●停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の **[電源⏻/I]** を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

●「自動電源〔切〕」**(➜150)**、「電源オフ連動」**(➜155)** や「こまめにオフ」の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。

USB-HDD の電源が切れない

●本機の設定によっては、電源を「切」にしても USB-HDD の電源が切れない場合があります。

本体

本機が熱い

●本機使用中は温度が高くなりますが、性能･品質には問題ありません。本機の上下左右にスペースをあけてください。
本機の温度が気になる場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

ディスクが取り出せない

●本機の故障が考えられます。
電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
① **[決定]**と**[青]**と**[黄]**を同時に 5 秒以上押す
･本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
② 本体表示窓に“06 FTO”が表示されるまで **[▶]** を数回押す
③ **[決定]**を押す
(ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください)
ディスクを取り出し、ご加入のケーブルテレビ局へご相談ください。

ボタン操作

リモコンが働かない

- 本体とリモコンのリモコンモード(➜139)が異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。

U30 2 [決定] を押しながら、[1] のあとに続けて、表示されたこの番号の数字ボタンを押してください。

- 本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
- リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色つきガラスも含む)などがありませんか。
- テレビ操作部のボタンでテレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。(➜138)

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

- 本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。本機のリモコンモードを変更してください。(➜139)

表示

本体に出る表示が暗い

- 「本体表示窓の明るさ」(➜154)で明るさを変えてください。

"録画 1"、"録画 2"または"録画3"が点滅している

- 以下の場合、点滅します。
  - ･予約録画の開始時刻の約3分前から開始時刻までの間
  - ･デジタル放送録画時、ケーブル宅内線の抜けや信号の障害で正常に録画できないとき
  - ･録画や予約録画時に IC カードが抜けて録画できないとき
  - ･HDD の残量がなくて録画できないとき
  - ･「録画禁止」の番組を録画しようとしたとき

残量表示が使用した量と違う

- 残量表示は実際より増減することがあります。
- -R 記録や編集を約 200 回以上繰り返すと、残量が減ります。

残量表示が画面によって異なる

- DR モード選択時の残量は、番組表や予約確認画面などでは、放送に合わせて14 Mbps、17 Mbpsまたは24 Mbps の転送レートで残量計算しますが、録画一覧画面などでは、24 Mbps の転送レートでのみ残量計算します。そのため、画面によっては、残量表示が異なる場合があります。

時刻表示が出ない

- 電源「切」時に本体表示窓に時刻を表示するには、以下 ① ～ ③ の設定にしてください。
  ① 「クイックスタート」(➜151) を「入」に設定
  ② 「クイックスタートモード」(➜151) を「標準」に設定
  ③ 「ECO スタンバイ」(➜155) を「切」に設定

故障かな !?(続き)

テレビ画面や映像

本機からの映像が映らない
テレビに「信号がありません。」が表示される

●本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れてください。
●HDMIケーブルが認識されていない場合があります。本機の電源が「切」の状態で、HDMI ケーブルを抜き差ししたあと、もう一度本機の電源を入れてください。

映像が映らない
映像が乱れる

●HDMI 端子接続時:
・HDCP(不正コピー防止技術)に対応した機器(パソコンのディスプレイなど)に接続したときは、機器によっては正常な映像にならない、または映らない場合があります。(音声は出力されません)
・以下の場合、HDMI 認証が起こり、黒画面になります。
- 「24p出力」(➔156)が「入」の場合、24p素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
- 2D 映像と 3D 映像を切り換えたとき
・「Deep Color 出力」(➔156)もしくは「コンテンツタイプフラグ」(➔156)を「切」にしてください。
●テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
HDMI 端子で接続している場合、接続するテレビのHDMI端子を変更すると改善される場合があります。

表示していた画面が消える

●「テレビ画面の焼き付き低減機能」(➔154)が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

画面の上下左右に黒帯(グレー帯)が表示される
画面の横縦比がおかしい

●「画面モード切換」(➔66)で調整してください。
(テレビのアスペクト設定でも調整できます)

再生時の映像に残像が多い

●「HDオプティマイザー」(➔66)を「切」にしてください。

音声

音声が出ない

●ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。
●HDMI端子の接続状態に合わせて、「HDMI音声出力」(➔156)を設定してください。
・HDMI 端子でテレビと接続し、テレビから音声を出力:「入」
・HDMI 端子でテレビと接続し、デジタル音声出力端子で接続したアンプなどから音声を出力:「切」
●Dolby Digital Plus または Dolby TrueHD、DTS-HD の音声のみが出力されなくなった場合は、本機の内部設定が自動的に切り換わった可能性があります。その場合は、一度、「初期設定リセット」(➔151)を行ってください。

サラウンドの音声が出ない

●接続するアンプによっては、音声が2チャンネルになる場合があります。「音質効果」(➔67)を「切」または「ナイトサラウンド」にしてください。

片方のスピーカーからしか音声が出ない

●スピーカーの接続を確認してください。
●5.1ch マルチ音声を再生する場合、「ダウンミックス」(➔154)を「ドルビーサラウンド」にしていると、モノラル音声になります。「ノーマル」に変更してください。

音声が切り換えられない

●接続機器の設定を確認してください。
●以下の場合、音声の切り換えはできません。
・マルチ音声の番組を RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) に XP、SP、LP、EP、FR モードで予約録画する
●マルチ音声は、テレビやアンプ側で切り換えることができません。本機で切り換えてください。
● MP4 音声の切り換えはできません。
●ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。

番組表

番組表データが受信できない

●番組表で番組情報を表示させたい局を選んで［決定］を押すと、番組表データを受信できます。

番組表データが更新されない

●データ受信中に電源を入れたり、本機を使用中などでデータを受信しなかった場合は、更新されません。前回受信したデータが残ります。
データ受信時に本機の電源が「切」状態であれば、自動的に内容を更新します。
（データ受信時に電源コードは抜かないでください。電源スイッチのある延長コードをお使いの場合は、延長コードの電源スイッチは切らないでください。）

●すぐに更新したい場合は、「番組データ取得」（➜36）をしてください。

1ヵ月の番組表や注目番組が受信できない

●ネットワークの接続と設定を確認してください。（➜128、140）

●「通信によるGガイド受信」（➜147）の設定を「入」にしてください。

放送局のチャンネルが表示されなくなった

●サブチャンネルの表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

デジタル放送

画質や音質が少し悪くなった

●雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、ケーブルテレビ局で電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送は画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。

WOWOWなどの有料放送が視聴できない

●ICカードが正しく挿入されていますか。

●有料放送を視聴するための手続きはされていますか。

●ネットワークの接続は正しくされていますか。

データ放送が見れない

●録画中の番組のデータ放送は見れません。

字幕が出ない

●字幕のある番組の場合、「信号切換」（➜29）の「字幕」を「入」にしてください。

視聴

放送中の番組の視聴ができない

●ファイナライズを行うダビング中は、視聴できません。

故障かな !?（続き）

録画

録画できない

●以下の場合、録画できません。本体前面の“録画 1”ランプなどが点滅します。
・ケーブル宅内線が抜けている、または電波が弱い
・IC カードが抜けている
・HDD の残量がない

●ディスクやUSB-HDDには [**録画 ●**]（リモコンのふた内部）を押しても、録画できません。予約録画のみ可能です。

番組を同時に録画できない

●以下の場合、番組の同時録画はできません。
・2 番組を XP、SP、LP、EP、FR モードで録画する場合
・2 番組をディスクに録画する場合
・ディスクから HDD へダビング中
・HDD から HDD へダビング（複製）中

予約録画ができなかった

●HDD の残量が不足していたり、番組の予約が重なっていたりしませんか。予約内容を確認してください。(➜45)

ディスクに予約録画ができない

●ディスクに予約録画する場合、予約時の詳細設定で録画先を「BD」にしてください。

●以下の場合、ディスクに予約録画できません。
・**BD-RE** **BD-R** にXP、SP、LP、EP、FRモードで予約
・**RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** に DR、XP、SP、LP、EP、FR モードで予約
・**RAM(VR)** **-R(VR)** **-RW(VR)** に DR、1.5 ～ 15 倍録モードで予約
・**-R(V)** **-RW(V)** のディスク
・未フォーマットのディスク
・CPRM 非対応の DVD
・誤消去防止（プロテクト）の設定がされたディスク

番組追従機能が働かない

●時間指定予約では働きません。

●放送開始時刻または終了時刻に 3 時間以上の変更があった番組には働きません。

●毎週予約をした場合、番組表データの更新状態によっては、正しく働かない場合があります。

再生

録画した番組が見つからない

●毎日･毎週予約で録画した番組は、録画一覧（まとめ表示）では、まとめて表示されます。
まとめ が付いた番組を選んで、[**決定**] を押すと、第 1 回目に録画した番組から最後に録画した番組まですべて表示されます。

●録画一覧で [**サブ メニュー**] を押し「全番組表示へ」を選択すると、まとめ表示が解除されます。

●「最新録画番組」ラベルを選択すると、最新の録画番組から順に 18 番組までを全番組表示します。

●視聴制限のある番組は録画一覧に表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。

番組の先頭から再生が始まらない

●続き再生メモリー機能が働いています。HDD に記録した番組は、以下の手順で先頭から再生してください。
① 録画一覧表示中に、番組を選んで [**サブ メニュー**] を押す
② 「先頭から再生」を選んで [**決定**] を押す
・ディスクの止めた位置は、トレイを開けると解除されます。

映像が乱れたり、正しく再生されない

●天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生していませんか。

●録画モードや、映像の横縦比などの異なるつなぎ目では、一瞬映像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。

なめらかに再生されない（映像や音声が一瞬止まる）

●以下の場合、なめらかに再生されない場合があります。（「シームレス再生」(➜153)を「入」に設定しても改善されません）
・シーンの切り換わりや、字幕や音声の切り換え時
・片面 2 層の -R の層の変わり目
・2 倍速対応以下の DVD に記録した 1.5 倍録、1.6 倍録、1.8 倍録、2 倍録モードの番組
●ハイビジョン動画など、転送レートの高い動画は、なめらかにスロー再生されない場合があります。

データ放送が見れない

●本機ではデータ放送は記録できません

字幕が出ない、切り換えられない

●ディスクに字幕が収録されていますか。
●「字幕設定」（➜65）で字幕表示の設定を行ってください。
●XP、SP、LP、EP、FRモードの番組は、「字幕」(➜29、43、85)を「入」にして記録した場合に字幕が表示されます。字幕表示の入 / 切はできません。

音声言語や字幕言語が切り換えられない

●「音声情報」、「字幕設定」(➜65)ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。

ディスクが再生できない

●ディスクに汚れや傷、反りがある場合、再生できないことがあります。

BD ビデオや DVD ビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた
視聴制限を解除したい

●視聴制限の内容を工場出荷時の状態に戻してください。
① [決定]と[青]と[黄]を同時に 5 秒以上押す（本体表示窓に“00 RET”が表示されます）
② 本体表示窓に“03 VL”が表示されるまで [▶] を押す
③ [決定]を押す

3D 映像が出力されない

●本機と 3D 対応テレビの接続や設定は正しいですか。
●本機と3D対応テレビの間に3D非対応のアンプを接続していませんか。本機と 3D 対応テレビを直接接続してください。

3D 映像が正しく 2D 出力されない

●3Dディスクを再生する場合、「3Dディスクの再生方法」（➜152）を「2D 再生」に設定してください。
●3D 番組を再生する場合、「3D 番組の出力方法」（➜155）を「2D」に設定してください。
●サイドバイサイド（2 画面構成）などの放送を記録した番組は、2D 再生すると 2 画面で出力されます。

ダビング

ダビングできない

- 市販やレンタルの DVD などコピー禁止処理された映像はダビングできません。
- チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできない場合があります。
- HDDから -R(V) -RW(V) へのダビング時、HDDの残量が少ないときはダビングできません。HDD の不要な番組を消去してください。
（使用するディスクによっては、HDD の残量が 5 倍録モードで最大 4 時間必要な場合があります）
- 以下の番組は、BD-RE BD-R からHDDにダビングできません。
  - ・ディスク内で番組分割した番組
  - ・当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集した番組
  - ・ファイナライズしたディスクの番組
  - ・録画時間が 8 時間を超える番組
- 高画質（転送レート約 18 Mbps 以上）の動画を、2 倍速対応以下の DVD に取り込むことはできません。

高速ダビングできない

- 以下の場合、画質変更ダビングになり、高速でダビングできません。
  - ・DR モードの番組や LAN 経由で録画した番組を DVD にダビングする
  - ・1.5 ～ 15 倍録モードの番組を RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) -R(V) -RW(V) にダビングする
  - ・録画モードを変更してダビングする
  - ・ディスクの記録容量を超えてダビングする
  - ・1080/60p（1920 × 1080/60 プログレッシブ）記録の番組を DVD にダビングする
  - ・「AVCHD 3D」の表示がある番組を DVD にダビングする
  - ・XP、SP、LP、EP、FRモードの番組を BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R(V) -RW(V) にダビングする
  - ・BD-RE BD-R から他機器で記録した XP、SP、LP、EP、FR モードの番組を HDD にダビングする
  - ・DVD-V から HDD にダビングする

高速ダビングに時間がかかる

- ディスクの倍速対応によってダビング速度が変わります。
- 「高速ダビング速度」(➜ 152)の設定によってダビング速度が変わります。

高速ダビング時の動作音が大きい

- 高速記録対応ディスクへ高速ダビングする場合、「高速ダビング速度」(➜ 152)を「静音モード」にすると動作音を抑えることができます。

画質変更ダビングに時間がかかる

- DR、1.5 ～ 15 倍録モードの番組をDVD画質でダビングする場合は 1 倍速になります。

編集

編集できない

- HDD 残量がないと、編集ができなくなることがあります。不要な番組を消去してください。
- 以下のディスクの場合、編集できません。
  - ・ファイナライズ済みのディスク
  - ・AVCHD のディスク
  - ・他社製機器やパソコンで記録したディスク
- 本機では持ち出し番組の編集はできません。

番組を消去しても残量が増えない

- BD-R -R 消去しても増えません。
- -RW(V) 最後に記録した番組を消去したときのみ、増えます。途中の番組を消去しても増えません。

部分消去の開始点や終了点が設定できない

- 開始点と終了点の間が短い場合や、開始点が終了点の後ろにある場合、すでに設定している区間に重なる場合は設定できません。

プレイリストが作成できない

- 本機ではプレイリストの作成はできません。

動画

撮影した動画が再生できない 映像が乱れたり、正しく再生されない

- USB 機器のハイビジョン動画（AVCHD）は直接再生できません。HDD などにダビングしてから再生してください。
- MP4 撮影形式やファイル構成によっては、再生できない場合があります。
- 2 倍速対応以下の DVD に記録された高画質（転送レート約 18 Mbps 以上）の動画は、正しく再生できません。

撮影した動画がSDカードからダビングできない

- 本機の電源を切ってから SD カードを入れ直してください。
- パソコンで編集した SD カードは使用できない場合があります。
- MP4 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 本機に対応していない SD カードは使用できません。本機で使えるSDカード(➜162)か確認してください。

撮影した動画が USB 接続でダビングできない

- 本機とビデオカメラの接続を確認してください。USB 接続が正しく認識しない(USB 機器画面が表示されない) 場合は、USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などに、USB 接続された場合、認識しないことがあります。
- 本機と接続するための設定が、ビデオカメラ側で正しく設定されているか確認してください。
- MP4 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。

写真

撮影した写真が再生できない SD カードから取り込めない

- 本機の電源を切ってから SD カードを入れ直してください。
- パソコンで編集した SD カードは使用できない場合があります。
- 本機に対応していないSDカードは使用できません。本機で使える SD カード（➜162）か確認してください。

撮影した写真が USB 接続で取り込めない

- 本機とデジタルカメラの接続を確認してください。USB 接続が正しく認識しない（USB 機器画面が表示されない）場合は、USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などに、USB 接続された場合、認識しないことがあります。
- 本機と接続するための設定が、デジタルカメラ側で正しく設定されているか確認してください。
- デジタルカメラ側に SD カードが正しく入っているか確認してください。

撮影した写真の取り込みに時間がかかる

- ファイルやフォルダの数が多い場合、または写真の解像度が高い場合、数時間かかることがあります。

持ち出し番組

持ち出し番組が作成できない

- ●録画先が「HDD」以外の場合、作成できません。
- ●HDD の残量が少ない、または番組数がいっぱいの場合、作成できません。
- ●ダビングできない番組は作成できません。

持ち出し番組が SD カードに転送できない

- ●SD カードの書き込み禁止スイッチがロックされていませんか。
- ●mini タイプ、micro タイプの SD カードの場合、専用のアダプターを正しく装着していますか。
- ●本機に対応していないSDカードは使用できません。本機で使える SD カード（➜162）か確認してください。

持ち出し番組が USB 接続で転送できない

- ●本機と接続機器の接続を確認してください。USB 接続が正しく認識しない（USB 機器画面が表示されない）場合は、USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などに、USB 接続された場合、認識しないことがあります。
- ●本機と接続するための設定が、接続機器側で正しく設定されているか確認してください。
- ●接続機器側にSDカードが正しく入っているか、またSD カードの書き込み禁止スイッチがロックされていないか確認してください。

持ち出し番組が再生できない

- ●「持ち出し番組の VGA 画質」（➜152）を「モード1(1.5Mbps)」で記録すると再生できない場合があります。その場合は、画質を「モード 2(1.0Mbps)」に設定して、持ち出し番組を作成し直してください。
- ●本機では持ち出し番組の再生はできません。

お部屋ジャンプリンク (DLNA)

再生できない

- ●別室のテレビなどで見る（本機をサーバーとして使用する）場合：
  - ・接続や設定を確認してください。
  - ・「機器一覧」（➜158）で、再生する機器が［許可］になっていますか。
  - ・再生する機器によっては、録画中の番組や 1.5 ～ 15 倍録モードの番組は再生できません。
- ●別室の機器の映像を見る（本機をクライアントとして使用する）場合：
  - ・接続した機器側で本機が登録されていますか。
  - ・すべての映像を再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

再生できない、映像が途切れる（無線接続時）

- ●802.11n（2.4 GHz/5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。
  また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- ●「無線設定」（➜157）の画面で「電波状態」のインジケーターが 4 つ以上（受信レベル 30 以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3 つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線LANアダプターまたは無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかお確かめください。

宅外リモート接続機能

操作できない

●ネットワーク接続は正しいですか。
●通信状況(電波の届きにくいところやネットワークの状況)などにより、操作できないときがあります。
●オンエアーダウンロード中は、操作できません。また、お使いの環境により、ダウンロード終了後も一時的に操作できないことがあります。

携帯電話で本機を操作できない

●「宅外リモート接続設定」(➜158)が選ばれている状態で、「インターネット接続」と表示されていない場合、接続を確認してください。
●本機が使用中の場合、操作できないことがあります。
●加入しているサービスの会員登録や機器登録の内容を確認してください。
●ルーターの設定(DHCPサーバー機能やセキュリティーなど)を確認してください。詳しくは、ルーターの説明書をご覧ください。
●回線業者や対応するプロバイダーがルーターの使用を制限している場合があります。加入している回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。

機器パスワードを忘れた

●加入しているサービスで機器登録を削除後、「機器パスワード初期化」(➜158)を行ってください。そのあと、パスワードを再設定してください。

ビエラリンク (HDMI)

ビエラリンク (HDMI) が働かない

●ビエラリンク (HDMI) が働かなくなった場合、以下の操作をお試しください。
① HDMI ケーブルを抜き差しする
② 「ビエラリンク制御」(➜155)の設定を切 / 入する
③ テレビ側の電源を切り、電源を入れ直す
④ 本体の [電源⏻/I] を約3秒間押し続けて電源を切り、電源を入れ直す
●HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにビエラリンク (HDMI) が動作しなくなる場合があります。このときは、設定をやり直してください。

ディスク

記録できない

●ディスクをフォーマットしていますか。
●ファイナライズ後のディスクは記録できません。
●誤消去防止 (プロテクト) の設定がされていませんか。
●ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください。
●-R 記録後、ディスクの出し入れや電源の切 / 入を約30 回程度繰り返すと、そのディスクは記録や編集ができなくなることがあります。
●本機以外の DVD レコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。
●ディスクに汚れや傷があると、再生、記録、フォーマットなどができない場合があります。
●録画 / 再生用レンズが汚れている場合があります。ディーガ専用のレンズクリーナー (市販品) でレンズをクリーニングしてください。

記録したディスクが他機器で再生できない

●-R -RW BD-R ファイナライズしていますか。(➜121)
●1.5～15倍録モードの番組を記録したAVCREC方式の DVD や、XP、SP、LP、EP、FR モードの番組を記録した VR 方式の DVD の場合、再生する機器が、そのディスクの AVCREC 方式や VR 方式の再生に対応している必要があります。

必要なとき

表示マーク一覧

- 本機は表示マーク（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

番組表

マーク	内容
（赤）	録画予約している番組
（緑）	「関連番組まとめて予約」で予約された番組
	「新番組おまかせ録画」で予約された番組

予約の実行が「切」になっている場合、上記マークの色はグレーに変わります。

番組内容画面

マーク	内容
テレビ	テレビ放送（映像＋音声）の番組
ラジオ	ラジオ放送の番組
データ	データ放送の番組
d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組
+d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組
+d ラジオ	ラジオ放送で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
制限 COPY	「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限のある番組
●●● 信号	複数の映像または音声（マルチ音声）を含んだ番組
字幕	字幕（日本語/英語）の情報が含まれている番組
16:9 1080i	番組の映像信号情報 上：画面の横縦比（16:9、4:3） 下：信号方式 （デジタルハイビジョン放送－ 1080i、720p） （デジタル標準テレビ放送－ 480p、480i）
主+副	二重音声信号で、「主＋副」の音声の番組
モノラル	モノラル音声の番組
ステレオ	ステレオ放送の番組
サラウンド	5.1ch などのサラウンド放送の番組
有料	有料のデータを含む番組 （ペイ・パー・ビュー番組）
20 才〜	視聴年齢制限がある番組 （表示される年齢は4～20才まであります）
3D	3D 映像の番組 （番組によっては、表示されない場合もあります）
デジタル XCOPY	著作権が保護されているため「録画禁止」の番組
デジタル 1COPY	「1 回だけ録画可能」のコピー制限のある番組

予約一覧画面

表示	内容
録画可能	全編の録画が可能な番組
変更可	予約登録後に放送時間が変更になったが、全編の録画が可能な番組
番組予約	番組表を使って予約した番組
時間指定	時間指定予約で予約した番組
検索中	時間変更追従を実行中（時間確認中）
毎週 毎日 月~土 月~金	毎日･毎週予約の番組
曜日指定	曜日指定した毎日･毎週予約のときに表示
毎週更新 毎日更新 月~土更新 月~金更新	毎日･毎週予約で自動更新をする番組（前回録画した内容に上書きして録画します）
関連番組	「関連番組まとめて予約」で自動的に予約された番組
お知らせ	1ヵ月より先の番組予約です。 1ヵ月以内になったときに録画可能かどうかが表示されます。

表示	内容
	HDD の残量不足や予約の重複などで録画できない場合があるときなどに表示。 **[決定]**を押して、予約内容を確認してください。
重複	予約時間が重なっている番組
シリーズ終了	毎日･毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをお勧めします。
警告	予約登録したチャンネルが見つからなかった番組
新番組	「新番組おまかせ録画」で自動的に予約された番組
注目番組	注目番組一覧から予約した番組
まとめ予約	「注目まとめ予約」で予約した番組
自動予約	宅外リモート接続機能を使って自動予約された番組
DR切換	1.5 ～ 15 倍録モードで録画中に DR モードに切り換えて録画している番組
残量不足	HDD の残量が不足していて録画できない番組
番組数FULL	HDD の番組数がいっぱいで録画できない番組
予約実行切	予約の実行が「切」になっている番組
未実行	予約録画が実行されなかった番組
一部未実行	予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組や番組視聴の契約がされていなかった番組
LAN予約	LAN接続した機器から録画予約した番組
●	録画中の番組

予約一覧画面(続き)

マーク	説明
	1.5～15倍録モードで録画中にDRモードに切り換えて録画した番組(電源「切」時に予約時の録画モードに自動変換します) 番組表を使って毎日·毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合にも表示されます。
	番組表を使って予約したペイ·パー·ビュー番組
	HDDがいっぱいで録画が中断された番組
	録画禁止信号により録画が中断された番組
	ディスクが未挿入などで、HDD に代替録画された番組
購入失敗	番組購入できずに予約録画に失敗したペイ·パー·ビュー番組

録画一覧画面

マーク	説明
	新しく録画してまだ見ていない番組
	「新番組おまかせ録画」で録画された番組
	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
	HDDに代替録画された番組
	録画禁止信号により録画できなかった番組
	録画した 3D 映像の番組(番組によっては、表示されない場合もあります)
	取り込んだ 1080/60p(1920 × 1080/60 プログレッシブ)記録の番組
	書き込み禁止(プロテクト)設定した番組
	録画中の番組
	HDDにダビング中の番組やデータが壊れているなど、再生できない番組
(数字は10～2)	録画したコピー制限のある番組 数字はダビングできる残り回数です。 ダビングするたびに数字は少なくなります。
(赤)	録画したコピー制限のある番組 ダビングするとダビング元の番組は消去されます
⊠	ダビングできない番組
	宅外リモート接続機能を使って自動で録画された番組
	HDD に録画中の番組
	HDD にダビング中の番組
	HDD に録画·ダビングが終了した番組(番組の画像は電源「切」時に作成されます)

ダビング画面

アイコン	説明
	DR モード、1.5 ～ 15 倍録モードで録画された番組 取り込んだハイビジョン動画 (AVCHD)
	DR モードで録画された番組 [i.LINK(TS)ダビング時]
	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
	-R(V) -RW(V) に高速でダビングできる番組
	ダビングすると移動する番組 (詳細ダビング時)
	静止画を含むもの (HDD に静止画部分はダビングされません)

アイコン	説明
	3D 映像の番組(番組によっては、表示されない場合もあります)
10 (数字は10~2)	録画したコピー制限のある番組 数字はダビングできる残り回数です。 ダビングするたびに数字は少なくなります。
	録画したコピー制限のある番組 ダビングするとダビング元の番組は消去されます
×	ダビングできない番組
1 (数字は1~99)	ダビング登録した番組(かんたんダビング時)。数字の小さい番組から順にダビングします。
1080 60p	1080/60p(1920 × 1080/60 プログレッシブ)記録の番組

持ち出し番組一覧画面

マーク	説明
	かんたん転送するように登録されている番組
	SD/USB 経由で持ち出せるワンセグ画質 (QVGA) の番組
	SD/USB経由で持ち出せる高画質(VGA)の番組
	ネットワーク経由で持ち出せる高画質 (VGA) の番組
	ネットワーク経由で持ち出せるハイビジョン画質 (HD) の番組
(赤)	録画したコピー制限のある番組 転送するとHDDの番組は消去されます。

写真一覧画面

マーク	説明
	新しく取り込んだ写真
	書き込み禁止(プロテクト)の設定をした写真
	3D の写真

用語解説

A

AAC（Advanced Audio Coding）（エーエーシー アドバンスド オーディオ コーディング）
デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式で、CD並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1 チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

AVCHD（エーブイシーエイチディー）
高精細なハイビジョン映像を 8 cmDVD 記録用ディスクやメモリーカード上に撮影記録できるように開発された新しいビデオカメラ記録フォーマット(規格)の名称です。

AVCHD　Progressive（エーブイシーエイチディー プログレッシブ）
高精細なハイビジョン映像を、1080/60p (1920 × 1080/60 プログレッシブ) 記録できるように開発されたビデオカメラ記録フォーマット (規格) の名称です。AVCHD Progressive の動画は、AVCHD Progressive に対応した機器でのみ再生できます。

AVCHD 3D（エーブイシーエイチディー スリーディー）
高精細なハイビジョン映像を、3D 映像で記録できるように開発されたビデオカメラ記録フォーマット（規格）の名称です。AVCHD 3D の動画は、AVCHD 3D に対応した機器でのみ再生できます。

B

BD - J（ビーディー ジェイ）
BDビデオには、JAVAアプリケーションを含むものがあり、そのアプリケーションはBD-Jと呼ばれます。通常のビデオの操作に加えて、いろいろなインタラクティブな機能を楽しむことができます。

Bitstream（ビットストリーム）
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1chなどのサラウンド音声信号に戻されます。

C

CAS（キャス）
ケーブルテレビや BS·CS デジタル放送などの有料放送サービスにおいて用いられている、限定視聴制御方式です。ケーブルテレビ加入者が視聴契約に基づいて視聴するチャンネル制御や番組視聴情報を管理します。

CPRM（Content Protection for Recordable Media）（シーピーアールエム コンテント プロテクション フォー レコーダブル メディア）
デジタル放送のコピー制御信号が加えられた番組に対する著作権保護技術のことです。コピー制御信号が加えられた番組は、CPRM に対応した機器とディスクに記録できます。

D

Deep Color（ディープ カラー）
8 bit 以上の色情報を扱える高色域規格の1つです。Deep Color 対応のテレビに接続することで、映像を8bit 以上の高階調表示に変換して表示します。

DLNA（Digital Living Network Alliance）（ディーエルエヌエー デジタル リビング ネットワーク アライアンス）
ホームネットワーク環境に接続したデジタル機器同士などを連携させて、簡単に、便利に使用するための技術です。

Dolby Digital（ドルビー デジタル）
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ(2 ch)はもちろん、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

Dolby Digital Plus（ドルビー デジタル プラス）
ドルビーデジタルの改良版で、さらなる高音質、5.1ch 以上の多チャンネル、より広いビットレートを実現しています。BD規格では最大 7.1ch まで対応しています。

Dolby　TrueHD（ドルビー トゥルーエイチディー）
DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版でスタジオマスターの音声データを完全に再生する高品位な音声方式です。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

DTS （Digital Theater Systems）（ディーティーエス デジタル シアター システムズ）
映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

DTS - HD（ディーティーエス エイチディー）
映画館で採用されているDTSをさらに高音質/高機能化した音声方式で、下位互換性により従来のAV アンプでも DTS として再生できます。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

用語解説（続き）

Ⓗ HDD（ハードディスクドライブ）
パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の１つです。表面に磁性体を塗った円盤（ディスク）を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

エイチディーエムアイ
HDMI
ハイ デフィニション　マルチメディア　インターフェイス
（High-Definition Multimedia Interface）
HDMIとは、デジタル機器向けのインターフェースです。従来の接続と違い、１本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

アイ リンク
Ⓘ i.LINK
i.LINK端子を持つ機器間で映像や音声などのデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースです。
i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際規格です。

ジェイペグ
Ⓙ JPEG
ジョイント　フォトグラフィック　エキスパーツ　グループ
（Joint Photographic Experts Group）
カラー静止画を圧縮、展開する規格の１つです。
デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10〜1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

エルピーシーエム　ピーシーエム
Ⓛ LPCM（リニア PCM）
CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

マック
Ⓜ MAC アドレス
家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

エムペグツー　エムペグフォー エーブイシー　エイチ
MPEG-2、MPEG-4 AVC / H. 264
カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の１つです。
MPEG-2はデジタル放送やDVDなどに使われる圧縮方式で、MPEG-4　AVC/H.264 はハイビジョン映像の録画などに使われる圧縮方式です。

エムピーフォー
MP4
カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の 1 つです。MP4 は、パソコンでの編集や WEB アップロードに適した圧縮方式です。

ピーシーエム　パルス　コード　モジュレーション
Ⓟ PCM（Pulse Code Modulation）
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の 1 つで、手軽にデジタル音声が楽しめます。

キューブイジーエー
Ⓠ QVGA
クォーター　ビデオ　グラフィックス　アレイ
（Quarter Video Graphics Array）
画面の解像度（本機では 320 × 180）を示す表記の 1 つです。

ユーエスビー　ユニバーサル　シリアル　バス
Ⓤ USB（Universal Serial Bus）
周辺機器を接続するための規格の１つです。

ブイビーアール　ヴァリアブル　ビット　レート
Ⓥ VBR（Variable Bit Rate）
映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

ブイジーエー　ビデオ　グラフィックス　アレイ
VGA（Video Graphics Array）
画面の解像度（本機では 640 × 360）を示す表記の 1 つです。

ビデオ・オン・デマンド
VOD
お客様が観たいときに観たい番組を配信するサービスです。「ビデオ・オン・デマンド」の略です。

❶ 1080p、1080i、720p、480p、480i
映像信号の有効走査線数と走査方式の略称を表しています。テレビ放送は 1 コマの画像を走査線と呼ばれる細い横線に分解して送っており、受信する機器側で元の画像に組み立てて表示します。
有効走査線数は、実際の画面を構成する走査線数のことをいいます。インターレース（i= 飛び越し走査）は、1 行おきに走査する方式です。プログレッシブ（p= 順次走査）は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。
また、1080p、1080i、720p、480p、480i の表示は総走査線数にあたる 1125p、1125i、750p、525p、525i と表示されることもあります。

❷ 24p
毎秒 24 フレーム（映画フィルムと同じ）で記録したプログレッシブ映像です。

タ **ダウンミックス**
サラウンドの音声を2チャンネルなどに混合することです。

ハ **ファイナライズ**
番組を記録したDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理することです。ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。

● **フォーマット**
記録前のDVD-RAMなどを録画機器で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。

● **プロキシアドレス**
ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレス。ご加入のケーブルテレビ局からの指定があるときのみ、設定が必要です。（例：proxy. ○○○ .ne.jp）

● **プロキシポート番号**
プロキシアドレスと共に、ご加入のケーブルテレビ局から指定される番号です。（例：8000）

● **プログレッシブ (p) / インターレース (i)**
インターレース（飛び越し走査）は、画面の表示を奇数段と偶数段の2回に分けて行う従来の映像信号です。
プログレッシブ（順次走査）は、画面の表示を1回で行います。そのため、インターレースに比べてちらつきを抑えた高精細な映像を再現できます。

● **プロテクト**
記録した内容を誤って消してしまわないように、書き込みや消去の禁止を設定することです。

マ **ムーブバック**
コピー制限のあるデジタル放送の番組をBD-REやBD-RからHDDに移動させることができる機能です。DVDからはムーブバックできません。

ワ **ワンセグ**
ワンセグ（地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス）とは、携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送です。放送内容は基本的に地上デジタル放送の通常の番組と同じですが、屋外を移動しながらでも映像と音声を楽しむことができます。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源： AC 100 V、50/60 Hz
消費電力：
・電源入：26 W
・電源切：11 W
（クイックスタート「入」標準、ケーブルモデム電源「入」、時計表示点灯）
9 W
（クイックスタート「入」省エネ、ケーブルモデム電源「入」、時計表示消灯）
5 W
（クイックスタート「切」、ケーブルモデム電源「入」、時計表示消灯）
0.1 W
（クイックスタート「切」、ケーブルモデム電源「切」、時計表示消灯）

■本体
寸法：
幅 430 mm×高さ 59.0 mm×奥行 238 mm（突起部含まず）
幅 430 mm×高さ 59.0 mm×奥行 249 mm（突起部含む）
質量：約 3.0 kg
許容周囲温度：5 ℃～40 ℃
許容相対湿度：10%～80%RH （結露なきこと）

■テレビジョン方式
デジタル放送：
受信変調方式：
64QAM（Annex.C）
受信周波数帯域：
90 MHz ～ 770 MHz
入力レベル：
49 ～ 81 dBμV（平均値）
ケーブルモデム：
受信変調方式：
64QAM/256QAM（Annex.B）
受信周波数帯域：
90 MHz ～ 770 MHz
入力レベル：
49 ～ 79 dBμV（平均値）
送信変調方式：
QPSK/8/16/32/64/128QAM
送信周波数帯域：
10 MHz ～ 55 MHz
出力レベル：
68 ～ 118 dBμV

■入出力端子（映像・音声を除く）
ケーブル端子：F 型接栓、75 Ω
分配出力端子：F 型接栓、75 Ω
TS 入出力端子：
4 ピン：1 系統（IEEE1394 準拠）、端子は背面 1 装備
SDメモリーカードスロット：1系統
LAN端子：1系統（10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T）
USB 端子：
ハイスピード USB(USB2.0) 対応
前面 1 系統（DC 5 V 最大 500 mA）
USB 端子：
スーパースピード USB(USB3.0) 対応（USB-HDD 録画用）
背面 1 系統（DC 5 V 最大 900 mA）

■映像
記録圧縮方式：
MPEG-2（Hybrid VBR）、MPEG-4 AVC/H.264
HDMI映像・音声出力：
出力端子：1 系統（19 ピン typeA 端子）
（480p/1080i/720p/1080p）

■音声
記録・再生圧縮方式：
MPEG-2 AAC：最大 5.1ch 記録
Dolby Digital：2ch記録
デジタル出力：
光デジタル音声出力端子：1 系統
-18 dBm 660 nm（JEITA CP-1212 準拠）
HDMI 映像・音声出力端子：1 系統

■SD 部

対応カード：

SD カード：FAT12/FAT16

SDHC カード：FAT32

SDXC カード：exFAT

■USB 部

対応フォーマット：FAT12、FAT16、FAT32

USB-HDD 対応：USB-HDD（160 GB 以上 3 TB 以下）

最大 8 台まで登録可能

■写真

画素数：

34 × 34 ～ 8192 × 8192

サブサンプリング：4：2：2、4：2：0

解凍時間※1**：**約2秒（1010万画素）

記録 / 再生可能メディア：

HDD、BD-RE、BD-R、DVD-RAM、SD カード

再生のみ可能メディア：

DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、USB

ファイル方式：

●JPEG：ベースライン方式（DCF 準拠）

・ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル（半角英数字のみ）

・MOTION JPEG 非対応

●MPO：マルチピクチャーフォーマット（MPF 準拠）

・ファイル名の拡張子に「mpo」、「MPO」と書かれたファイル（半角英数字のみ）

フォルダ数：

BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB：最大 500※2

ファイル数：

●HDD：最大 20000

●BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB：最大 10000※3

CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW：

ISO9660 level1 と 2（拡張フォーマットは除く）、Joliet 対応

■MPEG-2 動画

ファイル形式：SD VIDEO規格準拠

圧縮方式：MPEG-2

■AVCHD 動画

ファイル形式：AVCHD規格準拠

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

■MP4 動画

ファイル形式：MP4 ファイルフォーマット

・ファイル名の拡張子に「MP4」と書かれたファイル（半角英数字のみ）

ビデオ圧縮方式：

●MPEG-4 AVC/H.264：High profile 4.2 以下

●解像度：1920 × 1080 まで

音声圧縮方式：

MPEG-4 AAC-LC

サンプリング周波数：8 kHz ～ 48 kHz

チャンネル数：1 または 2

（音声の内容によっては、映像のみ再生し、音声が出力できない場合があります）

■持ち出し動画

ファイル形式 / 画質：

SD VIDEO 規格（ISDB-T Mobile Video Profile）準拠 / 320 × 180　15 fps（412 kbps）

SD VIDEO 規格（H.264 Mobile Video Profile）準拠 / 640 × 360　30 fps（1.5 Mbps、1.0 Mbps）

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

DCF 準拠（デジタルカメラなどで記録したもの）したフォーマットが使用できます。

DCF ：Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格]

※1　解凍時間は使用環境（ファイル数・圧縮率など）によって多少長くなることがあります。

※2　最大フォルダ数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大フォルダ数（ルートもフォルダとして数える）

※3　最大ファイル数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大ファイル数（JPEG と MPO のファイル合計）

必要なとき

仕様（続き）

■録画モードと記録時間の目安

録画モード ＼ ディスク				内蔵HDD	BD-RE、BD-R			
				1 TB	128 GB（片面４層）※4	100 GB（片面３層）	50 GB（片面２層）	25 GB（片面１層）
放送画質	DR	BS デジタル	HD放送（≤24 Mbps）	約 90 時間	約 11 時間 10 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分
放送画質	DR	BS デジタル	SD放送（≤12 Mbps）	約 180 時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分
放送画質	DR	地上デジタル	HD放送（≤17 Mbps）	約 127 時間	約 15 時間 30 分	約 12 時間	約 6 時間	約 3 時間
放送画質	DR	CATV デジタル	HD放送（≤14 Mbps）	約 154 時間	約 18 時間 40 分	約 14 時間 40 分	約 7 時間 20 分	約 3 時間 40 分
放送画質	DR	CATV デジタル	SD放送（≤6 Mbps）	約 360 時間	約 44 時間 20 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分
ハイビジョン画質	1.5 倍録			約 135 時間	約 16 時間 45 分	約 13 時間	約 6 時間 30 分	約 3 時間 15 分
ハイビジョン画質	1.6 倍録			約 144 時間	約 17 時間 55 分	約 14 時間	約 7 時間	約 3 時間 30 分
ハイビジョン画質	1.8 倍録			約 162 時間	約 20 時間 10 分	約 16 時間	約 8 時間	約 4 時間
ハイビジョン画質	2 倍録（HG）			約 180 時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分
ハイビジョン画質	2.3 倍録			約 207 時間	約 25 時間 45 分	約 20 時間	約 10 時間	約 5 時間
ハイビジョン画質	2.5 倍録			約 225 時間	約 27 時間 55 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分	約 5 時間 25 分
ハイビジョン画質	2.7 倍録			約 243 時間	約 30 時間 10 分	約 24 時間	約 12 時間	約 6 時間
ハイビジョン画質	3 倍録（HX）			約 270 時間	約 33 時間 30 分	約 26 時間	約 13 時間	約 6 時間 30 分
ハイビジョン画質	3.5 倍録			約 315 時間	約 39 時間 5 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分	約 7 時間 35 分
ハイビジョン画質	4 倍録（HE）			約 360 時間	約 44 時間 40 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分
ハイビジョン画質	4.5 倍録			約 405 時間	約 50 時間 15 分	約 39 時間	約 19 時間 30 分	約 9 時間 45 分
ハイビジョン画質	5 倍録（HL）			約 450 時間	約 55 時間 50 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分
ハイビジョン画質	5.5 倍録			約 495 時間	約 61 時間 25 分	約 48 時間	約 24 時間	約 12 時間
ハイビジョン画質	6 倍録			約 540 時間	約 67 時間	約 52 時間	約 26 時間	約 13 時間
ハイビジョン画質	7 倍録			約 630 時間	約 78 時間 10 分	約 60 時間 40 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分
ハイビジョン画質	8 倍録（HM）			約 720 時間	約 89 時間 20 分	約 69 時間 20 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分
ハイビジョン画質	9 倍録			約 810 時間	約 100 時間 30 分	約 78 時間	約 39 時間	約 19 時間 30 分
ハイビジョン画質	10 倍録			約 900 時間	約 111 時間 40 分	約 86 時間 40 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分
ハイビジョン画質	11 倍録			約 990 時間	約 122 時間 50 分	約 95 時間 20 分	約 47 時間 40 分	約 23 時間 50 分
ハイビジョン画質	12 倍録			約 1080 時間	約 134 時間	約 104 時間	約 52 時間	約 26 時間
ハイビジョン画質	15 倍録（HZ）			約 1350 時間	約 167 時間 30 分	約 130 時間	約 65 時間	約 32 時間 30 分
DVD画質	XP			本機では録画できません				
DVD画質	SP							
DVD画質	LP							
DVD画質	EP（8 時間）							

※４　片面４層は BD-R のみ。2013 年 12 月現在、BD-R（128 GB: 片面４層）は発売されていません。

録画モード ＼ ディスク		DVD-RAM DVD-R （4.7 GB）	DVD-R DL （8.5 GB） （片面２層）	DVD-RW （4.7 GB）
ハイビジョン画質	1.5 倍録	約 36 分	約 1 時間 7 分	本機では 録画できません
	1.6 倍録	約 39 分	約 1 時間 12 分	
	1.8 倍録	約 44 分	約 1 時間 21 分	
	2 倍録（HG）	約 48 分	約 1 時間 30 分	
	2.3 倍録	約 56 分	約 1 時間 43 分	
	2.5 倍録	約 1 時間	約 1 時間 52 分	
	2.7 倍録	約 1 時間 5 分	約 2 時間 1 分	
	3 倍録（HX）	約 1 時間 12 分	約 2 時間 15 分	
	3.5 倍録	約 1 時間 24 分	約 2 時間 37 分	
	4 倍録（HE）	約 1 時間 36 分	約 3 時間	
	4.5 倍録	約 1 時間 48 分	約 3 時間 22 分	
	5 倍録（HL）	約 2 時間	約 3 時間 45 分	
	5.5 倍録	約 2 時間 12 分	約 4 時間 7 分	
	6 倍録	約 2 時間 24 分	約 4 時間 30 分	
	7 倍録	約 2 時間 48 分	約 5 時間 15 分	
	8 倍録（HM）	約 3 時間 12 分	約 6 時間	
	9 倍録	約 3 時間 36 分	約 6 時間 45 分	
	10 倍録	約 4 時間	約 7 時間 30 分	
	11 倍録	約 4 時間 24 分	約 8 時間 15 分	
	12 倍録	約 4 時間 48 分	約 9 時間	
	15 倍録（HZ）	約 6 時間	約 11 時間 15分	
DVD画質	XP	約1時間	約1時間45分	約1時間
	SP	約2時間	約3時間35分	約2時間
	LP	約4時間	約7時間10分	約4時間
	EP（8 時間）	約8時間	約14時間20分	約8時間

お知らせ

- HDD 持ち出し番組や写真を記録している場合、「ドアホン・センサーカメラ接続」（➜158）を「入」にすると、記録できる時間は少なくなります。
- 15 倍録モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。残量に余裕がある状態（録画される時間の 1.3 倍以上の残量がある状態）で録画することをお勧めします。
- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DRモード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。（HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) では、特にその差が著しくなります）
- DR モードの録画時間は放送（転送レート）によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を 17 Mbps、BS デジタル放送を 24 Mbps、CATV デジタル放送を 14 Mbps で録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない（ビットレートの低い）番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいに記録することができない場合があります。

仕様（続き）

■**記録できる最大番組数**（使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります）

- HDD：3000（持ち出し番組を含む。長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます）
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)：200
- RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V)：99
- USB-HDD：3000（撮影ビデオ、写真は記録できません）

■**予約可能番組数**

128（予約可能期間：1 年間）

■**最大チャプターマーク数**（記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む）

- HDD USB-HDD：1番組当たり約 999 個
- BD-RE※5 BD-R※5 RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)：ディスク当たり約 999 個

※ 5　BDXL は約 20000 個

- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)：1 番組当たり約 100 個

■**持ち出し番組の記録可能時間の目安**

画質 / SD カード	ワンセグ（412 kbps）	VGA（1.0 Mbps）	VGA（1.5 Mbps）
4 GB	約 21 時間 19 分	約 7 時間 46 分	約 5 時間 23 分
16 GB	約 87 時間 20 分	約 31 時間 52 分	約 22 時間 5 分
64 GB	約 349 時間 28 分	約 127 時間 34 分	約 88 時間 24 分
128 GB	約 690 時間 23 分	約 252 時間 1 分	約 174 時間 39 分

SD カードは主な記憶容量のみ記載しています。
本機では、情報量の多い番組を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

- **最大番組数**：**99** [ハイビジョン動画（AVCHD）以外の動画を含む]

■**ブラウザ仕様**

記述言語：HTML4.0 準拠
スタイルシート規格：CSS1/CSS2(Subset)
動作記述言語：JavaScript 1.5/ECMAScript(ECMA-262)
セキュア通信：SSL 2.0/SSL 3.0/TLS 1.0
Cookie：バージョン 0
モノメディア（写真）：JPEG、PNG、GIF
プラグイン：なし
文字入力：携帯電話（リモコン）方式
画面解像度：800 × 450
カラーモデル：フルカラー

■デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch（チャンネル数）は最大チャンネル数を表示]

<table>
<tr><td>接続端子</td><td colspan="4">HDMI 端子</td><td colspan="4">デジタル音声出力端子</td></tr>
<tr><td>「デジタル出力」の設定</td><td colspan="2">Bitstream※6</td><td colspan="2">PCM※7</td><td colspan="2">Bitstream</td><td colspan="2">PCM</td></tr>
<tr><td>「BD ビデオ副音声・操作音」の設定</td><td>入※8</td><td>切</td><td>入※9</td><td>切</td><td>入</td><td>切</td><td>入</td><td>切</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital
Dolby Digital EX※10</td><td rowspan="2">Dolby Digital</td><td rowspan="5">オリジナルの音声で出力</td><td colspan="2">DVD-V 5.1ch
BD-V 7.1ch※11</td><td colspan="2">Dolby Digital
Dolby Digital EX※12</td><td colspan="2" rowspan="5">ダウンミックス 2ch</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital Plus
Dolby TrueHD</td><td colspan="2">7.1ch</td><td colspan="2">Dolby Digital</td></tr>
<tr><td>DTS Digital Surround
DTS-ES※10</td><td rowspan="3">DTS Digital Surround</td><td colspan="2">DVD-V 5.1ch
BD-V 7.1ch※13</td><td colspan="2">DTS Digital Surround
DTS-ES※12</td></tr>
<tr><td>DTS-HD High Resolution Audio</td><td colspan="2" rowspan="2">7.1ch※13</td><td colspan="2" rowspan="2">DTS Digital Surround</td></tr>
<tr><td>DTS-HD Master Audio</td></tr>
<tr><td>7.1ch LPCM</td><td colspan="4">7.1ch PCM</td><td colspan="4">ダウンミックス 2ch PCM</td></tr>
</table>

※ 6　接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM（例：テレビなど）で出力します。

※ 7　接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

※ 8　BD-V 副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」（➜154）を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※ 9　副音声や操作音を含む BD ビデオの再生時は、5.1ch で出力します。

※ 10　PCM 出力する場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital として、DVD に記録された DTS-ES は DTS Digital Surround として、BD に記録された DTS-ES は DTS-ES としてデコードした PCM 音声になります。

※ 11　BD-V 「7.1ch 音声リマッピング」（➜156）が「切」時は 5.1ch になります。

※ 12　BD-V 「BD ビデオ副音声・操作音」（➜154）を「入」に設定した場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital、DTS-ES は DTS Digital Surround の Bitstream で出力します。ただし、副音声や操作音を含まない BD ビデオの再生時は、オリジナルの音声で出力します。

※ 13　DTS, Inc. の仕様により 5.1ch または 6.1ch から 7.1ch に自動的に拡張して出力します。

受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送 （地上デジタル）

UHF 帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

- 本機ではワンセグ放送を録画できます。(➜103)
  ワンセグは携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送です。（お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります）

BS デジタル放送 （BS デジタル）

放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

- WOWOW などの有料放送には、ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

CATV デジタル放送 （CATVデジタル）

ニュースや映画、スポーツ、音楽など幅広いジャンルの専門チャンネルから、見たい番組を選択できます。ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。

- ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

お知らせ

- **IC カードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。**
- WOWOW など有料の放送局とのご契約は B-CAS カード単位でのご契約となります。テレビの B-CAS カードでご契約いただいている場合でも、本機でご使用の B-CAS カードのご契約が必要です。
- 本機では、ラジオ放送やデータ放送は記録できません。

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- ロヴィ、Rovi、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
  G ガイドは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
  米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許番号：5,956,674; 5,974,380; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 の実施権、及び米国、世界各国で取得済み、または出願中のその他の特許に基づき製造されています。
  DTS-HD、シンボルマークおよび DTS-HD とシンボルマークとの複合ロゴは DTS, Inc. の登録商標です。DTS-HD Master Audio ｜ Essential は DTS, Inc. の商標です。製品はソフトウェアを含みます。© DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
- SDXCロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- i.LINKとi.LINKロゴ“ ”は商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- HDAVI Control™ は商標です。
- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“WPA”、“WPA2”は“Wi-Fi Alliance”の商標または登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
  “Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- 富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
  Inspirium 音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2011-2013
- “AVCHD”、“AVCHD 3D”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD 3D/Progressive”はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “DVD Logo”はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- CP8 PATENT
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  ・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
  ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
  ・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC
  （http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- Copyright 2004-2010 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[操作一覧] ボタンを押し、“全機能から選ぶ” → “設定する・その他の機能” → “メール／情報” → “ステータス表示” → “ソフト情報” をご参照ください。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は ARIB（電波産業会）規格、日本 CATV 技術協会標準規格および日本ケーブルラボ仕様に基いた商品仕様になっております。将来規格および仕様に変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社およびご加入のケーブルテレビ局は責任を負いません。

- ●ブラウザなどのインターネットサービス
- ●番組表表示や、1ヵ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- ●宅外リモート接続機能
- ●その他の放送・ネットワーク事業者が提供するサービス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

(1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0)に基づきライセンスされたソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
(5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ～ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品の初期設定画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。
パナソニックは、本製品の発売から少なくとも３年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
http://www.am-linux.jp/dl/bdt920

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障について

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■ 異常があったときは電源プラグを抜いてください

電源プラグを抜く

・煙が出たり、異常な臭いや音がする
・映像や音声が出ないことがある
・内部に水などの液体や異物が入った
・本機に変形や破損した部分がある

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

● すぐに電源プラグをコンセントから抜いてケーブルテレビ局に修理をご相談ください。
● お客様による修理は危険ですから、おやめください。

⚠ 警告

雷について

■ 雷が鳴りだしたときは、機器やケーブルには触れないでください

接触禁止

感電の原因になります。

誤飲防止について

■ メモリーカード類は、乳幼児の手の届く所に置かないでください

誤って飲み込むおそれがあります。

● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解禁止について

■ カバーを外したり、本機を改造しないでください

分解禁止

火災・感電の原因になります。

● 内部の点検・調整・修理はケーブルテレビ局にご相談ください。

異物について

■ 内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れないでください

火災・感電の原因になります。

● 特にお子様にはご注意ください。

水ぬれについて

■ 上に花びん、コップなどを置かないでください

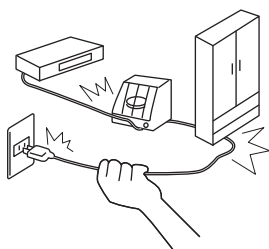
水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。

⚠警告

電源コード・電源プラグについて

■ 破損するようなことはしないでください

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など）

火災・感電・ショートなどの原因になります。

● 修理は、ケーブルテレビ局にご相談ください。

■ 交流100 V以外で使用しないでください
■ コンセント・配線器具の定格を超えて使わないでください
■ たこ足配線などをしないでください

発熱による火災の原因になります。

■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■ 電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください

ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。

■ 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください

火災や感電の原因になります。

■ 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください

火災・感電・ショートなどの原因になります。

● 修理は、ケーブルテレビ局にご相談ください。

⚠警告

電池の取り扱いについて

■ 電池は誤った使いかたをしないでください

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘヤピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 日光・火などの過度な熱にさらさない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

■ 電池の液がもれたときは、素手でさわらないでください

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

■ 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出してください

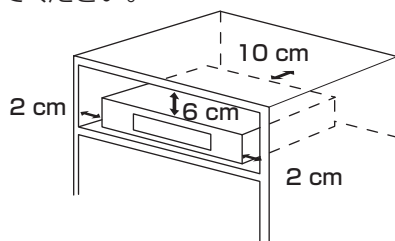
そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠注意

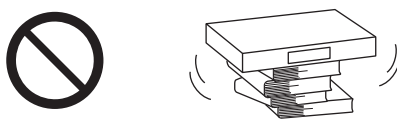
設置について

■ 通風孔をふさがないでください
■ 風通しの悪い狭い所で使用しないでください
■ あお向けや、横倒し、逆さまにして使用しないでください

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

● テレビ台などに設置した場合、上側が6 cm以上、左右が2 cm以上、後側が10 cm以上の間隔をあけて据えつけてください。

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください

火災·感電の原因になることがあります。

■ 不安定な場所に置かないでください

倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。

電源プラグについて

■ 長期間使用しないときはコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災·感電の原因になることがあります。

■ 電源プラグを持って抜いてください

電源コードを引っぱると破損し、火災·感電·ショートの原因になることがあります。

⚠ 注意

本機の取り扱いについて

■ 乗らないでください

倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

■ 上に物を置かないでください

落下してけがの原因になることがあります。

■ 接続ケーブルを無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったりしないでください

火災・感電の原因になることがあります。

■ 接続ケーブルを壁面に挟んだり、足を引っかけたりしないように処理を行ってください

火災・感電・けがの原因になることがあります。

ディスクトレイについて

■ 機器の前にものを置かないでください

リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

■ ディスクトレイに指をはさまないように注意してください

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

⚠注意

移動について

■ **移動させる前に接続線などをはずしてください
（電源プラグ、ケーブル宅内線、機器間の接続線）**

電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

お手入れについて

■ **お手入れの前に、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください**

電源プラグを抜く

感電の原因になることがあります。

電池の取り扱いについて

■ **長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出してください**

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

3D映像の視聴について

■ **光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない**

病状悪化の原因になることがあります。

■ **3D映画などを視聴する場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる**

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

■ **3D映像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする**

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

■ **3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する**

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。
- 3D映像の見えかたには個人差がありますので、「3D設定」で効果を設定する場合には特にご注意ください。

さくいん

あ 行

ページ

か 行

ページ

さ 行

ページ

必要なとき

は 行 ページ

ま 行 ページ

や 行

ページ

ら 行

ページ

必要なとき

付属品を確認する

リモコン(1 個)

電源コード(1 本)

お知らせ

- 付属品を紛失された場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容(データ)の損失、および直接・間接の損害に対して、当社およびご加入のケーブルテレビ局は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは、日本国内のご加入されているケーブルテレビ局サービスエリア内のみで外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This device can only be used inside Japan in areas that are covered by subscription cable TV services.
Because of differences in broadcast formats and power supply voltages, it cannot be used in overseas countries.

愛情点検 長年ご使用のCATVデジタルセットトップボックスの点検を!

こんな症状はありませんか
- 映像も音も出ない。
- 映像が時々消える。
- 異常な臭いや音がする。
- 水や異物が入った。

ご使用中止
故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずご加入のケーブルテレビ局に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。

ご加入(契約)日	年　月　日	品　番	TZ-BDT920J
ケーブルテレビ局および お客様相談室	電話（　　　）　―		
ID 番号 (146 ページ「IC カード」画面で確認できる「カード ID」と「CATV-ID の STB-ID」を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。)		ID 番号	C-CAS カード(カード ID) B-CAS カード(カード ID) CATV-ID(STB-ID)

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社

〒 571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号